

修了生による大学教育評価報告書  
-教育内容の改善・向上を目指して-  
(平成30年度・令和元年度実施)

令和3年2月

香川大学

# 目次

## 《平成30年度》

第1章	修了生による大学教育評価アンケート調査の概要	
1.	調査の目的	2
2.	調査実施期間	2
3.	調査対象	2
4.	調査内容・方法	2
＜調査資料＞		
	平成30年度実施香川大学修了生アンケート用紙	3
第2章	調査結果について	
1.	全学的な視点からの分析	30
2.	研究科に関する分析	33
	教育学研究科	33
	法学研究科	36
	経済学研究科	37
	医学系研究科	42
	工学研究科	46
	農学研究科	52
	地域マネジメント研究科	54

## 《令和元年度》

第1章	修了生による大学教育評価アンケート調査の概要	
1.	調査の目的	58
2.	調査実施期間	58
3.	調査対象	58
4.	調査内容・方法	58
＜調査資料＞		
	令和元年度実施香川大学修了生アンケート用紙	59
第2章	調査結果について	
1.	全学的な視点からの分析	93
2.	研究科に関する分析	95
	教育学研究科	95
	法学研究科	98
	経済学研究科	102
	医学系研究科	104
	工学研究科	108
	農学研究科	112
	地域マネジメント研究科	115

# 《平成30年度》

## 第1章 修了生による大学教育評価アンケート調査の概要

1. 調査の目的 本学が提供する大学教育の成果・効果を明らかにし、本学に対する要望を把握することにより、教育の改善に資することを目的とする。
2. 調査実施期間 平成30年6月30日（土）～平成31年3月31日（日）
3. 調査対象 平成30年度修了生291人。回答数は204人、回収率70.1%
4. 調査内容・方法 アンケート調査の質問項目は、教学IR部で審議決定した。  
アンケート調査業務について、アンケート作成及び実施後の取りまとめは学務グループが統括し、アンケートの配布・回収などは各研究科で実施した。



質問9以降は、研究科独自の質問項目になります。

差しさわりのある質問項目や回答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です。

質問9. 教職大学院での学びの成果について、次の各問で、1～5のいずれか一つに○をつけてください。

①～⑥については、主に、共通科目での学びについて聞きます。

①カリキュラムの編成・開発について、専門的な知識や技能を修得することができた。

1. 思わない      2. あまり思わない      3. どちらでもない      4. そう思う      5. とても思う

②教材研究、学習支援の方法について、専門的な知識や技能を修得することができた。

1. 思わない      2. あまり思わない      3. どちらでもない      4. そう思う      5. とても思う

③生徒指導・教育相談、道徳教育について、専門的な知識や技能を修得することができた。

1. 思わない      2. あまり思わない      3. どちらでもない      4. そう思う      5. とても思う

④学級経営・学校経営について、専門的な知識や技能を修得することができた。

1. 思わない      2. あまり思わない      3. どちらでもない      4. そう思う      5. とても思う

⑤学校づくり・校内支援体制、学校の役割について、専門的な知識や技能を修得することができた。

1. 思わない      2. あまり思わない      3. どちらでもない      4. そう思う      5. とても思う

⑥通常の学級での特別支援教育について、専門的な知識や技能を修得することができた。

1. 思わない      2. あまり思わない      3. どちらでもない      4. そう思う      5. とても思う

⑦コース科目の履修を通して、学校現場での課題を解決する力を高めることができた。

1. 思わない      2. あまり思わない      3. どちらでもない      4. そう思う      5. とても思う

⑧コース科目の履修を通して、学校での授業・指導を実践する力を高めることができた。

1. 思わない      2. あまり思わない      3. どちらでもない      4. そう思う      5. とても思う

⑨学校等での実習を通して、学校現場での課題を解決する力を高めることができた。

1. 思わない      2. あまり思わない      3. どちらでもない      4. そう思う      5. とても思う

⑩学校等での実習を通して、学校での授業・指導を実践する力を高めることができた。

1. 思わない      2. あまり思わない      3. どちらでもない      4. そう思う      5. とても思う

⑪学校現場の状況や児童生徒の現状などを的確に分析・把握する力を高めることができた。

1. 思わない      2. あまり思わない      3. どちらでもない      4. そう思う      5. とても思う

裏に続く。

⑫新たな知見や教授技術を学校現場での実践に適用し検証する力を高めることができた。

1. 思わない      2. あまり思わない      3. どちらでもない      4. そう思う      5. とてもそう思う

⑬学校現場での課題を他者との協働のもとに実践し解決する力を高めることができた。

1. 思わない      2. あまり思わない      3. どちらでもない      4. そう思う      5. とてもそう思う

⑭現代的な教育の諸課題について、自ら追究・実践する能力を高めることができた。

1. 思わない      2. あまり思わない      3. どちらでもない      4. そう思う      5. とてもそう思う

⑮上記の項目を総合的に判断して、ご自分の教職大学院での学びにどの程度満足されていますか？

1. 満足していない                      2. あまり満足していない                      3. どちらでもない  
4. ある程度満足している              5. とても満足している

質問10. 教職大学院での講義や実習等の取り組みについて、どのような点を改善したら、大学院生（皆さん）の学びがより充実したものになると思いますか。ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

香川大学大学院修了生アンケート（様式）

法学研究科法律学専攻

平成 年修了

はじめにお読みください。

香川大学は、世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念としています。香川大学大学院では、この教育理念に基づき、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた研究能力・応用力を備え、国際的な視野で地域社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。そのため本学大学院課程においては、以下の4つの構成要素、すなわち、①専門知識・理解、②研究能力・応用力、③倫理観・社会的責任、④グローバルマインドに基づき、各研究科の学生として求められる専門的な能力・態度を身につけた者に学位を授与しています。

問1～問8は、全研究科共通の質問項目になります。

以下の質問について、あてはまる番号に○をつけてください。

質問1. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野における高度な専門知識を理解・修得する上で有用でしたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

質問2. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上に有用でしたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

質問3. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において求められる倫理観や社会的責任を修得するのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

質問4. 大学院の教育・研究は、国際的視野を広げるのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

質問5. 上記の大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムは十分整っていましたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

質問6. 大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

質問7. 大学院の教育・研究において、副指導教員の指導は十分でしたか。副指導教員がない場合、この質問には回答しないで下さい。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

質問8. あなたは今年度、授業が行われている期間に、授業時間外に授業と関係のある学習・活動に、1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。（レポート等の作成や実験等に要した時間、学位論文作成のための研究等に関する学習・活動も含みます。）

1. 31時間以上 2. 26-30時間 3. 21-25時間 4. 16-20時間  
5. 11-15時間 6. 6-10時間 7. 1-5時間 8. 0時間



質問9以降は、研究科独自の質問項目になります。

差しさわりのある質問項目や回答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です。

質問9. 差し支えなければ、あなたの履修していた演習科目を教えてください。

質問10. あなたは、どのような理由で法学研究科に進学しましたか。もっとも当てはまるもの一つを選んでください。

1. 当時、就いていた職業において必要な知識や能力を得たかったから
2. 当時、目指していた職業や資格に必要な知識や能力を得たかったから
3. 博士課程への進学を目指していたから
4. 職業や資格とは関係なく、法学・政治学を深く学びたかったから
5. その他（具体的に \_\_\_\_\_）

質問11. あなたの出身大学、出身学部について、当てはまるものを一つを選んでください。

<出身大学について>

1. 香川大学を卒業した
2. 香川大学の以外の大学を卒業した

<出身学部について>

1. 法学部を卒業した
2. 法学部以外の学部を卒業した

※ 2を選ばれた方は、差し支えなければ、卒業した学部を教えてください。

（ \_\_\_\_\_ 学部）

質問12. 法学研究科で開講されていた授業の数や種類は十分でしたか？

1. 大いにそう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

質問13. 全般的に、法学研究科で開講されていた授業の内容は満足できるものでしたか？

1. 大いにそう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

質問14. 法学研究科における授業の内容や方法について、不満に思ったことがあれば、教えてください。

質問15-1. 開講されていたら受講したかったという授業はありますか（担当者が不在等の理由で休講になっていた授業科目は除いてお考えください）。以下の中から、当てはまるものをすべて選んでください。

1. 研究方法に関する授業
2. 実務に関するする授業
3. 資格試験対策のための授業
4. 専門以外の教養を高める授業
5. その他
6. 特にない

質問15-2. 5「その他」を選ばれた方は、どのような授業科目か、お答えください。

質問 16-1. 法学研究科では、ほとんどの授業で少人数教育を実施していますが、研究や学習を行う上で有益だったと思いますか。

1. 大いにそう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

質問 16-2. 具体的にどのような点で、そのように思われますか。

質問 17-1. 法学研究科では社会人学生（有職者や職業経験を有する学生）と一般学生（学部卒業後、すぐに大学院に進学した学生）が混在していますが、そのような環境は、研究や学習を行う上で有益だったと思いますか。

1. 大いにそう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

質問 17-2. 具体的にどのような点で、そのように思われますか。

質問 18. 教室や教育のための設備は、満足できるものでしたか？

1. 大いにそう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

質問 19. 学内の施設（図書館や法学資料室、学内で利用できる判例検索システムなど）で、研究や学習に必要な文献・資料等の収集は十分にできましたか？

1. 大いにそう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

質問 20. 学内の設備や施設に関して不満に思っていたことがあれば、教えてください。

質問 21-1. 長期履修制度（3年間で修士の学位取得を目指す制度）を利用していた方に伺います。あなたは、長期履修制度を利用して良かったと思いますか。

1. 大いにそう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

質問 21-2. 具体的にどのような点で、そのように思われますか。

質問 22. 差し支えなければ、現在のあなたのご職業を教えてください。

質問 23. 法学研究科修了後、現在のご職業とは違うご職業に就いていた経験がある方は、差し支えなければ、そのご職業を教えてください。

質問 24-1. 法学研究科での教育・研究は、その後の職業生活において求められる知識や能力を得る上で有益でしたか。

1. 大いに思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

質問 24-2. 具体的にどのような点で、そのように思われますか。

質問 25-1. 法学研究科での教育・研究は、その後の（職業に関することは別に）社会生活において有益でしたか。

1. 大いに思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

質問 25-2. 具体的にどのような点で、そのように思われますか。

質問 26. 法学研究科で受講した授業で、職業生活や社会生活において有益だったと思う科目を挙げてください。（幾つ挙げても構いません。また、理由もお書き添えください。）

質問 27. 法学研究科での研究・学習全般について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。長時間にわたってご協力くださり、ありがとうございました。

香川大学大学院修了生アンケート（様式）

経済学研究科経済学専攻 平成 年修了

はじめにお読みください。

香川大学は、世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念としています。香川大学大学院では、この教育理念に基づき、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた研究能力・応用力を備え、国際的な視野で地域社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。そのため本学大学院課程においては、以下の4つの構成要素、すなわち、①専門知識・理解、②研究能力・応用力、③倫理観・社会的責任、④グローバルマインドに基づき、各研究科の学生として求められる専門的な能力・態度を身につけた者に学位を授与しています。

問1～問8は、全研究科共通の質問項目になります。

以下の質問について、あてはまる番号に○をつけてください。

質問1. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野における高度な専門知識を理解・修得する上で有用でしたか。

1. 大いに思う 2. やや思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない

質問2. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上に有用でしたか。

1. 大いに思う 2. やや思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない

質問3. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において求められる倫理観や社会的責任を修得するのに有用でしたか。

1. 大いに思う 2. やや思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない

質問4. 大学院の教育・研究は、国際的視野を広げるのに有用でしたか。

1. 大いに思う 2. やや思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない

質問5. 上記の大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムは十分整っていましたか。

1. 大いに思う 2. やや思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない

質問6. 大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか。

1. 大いに思う 2. やや思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない

質問7. 大学院の教育・研究において、副指導教員の指導は十分でしたか。副指導教員がいない場合、この質問には回答しないで下さい。

1. 大いに思う 2. やや思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない

質問8. あなたは今年度、授業が行われている期間に、授業時間外に授業と関係のある学習・活動に、1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。（レポート等の作成や実験等に要した時間、学位論文作成のための研究等に関する学習・活動も含まれます。）

1. 31時間以上 2. 26-30時間 3. 21-25時間 4. 16-20時間  
5. 11-15時間 6. 6-10時間 7. 1-5時間 8. 0時間

質問9以降は、研究科独自の質問項目になります。

差しさわりのある質問項目や回答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です

【以下の質問では、経済学研究科の授業科目についてお伺いいたします。】

質問9. 今年度、あなたはどの教育分野の授業科目を受講されましたか。受講した授業科目に該当する教育分野をすべて【 】内に記号でご記入下さい。

【 】【 】【 】【 】【 】【 】

＜教育分野＞

- A. 理論経済学      B. 経済史              C. 経済政策          D. 財政学
- E. 社会政策          F. 金融論              G. 統計学            H. 経営学
- I. 商学                J. 会計学              K. 社会文化論
- L. 言語科学          M. その他（外国書講読）

\*以下の質問項目では、左欄の【 】にあなたが受講した教育分野の記号を記入し、その教育分野に対する評価について、あなたのお気持ちに最も近い番号に○を1つずつお付け下さい。

SQ1. 上の質問9で回答した各教育分野の授業の内容および水準は適切なものであったと思われませんか。

	大いに そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう 思わない	全く そう 思わない		大いに そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう 思わない	全く そう 思わない	
【 】	5	4	3	2	1	→	【 】	5	4	3	2	1
【 】	5	4	3	2	1	→	【 】	5	4	3	2	1
【 】	5	4	3	2	1	→	【 】	5	4	3	2	1

SQ2. 上の質問9で回答した各教育分野の授業に、あなたご自身は積極的に参加したと思われませんか。

	大いに そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう 思わない	全く そう 思わない		大いに そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう 思わない	全く そう 思わない	
【 】	5	4	3	2	1	→	【 】	5	4	3	2	1
【 】	5	4	3	2	1	→	【 】	5	4	3	2	1
【 】	5	4	3	2	1	→	【 】	5	4	3	2	1

SQ3. 上の質問9で回答した各教育分野の授業を受けてみて、研究や実践的活動の手がかりを得ることができたと思われませんか。

	大いに そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう 思わない	全く そう 思わない		大いに そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう 思わない	全く そう 思わない			
	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1			
【	】	→					【	】	→					
	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1			
【	】	→					【	】	→					
	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1			
【	】	→					【	】	→					

SQ4. 上の質問9で回答した各教育分野の授業は、総合的に満足できるものでしたか。

	非常に 満足 している	やや 満足 している	どちらとも 言えない	あまり 満足 して いない	全く 満足 して いない		非常に 満足 している	やや 満足 している	どちらとも 言えない	あまり 満足 して いない	全く 満足 して いない			
	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1			
【	】	→					【	】	→					
	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1			
【	】	→					【	】	→					
	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1			
【	】	→					【	】	→					

SQ5. 受講した授業科目のなかで、とくによいと思うことがあれば、下の枠内にご記入下さい。

SQ6. 受講した授業科目のなかで、とくに改善してほしいと思うことがあれば、下の枠内にご記入下さい。

【以下の質問では、経済学研究科での演習についてお伺いいたします。】

質問 10. 演習指導教員の指導について、あなたはどのくらい満足されていますか。あなたのお気持ちに最も近い番号に○を1つお付け下さい。

非常に満足している	やや満足している	どちらとも言えない	あまり満足していない	全く満足していない
5	4	3	2	1

SQ1. 副演習を履修していますか。

A. 履修している

B. 履修していない

SQ2. 演習指導についてとくに改善点してほしいと思うことがあれば、下の枠内にご記入下さい。

【以下の質問では、経済学研究科のカリキュラム、その他全般についてお伺いいたします。】

質問 11. 授業科目のなかで、取り上げてほしい分野等があれば、下の枠内にご記入下さい。

SQ1. 時間割上で、何か問題があると感じたことはありませんか。もし問題があるようであれば、下の枠内にご記入下さい。

SQ2. カリキュラム、設備、そのほかのことについて、何か要望はありませんか。どのようなことでも結構ですので、要望や改善点がありましたら、下の枠内にご記入下さい。忌憚のないご意見をお願いいたします。

質問 12. 最後に、あなたご自身についてお伺いいたします。それぞれの質問について、当てはまる記号に○を1つずつお付け下さい。

1. あなたの所属コースは    A. 分野別コース    B. フレックスコース
2. あなたの学年は            A. 1年            B. 2年            C. 3年以上
3. あなたは留学生ですか    A. はい            B. いいえ

\*\*\*\*\* たくさんの質問にご協力いただき、ありがとうございました \*\*\*\*\*



香川大学大学院修了生アンケート（様式）

医学系研究科                      課程（                      専攻）                      年                      月修了

はじめにお読みください。

香川大学は、世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念としています。香川大学大学院では、この教育理念に基づき、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた研究能力・応用力を備え、国際的な視野で地域社会においてリーダーシップを發揮できる人材の育成を目指しています。そのため本学大学院課程においては、以下の4つの構成要素、すなわち、①専門知識・理解、②研究能力・応用力、③倫理観・社会的責任、④グローバルマインドに基づき、各研究科の学生として求められる専門的な能力・態度を身につけた者に学位を授与しています。

問1～問8は、全研究科共通の質問項目になります。

以下の質問に1～4でお答えください。

質問1. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野における高度な専門知識を理解・修得する上で有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

質問2. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上に有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

質問3. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において求められる倫理観や社会的責任を修得するのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

質問4. 大学院の教育・研究は、国際的視野を広げるのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

質問5. 上記の大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムは十分整っていましたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

質問6. 大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

質問7. 大学院の教育・研究において、副指導教員の指導は十分でしたか。副指導教員がない場合、この質問には回答しないで下さい。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

質問8. あなたは今年度、授業が行われている期間に、授業時間外に授業と関係のある学習・活動に、1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。（レポート等の作成や実験等に要した時間、学位論文作成のための研究等に関する学習・活動も含みます。）

1. 31時間以上    2. 26－30時間    3. 21－25時間    4. 16－20時間  
5. 11－15時間    6. 6－10時間    7. 1－5時間    8. 0時間

質問9以降は、研究科独自の質問項目になります。

差しさわりのある質問項目や回答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です。

質問 9. 全体として、大学院入学の目的は達成できましたか。

5. 大いにそう思う      4. ややそう思う      3. どちらともいえない  
2. あまりそう思わない   1. 全くそう思わない

質問 10. 大学院での教育・研究において、就労への配慮は十分でしたか。

5. 大いにそう思う      4. ややそう思う      3. どちらともいえない  
2. あまりそう思わない   1. 全くそう思わない

質問 11. 大学院への進学について意見を求められた時、積極的に勧めたいですか。

5. 大いにそう思う      4. ややそう思う      3. どちらともいえない  
2. あまりそう思わない   1. 全くそう思わない

(博士課程：質問 12)

質問 12. 大学院研究で身につけた考え方、知識、手技が今後の診療で有用ですか。

5. 大いにそう思う      4. ややそう思う      3. どちらともいえない  
2. あまりそう思わない   1. 全くそう思わない

(修士課程：質問 13)

質問 13. 大学院(修士課程)で身につけた考え方、知識が、今後の研究活動、実践に有用ですか。

5. 大いにそう思う      4. ややそう思う      3. どちらともいえない  
2. あまりそう思わない   1. 全くそう思わない

質問 14. 研究科独自の自由記述欄

(1) 大学院での教育・研究の実績を今後どのように生かそうと考えていますか。

(2) 大学院での教育・研究において、改善すべき点、良かった点を記載ください。

[改善すべき点]

[良かった点]

(3) 自由記述欄

香川大学大学院修了生アンケート（様式）

工学研究科 博士前期（修士）課程 平成\_\_\_\_\_年修了

はじめにお読みください。

香川大学は、世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念としています。香川大学大学院では、この教育理念に基づき、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた研究能力・応用力を備え、国際的な視野で地域社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。そのため本学大学院課程においては、以下の4つの構成要素、すなわち、①専門知識・理解、②研究能力・応用力、③倫理観・社会的責任、④グローバルマインドに基づき、各研究科の学生として求められる専門的な能力・態度を身につけた者に学位を授与しています。

問1～問8は、全研究科共通の質問項目になります。

以下の質問について、あてはまる番号に○をつけてください。

質問1. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野における高度な専門知識を理解・修得する上で有用でしたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

質問2. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上に有用でしたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

質問3. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において求められる倫理観や社会的責任を修得するのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

質問4. 大学院の教育・研究は、国際的視野を広げるのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

質問5. 上記の大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムは十分整っていましたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

質問6. 大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

質問7. 大学院の教育・研究において、副指導教員の指導は十分でしたか。副指導教員がいない場合、この質問には回答しないで下さい。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

質問8. あなたは今年度、授業が行われている期間に、授業時間外に授業と関係のある学習・活動に、1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。（レポート等の作成や実験等に要した時間、学位論文作成のための研究等に関する学習・活動も含まれます。）

1. 31時間以上 2. 26-30時間 3. 21-25時間 4. 16-20時間  
5. 11-15時間 6. 6-10時間 7. 1-5時間 8. 0時間

質問9以降は、研究科独自の質問項目になります。  
 差しさわりのある質問項目や回答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です。

以下は工学研究科独自の質問項目になります。上記と似た内容の質問についても、改めてお答えください。

質問9. あなたが所属している専攻について、あてはまる番号に○をつけてください。

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. 安全システム建設工学専攻 | 2. 信頼性情報システム工学専攻 |
| 3. 知能機械システム工学専攻 | 4. 材料創造工学専攻      |

(I. 研究について)

質問10. あなたの研究活動は充実していましたか。

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. とても充実していた    | 2. やや充実していた    |
| 3. あまり充実していなかった | 4. 全く充実していなかった |

質問11. あなたが研究を進めるにあたり、指導教員のサポートは充分でしたか。

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. とても充実していた    | 2. やや充実していた    |
| 3. あまり充実していなかった | 4. 全く充実していなかった |

質問12. あなたが研究を進めるにあたり、研究設備は充分でしたか。

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. とても充実していた    | 2. やや充実していた    |
| 3. あまり充実していなかった | 4. 全く充実していなかった |

質問13. あなたは、TAで大学院生が講義をサポートすることをどのように考えていますか。

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1. 非常によい        | 2. どちらかと言えばよい |
| 3. どちらかと言えばよくない | 4. よくない       |

質問14. あなたの大学院での学習・生活習慣について、あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	日常的にした	たまにした	あまりしなかった	しなかった
1) 図書館を利用する	1	2	3	4
2) 文献を読む	1	2	3	4
3) 新聞を読む	1	2	3	4
4) 研究の計画を立てる	1	2	3	4
5) インターネットで情報を収集する	1	2	3	4
6) 論文や報告書を作成する	1	2	3	4
7) ボランティア活動を行う	1	2	3	4
8) 学会活動を行なう	1	2	3	4

(Ⅱ. 教育について)

質問 15. あなたは、2年間大学院で学んで、以下に示す能力が身についたと思いますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	身についた	やや身についた	あまり身につかなかった	身につかなかった
1) プレゼンテーションの力	1	2	3	4
2) 専門分野の高度な知識	1	2	3	4
3) 数学, 自然科学の深い知識	1	2	3	4
4) 探究心を持つ力	1	2	3	4
5) ものごとの課題を発見し、解決する力	1	2	3	4
6) 社会問題の理解力	1	2	3	4
7) 英語の力	1	2	3	4
8) チームワークの力	1	2	3	4

質問 16. あなたは、大学院での学習についてどのように考えてきましたか。下記の項目で、あなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
1) 大学院で身につけた知識やスキルが将来の職業生活に役に立つ	1	2	3	4
2) 大学院を修了すれば、よりよい条件の職業につくことができる	1	2	3	4
3) 大学院で何を学んだかは就職活動の結果に関係がない	1	2	3	4

質問 17. あなたは、履修登録にあたり、将来や進路なども考えたうえで、真剣に検討しましたか。

1. 非常にまじめに検討した
2. 少しはまじめに検討した
3. あまりまじめに検討しなかった
4. 全く検討しなかった

質問 18. 1日に平均してどのくらい自学・自習（予習・復習・レポート作成等）しましたか。

1. 5時間以上
2. 4時間以上5時間未満
3. 3時間以上4時間未満
4. 2時間以上3時間未満
5. 1時間以上2時間未満
6. 1時間未満

質問 19. 1日に平均してどのくらい研究（実験・解析・ディスカッション・レポート作成等）しましたか。

1. 5時間以上
2. 4時間以上5時間未満
3. 3時間以上4時間未満
4. 2時間以上3時間未満
5. 1時間以上2時間未満
6. 1時間未満

質問 20. あなたは、インターンシップ・体験学習等を体験しましたか。

1. はい
2. いいえ

(Ⅲ. 授業における「成績評価」や「シラバスの利用」など)

質問 2 1. あなたは、授業科目を選択する際に、シラバスをどの程度参考にしましたか。

1. 十分に参考にした
2. まあまあ参考にした
3. あまり参考にしなかった
4. 全く参考にしなかった

質問 2 2. 教員は成績評価の参考にしたデータ（平常点やレポート、テスト結果など）をフィードバック（伝達・返却など）していましたか。

1. ほとんどの授業ではしっかりしていた
2. いくつかの授業ではしっかりしていた
3. した授業もあったが、しなかった授業の方が多かった
4. しなかった授業ばかりだった

質問 2 3. 教員の単位認定（成績評価）の仕方は、信頼できましたか。

1. ほとんどの授業ではしっかりしていた
2. いくつかの授業ではしっかりしていた
3. した授業もあったが、しなかった授業の方が多かった
4. しなかった授業ばかりだった

(Ⅳ. 進路について)

質問 2 4. あなたの進路決定に際して、経済的問題の影響はありましたか。

1. はい
2. いいえ

質問 2 5. あなたは修了後、どのような進路に進みますか。

1. 民間企業に就職する
2. 公務員や教員として就職する
3. 自営業や家業を継ぐ
4. 大学院に進学する
5. 他大学に（編）入学する
6. 専門学校に進学する
7. まだわからない
8. その他（具体的に \_\_\_\_\_ )

質問 2 6. あなたが修了後の進路を決定し、行動を始めたのはいつですか。

1. 大学院入学前
2. 1年生前期
3. 1年生後期
4. 2年生前期
5. 2年生後期
6. その他

質問 2 7. あなたが仕事や就職先を選ぶ際に、次のことはどれくらい重要視しましたか。

	重要であった	やや重要であった	あまり重要でなかった	重要でなかった
1) 大学院で学んだことが生かせること	1	2	3	4
2) 自分の興味や関心に合っていること	1	2	3	4
3) 失業の恐れがないこと	1	2	3	4
4) 高い収入が得られること	1	2	3	4
5) 社会に貢献すること	1	2	3	4
6) 会社の知名度	1	2	3	4

7) 会社の行動・考えかた（法令遵守や地球環境貢献）	1	2	3	4
8) 福利厚生が充実していること	1	2	3	4
9) 個人の時間が確保できること	1	2	3	4
10) 親や知人の推薦・評判	1	2	3	4

質問 28. あなたは、どのように会社情報を入手したり、就職に向けての努力をしたりしましたか。  
（複数回答可）

1. 就職（進路）資料室等で資料を調べた
2. インターネットや雑誌などで会社や求人情報などを調べた
3. 就職説明会などに参加した
4. 就職活動について、先輩に話を聞いたり、友人と情報交換をした
5. 修了後の進路について教員に相談した
6. 修了後の進路についてキャリア支援センターおよび学科の就職担当等に相談した
7. 修了後の進路について親等に相談した
8. 就職や進学に役立ちそうな資格を取得した（勉強した）
9. 修了後のために専門学校などに通った
10. その他

#### （V. その他）

質問 29. あなたは大学院に入学後の学生生活において、何らかの犯罪や民事上の被害・トラブルを経験したことがありますか（複数回答可）。

1. マルチ商法、悪徳販売による被害
2. アルバイト先での賃金未払いや不当解雇の被害
3. セクハラ、ストーカー等の性的犯罪
4. アカハラ、パワハラなどの嫌がらせ行為
5. 学内での窃盗
6. けんか等の暴行
7. アルコールの痛飲による急性アルコール中毒
8. その他
9. 被害にあったことがない

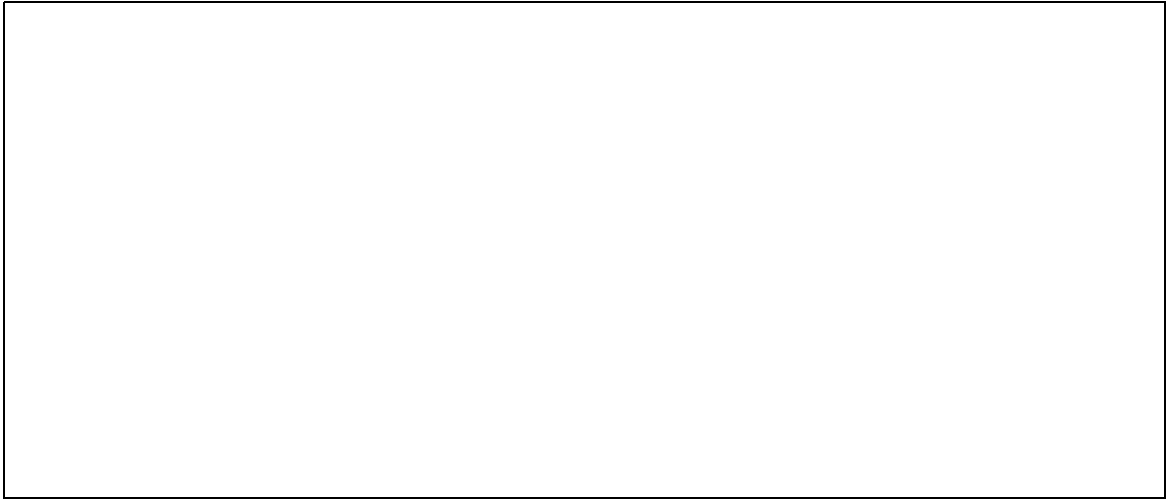
質問 30. 本学での教育・学習、学生生活などに関して、全体として「良かった」、「楽しかった」と感じるなど、満足していますか。

1. 満足している
2. やや満足している
3. やや不満
4. 不満

質問 31. あなたの保護者は、あなたの本大学院での修学生活に満足していると思いますか。

1. 満足していると思う
2. やや満足していると思う
3. やや不満だと思う
4. 不満だと思う

質問 32. 授業や教育に関する要望、あるいは改善へのご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。





香川大学大学院修士課程アンケート（様式）

農学研究科 課程（ 専攻） 平成 年修了

はじめにお読みください。

香川大学は、世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念としています。香川大学大学院では、この教育理念に基づき、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた研究能力・応用力を備え、国際的な視野で地域社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。そのため本学大学院課程においては、以下の4つの構成要素、すなわち、①専門知識・理解、②研究能力・応用力、③倫理観・社会的責任、④グローバルマインドに基づき、各研究科の学生として求められる専門的な能力・態度を身につけた者に学位を授与しています。

問1～問8は、全研究科共通の質問項目になります。

以下の質問について、あてはまる番号に○をつけてください。

質問1. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野における高度な専門知識を理解・修得する上で有用でしたか。

1. 大いに思う 2. やや思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない

質問2. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上に有用でしたか。

1. 大いに思う 2. やや思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない

質問3. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において求められる倫理観や社会的責任を修得するのに有用でしたか。

1. 大いに思う 2. やや思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない

質問4. 大学院の教育・研究は、国際的視野を広げるのに有用でしたか。

1. 大いに思う 2. やや思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない

質問5. 上記の大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムは十分整っていましたか。

1. 大いに思う 2. やや思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない

質問6. 大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか。

1. 大いに思う 2. やや思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない

質問7. 大学院の教育・研究において、副指導教員の指導は十分でしたか。副指導教員がない場合、この質問には回答しないで下さい。

1. 大いに思う 2. やや思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない

質問8. あなたは今年度、授業が行われている期間に、授業時間外に授業と関係のある学習・活動に、1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。（レポート等の作成や実験等に要した時間、学位論文作成のための研究等に関する学習・活動も含まれます。）

1. 31時間以上 2. 26-30時間 3. 21-25時間 4. 16-20時間  
5. 11-15時間 6. 6-10時間 7. 1-5時間 8. 0時間

質問9以降は、研究科独自の質問項目になります。

差しさわりのある質問項目や回答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です。

質問 9. 農学研究科の教育・研究は、以下に示す項目の習得および能力の向上に有用でしたか。

	大いにそう 思う	そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
研究開発マインドの習得	5	4	3	2	1
高度専門職業人となるための幅広い知識の習得	5	4	3	2	1
自ら立案する課題設定能力	5	4	3	2	1
課題を解決するために必要な情報の収集能力	5	4	3	2	1
課題を解決するための手法の探索と遂行能力	5	4	3	2	1
得られた結果に基づいた解析能力	5	4	3	2	1
課題の全容を論理的に取りまとめる能力	5	4	3	2	1
日本語によるコミュニケーション能力	5	4	3	2	1
英語によるコミュニケーション能力	5	4	3	2	1
日本語によるプレゼンテーション能力	5	4	3	2	1
英語によるプレゼンテーション能力	5	4	3	2	1
グローバルマインドの習得	5	4	3	2	1

(平成 29 年度以前入学者)

質問 10-1. 農学研究科の専門教育について、どの程度充実していましたか？

	充実していた	ある程度 充実していた	やや充実して いなかった	充実して いなかった
基礎科目 (科学研究キャリアリテラシー, 国際研究コミュニケーション)	4	3	2	1
展開科目 (先進科学特論, 修士インターンシップ, 国際研究発表技法)	4	3	2	1
専門科目 (専攻セミナーI~IV)	4	3	2	1
専門科目 (専攻科目)	4	3	2	1
専門科目 (専攻以外の科目)	4	3	2	1
研究科目 (修士研究 I~IV, 修士論文)	4	3	2	1

(平成 30 年度以降入学者)

質問 10-2. 農学研究科の専門教育について、どの程度充実していましたか？

	充実していた	ある程度 充実していた	やや充実して いなかった	充実して いなかった
基礎科目 (科学研究リテラシー, ベーシック国際研究コミュニケーション, 応用生物科学クロストークセミナー)	4	3	2	1
希少糖共通科目 (希少糖イノベーション, 希少糖植物化学特論, 希少糖応用生命科学特論, 希少糖食品科学特論)	4	3	2	1
展開科目 (応用生命科学先進科学セミナー, 国際研究実践コミュニケーション, 修士・修士国際インターンシップ, アドバンスド国際研究コミュニケーション)	4	3	2	1
専門科目 (○○特論など)	4	3	2	1
専門科目 (専攻セミナーI~III)	4	3	2	1
研究科目 (修士研究 I~IV, 論文修士)	4	3	2	1
研究科目 (国際研究 A・B) *研究留学	4	3	2	1
研究科目 (実践研究) *社会人学生	4	3	2	1

香川大学大学院修了生アンケート（様式）

地域マネジメント研究科 専門職学位課程 平成 年修了

はじめにお読みください。

香川大学は、世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念としています。香川大学大学院では、この教育理念に基づき、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた研究能力・応用力を備え、国際的な視野で地域社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。そのため本学大学院課程においては、以下の4つの構成要素、すなわち、①専門知識・理解、②研究能力・応用力、③倫理観・社会的責任、④グローバルマインドに基づき、各研究科の学生として求められる専門的な能力・態度を身につけた者に学位を授与しています。

問1～問8は、全研究科共通の質問項目になります。

以下の質問について、あてはまる番号に○をつけてください。

質問1. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野における高度な専門知識を理解・修得する上で有用でしたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

質問2. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上に有用でしたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

質問3. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において求められる倫理観や社会的責任を修得するのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

質問4. 大学院の教育・研究は、国際的視野を広げるのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

質問5. 上記の大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムは十分整っていましたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

質問6. 大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

質問7. 大学院の教育・研究において、副指導教員の指導は十分でしたか。副指導教員がない場合、この質問には回答しないで下さい。

1. 大いにそう思う 2. ややそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない

質問8. あなたは今年度、授業が行われている期間に、授業時間外に授業と関係のある学習・活動に、1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。（レポート等の作成や実験等に要した時間、学位論文作成のための研究等に関する学習・活動も含まれます。）

1. 31時間以上 2. 26-30時間 3. 21-25時間 4. 16-20時間  
5. 11-15時間 6. 6-10時間 7. 1-5時間 8. 0時間

質問9以降は、研究科独自の質問項目になります。

差しさわりのある質問項目や回答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です。

平成 30 年度 香川大学大学院地域マネジメント研究科修了時アンケート

ご記入上の注意

1. 各問の各項目について、指定がない限り、回答する番号を一つだけ選んで数字を○で囲んで下さい。
2. 差しさわりのある質問項目や解答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です。

I. 在学当時の状況についてお尋ねします。

質問 9. あなたの在学中の出席状況について記入して下さい。(全ての授業に出席した場合を 100%とします)

出席状況 

--	--	--

 %

質問 10. あなたは授業時間以外の勉強に時間をどの程度、またどのように確保しましたか。

週 ( \_\_\_\_\_ ) 時間  
( \_\_\_\_\_ )

質問 11. あなたが仕事の上で役に立ったと思う科目を挙げて下さい (最大 3 つ)。

( \_\_\_\_\_ ) ( \_\_\_\_\_ ) ( \_\_\_\_\_ )

質問 12. あなたが仕事とは関係ないが、役に立ったと思う科目を挙げて下さい (最大 3 つ)。

( \_\_\_\_\_ ) ( \_\_\_\_\_ ) ( \_\_\_\_\_ )

質問 13. 土曜日の開講について必要だと思いますか。

1. 必要
2. ある程度必要
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 必要でない

質問 14. プロジェクト研究についてどう思いますか。またその理由は何ですか。

1. 満足している
2. ある程度満足している
3. どちらともいえない
4. やや不満である
5. 不満である

(理由: \_\_\_\_\_ )

II. 在学当時の支援関係についてお尋ねします。

質問 15. 社会人学生だった方にお尋ねします。あなたは所属組織から入学・勉学について支援を受けましたか。

1. 受けた (内容: \_\_\_\_\_ )
2. 受けていない

質問 16. 社会人学生だった方にお尋ねします。あなたは奨学金など所属組織以外からの援助を受けましたか。

1. 受けた (内容: \_\_\_\_\_ )
2. 受けていない

質問 17. 学部からの進学生だった方にお尋ねします。あなたは就職についての地域マネジメント研究科の対応に満足していますか。

1. 満足している                      2. ある程度満足している                      3. どちらともいえない  
4. やや不満である                      5. 不満である

質問 18. あなたは自習室の環境についてどの程度満足していますか。

1. 満足している                      2. ある程度満足している                      3. どちらともいえない  
4. やや不満である                      5. 不満である

質問 19. あなたは教室の環境についてどの程度満足していますか。

1. 満足している                      2. ある程度満足している                      3. どちらともいえない  
4. やや不満である                      5. 不満である

### Ⅲ. 修了後の効果についてお尋ねします。

質問 20. 以下に示すさまざまな能力は、大学院教育を通じてどの程度身につきましたか。また、現在の仕事の中でどの程度必要とされていますか。それぞれお答えください。

	大学院教育で					現在の仕事で				
	身につ ていない	あまり 身につ ていない	どちら とも いえない	ある程度 身に つた	身につ た	必要ない	あまり必 要ない	どちら とも いえない	ある程度 必要	必要
物事に進んで取り組む力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
他人に働きかけ巻き込む力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
目標を設定し確実に行動する力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
現状を分析し目的や課題を明らかにする力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
新しい価値を生み出す力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
自分の意見をわかりやすく伝える力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
相手の意見を丁寧に聴く力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
意見の違いや立場の違いを理解する力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
社会のルールや人との約束を守る力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ストレスの発生源に対応する力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
幅広い知識や教養	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
専門分野に関する知識や技能	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
論理的に考え、物事を進める力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
文書等を作成する力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ディスカッションする力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
プレゼンテーションする力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
リーダーシップ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

- 質問 2 1. 総合的にみて、あなたは地域マネジメント研究科で学んだことに満足していますか。
1. 満足している
  2. ある程度満足している
  3. どちらともいえない
  4. やや不満である
  5. 不満である

- 質問 2 2. あなたは地域マネジメント研究科に愛着がありますか。
1. 非常にある
  2. ある程度ある
  3. どちらともいえない
  4. あまりない
  5. 全くない

質問 2 3. 地域マネジメント研究科のカリキュラム等について自由に意見を記入して下さい。

#### IV. 現在の状況についてお尋ねします。

- 質問 2 4. 能力向上のため、何か自己研修を行っていますか。
1. 行っている (内容: \_\_\_\_\_ )
  2. 予定している (内容: \_\_\_\_\_ )
  3. ない

- 質問 2 5. 個人あるいはグループで地域のために何か活動を行っていますか。
1. ある (内容: \_\_\_\_\_ )
  2. 予定している (内容: \_\_\_\_\_ )
  3. ない

- 質問 2 6. 今後、地域マネジメント研究科で開催する講演会・シンポジウムなどに参加しようと思いませんか。
1. 思う
  2. 思わない

- 質問 2 7. 今後、地域マネジメント研究科で開催する講演会・シンポジウムはどのような形がよいと思いませんか。
1. 一般公開
  2. 在学生・修了生のみ対象
  3. その他 ( \_\_\_\_\_ )

- 質問 2 8. 地域マネジメント研究科に、後期 (10 月) 入学が必要であると思いませんか。
1. 非常に必要
  2. ある程度必要
  3. どちらともいえない
  4. あまり必要でない
  5. 全く必要ない
- (理由 \_\_\_\_\_ )

#### V. 香川大学、あるいは地域マネジメント研究科がもっと重視したり改善したりした方が良くと思う教育内容や取り組み、要望などがございましたら、ご自由にお書きください。

## VI. あなた自身についてお尋ねします。

質問29. 地域マネジメント研究科入学年及び入学時の年齢について

西暦 ( ) 年入学 ( ) 才

質問30. 地域マネジメント研究科入学時の自宅所在地及び勤務地（都道府県名・市町村名）について

自宅所在地：( ) 都・道・府・県 ( ) 市・町・村

勤務地 : ( ) 都・道・府・県 ( ) 市・町・村

質問31. 地域マネジメント研究科入学時の就業状況について

1. 正規雇用で働いていた →問31へお進みください。
2. 非正規雇用で働いていた（派遣社員、アルバイト等を含む） →問31へお進みください。
3. 働いていない →問33へお進みください。

質問32. 地域マネジメント研究科入学時の職種について

1. 農林
2. 水産関係
3. 建設
4. 機械関係
5. 食品
6. 化学関係
7. 情報・通信関係
8. 商社
9. 金融関係
10. 販売
11. サービス関係
12. マスコミ・出版関係
13. 保健・衛生・医療関係
14. 公務員（国・地方自治体）
15. 教育関係
16. その他 ( )

質問33. 地域マネジメント研究科入学時の役職について

( )

質問34. 現在の就業状況について

1. 正規雇用で働いている →問34へお進みください。
2. 非正規雇用で働いている（派遣社員、アルバイト等を含む） →問34へお進みください。
3. 働いていない

質問35. 現在の職種について

1. 農林
2. 水産関係
3. 建設
4. 機械関係
5. 食品
6. 化学関係
7. 情報・通信関係
8. 商社
9. 金融関係
10. 販売
11. サービス関係
12. マスコミ・出版関係
13. 保健・衛生・医療関係
14. 公務員（国・地方自治体）
15. 教育関係
16. その他 ( )

質問36. 現在の役職について

( )

以上です。ご協力大変ありがとうございました。

## 第2章 調査結果について

### 1. 全学的な視点からの分析

#### (1) 分析結果

第一に、修了生が身につける必要のある専門的な能力・態度に対する修了生自身の評価をみていく。「高度な専門知識の理解・修得」(質問1)、「研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上」(質問2)、「倫理観や社会的責任の修得」(質問3)、そして「国際的視野を広げる」(質問4)、ということに関して大学院の教育・研究は有用だったかという質問に対し、「高度な専門知識の理解・修得」、「研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上」、「倫理観や社会的責任の修得」は90%以上がそう思う(=大いにそう思うとややそう思うの合計)と回答し、「国際的視野を広げる」については約70%がそう思うと回答した。

第二に、大学院の教育・研究に関する制度や環境に対する修了生の評価である。「大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムが十分整っていたか」(質問5)については、大いにそう思うが19.1%、ややそう思うが61.8%、あまりそう思わないが17.6%であった。指導教員(質問6)と副指導教員(質問7)の指導は十分だったかについては、そう思うが両者ともに90%以上であった。なお副指導教員がいない学生もいるため、上記の割合は副指導教員がいる学生のみで算出した場合の割合である。

第三に、授業外学修(問8)については、1週間で平均31時間以上行っている学生が27.9%と最も多く、21-25時間が15.5%、16-20時間と6-10時間が14.2%と続く。

#### (2) 優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

まず、「高度な専門知識の理解・修得」、「研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上」、「倫理観や社会的責任の修得」といったことに対して、大学院の教育・研究は有用だといえる。このことから、大学院課程のディプロマ・ポリシーを構成する4つの要素(①専門知識・理解、②研究能力・応用力、③倫理観・社会的責任、④グローバルマインド)のうち、3つ(①、②、③)については修了生から十分な評価が得られているといえる。つぎに、指導教員と副指導教員による学生の指導についても、十分な評価が得られているといえる。そして、授業外学修には、比較的多くの時間を使うことができている。

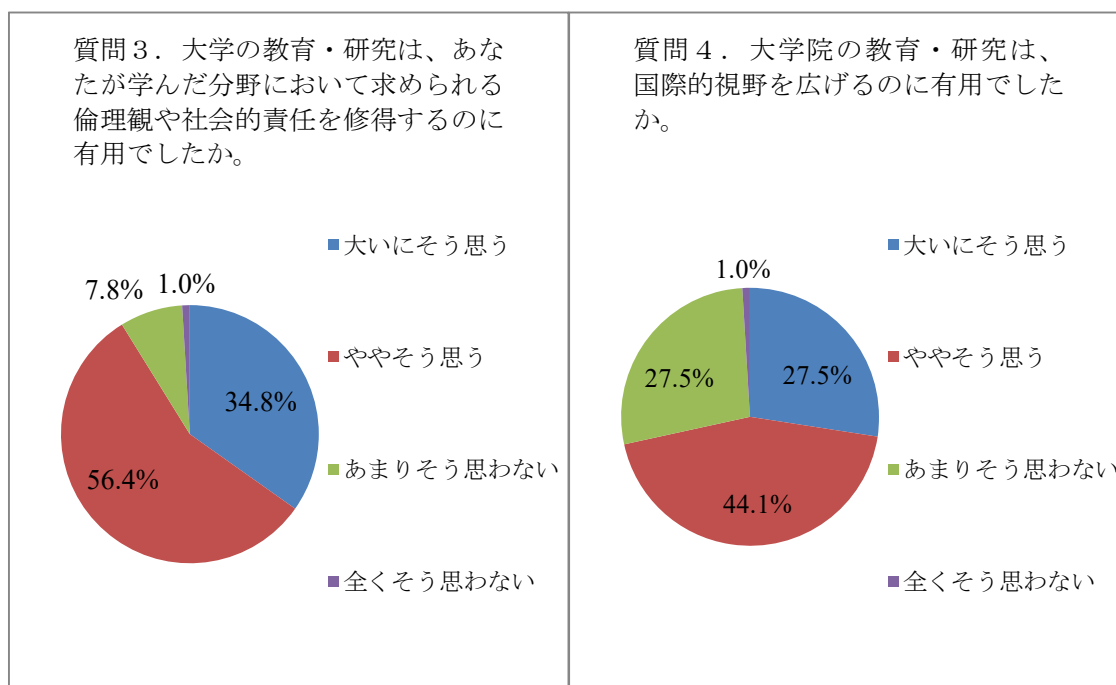
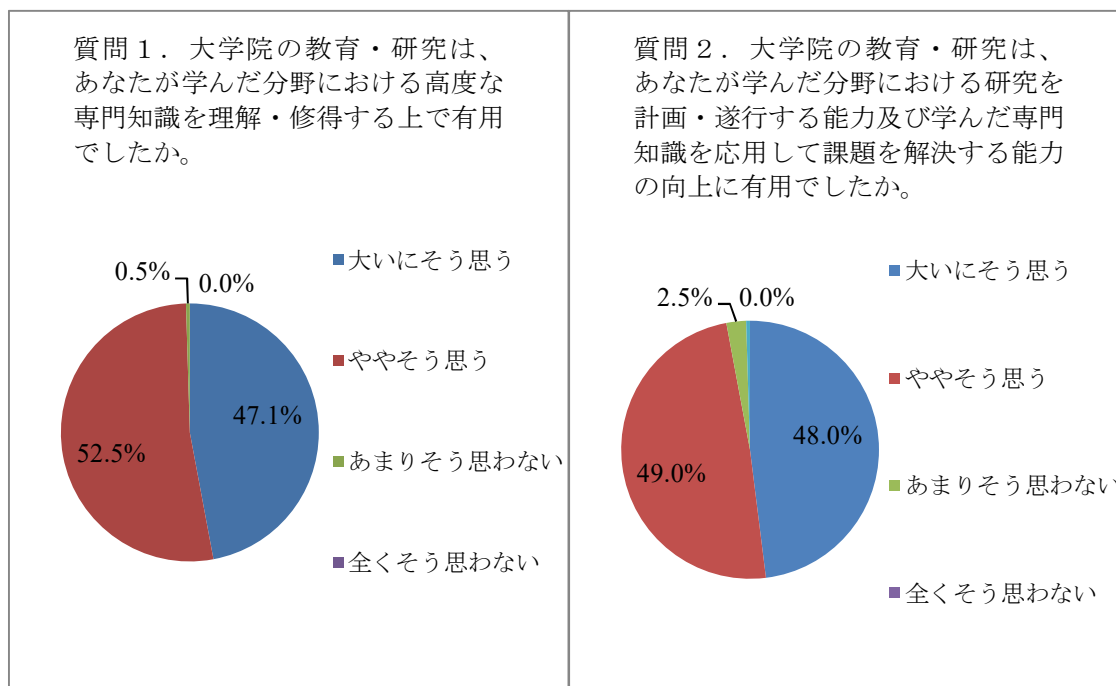
##### 【改善を要する点】

上記3つの能力・態度の育成に比べ、「国際的視野を広げる」については、大学院の教育・研究の有用性が相対的に低い。また、カリキュラムは、修了生から十分な評価を得られているとは言い難い。カリキュラムに関する質問5に対して否定的な回答をした人のうち50%以上が、「国際的視野を広げる」に関する質問4でも否定的な回答であった(上記の他の3つの能力・態度では20%以下)。本学における「国際化の重点戦略課題」に項目「グローバル人材に求められる能力要素を踏まえて教育プログラムを見直し、各学部・大学院カリキュラムに反映」があり、具体例として「英語による教養・専門科目、ディベートなどの必修化、

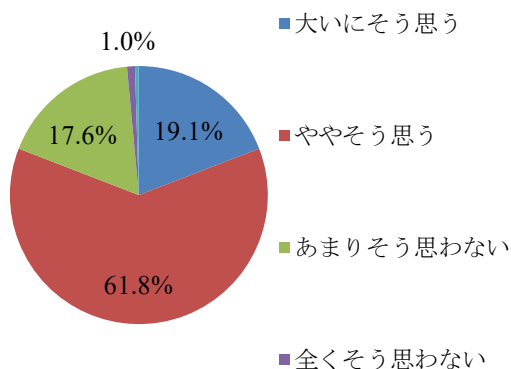


各年次・卒業までに到達する語学力の目標水準を能力に応じて設定し、着実に達成」と示されている。上記の課題を改善するためには、例示内容の更なる実質化が求められる。

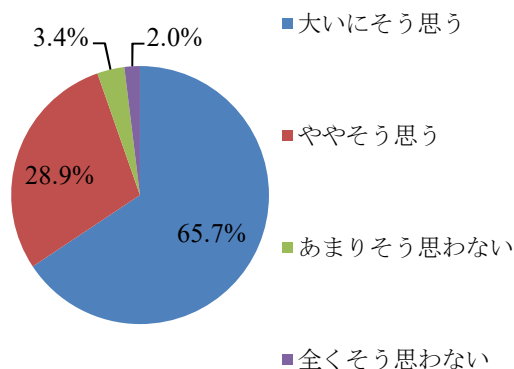
【参考資料】



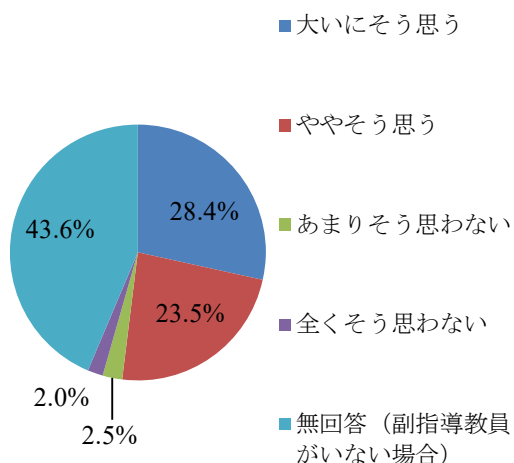
質問5. 大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムは十分整っていましたか。



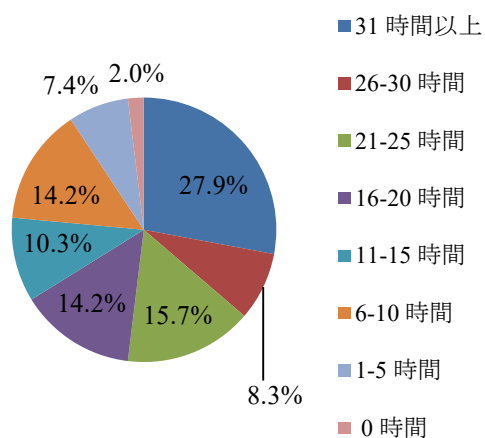
質問6. 大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか。



質問7. 大学院の教育・研究において、副指導教員の指導は十分でしたか。副指導教員がない場合、この質問には回答しないで下さい。



質問8. あなたは今年度、授業が行われている期間に、授業時間外に授業と関係のある学習・活動に、1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。（レポート等の作成や実験等に要した時間、学位論文作成のための研究等に関する学習・活動も含まれます。）



## 教育学研究科

\*\*\*\*\*

調査実施期間 平成31年3月11日 ～ 平成31年3月24日

\*\*\*\*\*

### 2. 研究科に関する分析

#### (1) 分析結果

まず、「専門的な知識や技能を修得することができたか」を問うた共通科目では、「②教材研究、学習支援の方法」、「③生徒指導・教育相談、道徳教育」、「④学級経営・学校経営」、「⑥通常の学級での特別支援教育」の4領域において90%以上が「そう思う」（「とてもそう思う」と「そう思う」の合計）と回答した。一方、「①カリキュラムの編成・開発」と「⑤学校づくり・校内支援体制、学校の役割」の2領域では79%が「そう思う」と回答した。

つぎに、「コース科目、実習科目」では、コース科目や実習を通して「学校現場の課題を解決する力」、あるいは、「授業・指導を実践する力」を高めることができたかどうかを問うた。その結果、コース科目による2つの力の向上についてはいずれも86%が「そう思う」と回答した。一方、実習については71%と76%が「そう思う」と回答した。

そして、「ディプロマ・ポリシー、総合評価」では、「⑭現代的な教育の諸課題について、自ら追究・実践する能力を高めることができた。」に全員が「そう思う」と回答した。また、「⑪学校現場の状況や児童生徒の現状などを的確に分析・把握する力を高めることができた。」、「⑫新たな知見や教授技術を学校現場での実践に適用し検証する力を高めることができた。」の2項目も「そう思う」の割合が92%と高かった。一方、「⑬学校現場での課題を他者との協働のもとに実践し解決する力を高めることができた。」に対する「そう思う」の割合は69%で低かった。そして、「⑮上記のすべての項目を総合的に判断して、ご自分の教職大学院での学びにどの程度満足されていますか？」には、92%が「そう思う」と回答した。

#### (2) 優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

共通科目の「教材研究、学習支援の方法」、「生徒指導・教育相談、道徳教育」、「学級経営・学校経営」、「通常の学級での特別支援教育」の教育・研究は、専門的な知識や技能の修得に有用だといえる。また、コース科目により「学校現場の課題を解決する力」、「授業・指導を実践する力」が向上したといえる。これらが、ディプロマ・ポリシーの「現代的な教育の諸課題について、自ら追究・実践する能力」、「学校現場の状況や児童生徒の現状などを的確に分析・把握する力」、「新たな知見や教授技術を学校現場での実践に適用し検証する力」の向上と総合満足度の高さに結びついたといえよう。

##### 【改善を要する点】

ディプロマ・ポリシーのうち、「学校現場での課題を他者との協働のもとに実践し解決する力」は、他に比べて低いため、改善が必要である。また、実習による「学校現場の課題を解決する力」や「授業・指導を実践する力」の伸びの評価が低いため、実習の在り方について見直しが必要である。

# 平成 30 年度教職大学院生の修了時の学びについてのアンケート調査結果

平成 31 年 5 月 29 日

## 1. 調査の目的、対象、内容

目的：教職大学院生の修了時点の教職大学院での学びに対する自己評価を調査する。

対象：平成 30 年度教職大学院修了生 14 人（学部卒学生 2 人、現職教員学生 12 人）

## 2. 調査内容、記入方法、調査の実施

### 調査内容

- (1) 本人（氏名、所属コース）
- (2) 教職大学院での学びの成果
  - ・ 共通科目 6 領域①～⑥：表 1
  - ・ コース科目⑦⑧、実習科目⑨⑩：表 2
  - ・ ディプロマ・ポリシー⑪～⑭：表 3
- (3) 教職大学院での学びの成果の総合的評価⑮：表 3
- (4) 教職大学院での学びに対する改善点

表 1 アンケートの質問項目（共通科目 6 領域）

- 
- ①カリキュラムの編成・開発について、専門的な知識や技能を修得することができた。
  - ②教材研究、学習支援の方法について、専門的な知識や技能を修得することができた。
  - ③生徒指導・教育相談、道徳教育について、専門的な知識や技能を修得することができた。
  - ④学級経営・学校経営について、専門的な知識や技能を修得することができた。
  - ⑤学校づくり・校内支援体制、学校の役割について、専門的な知識や技能を修得することができた。
  - ⑥通常の学級での特別支援教育について、専門的な知識や技能を修得することができた。
- 

表 2 アンケートの質問項目（コース科目、実習科目）

- 
- ⑦コース科目の履修を通して、学校現場での課題を解決する力を高めることができた。
  - ⑧コース科目の履修を通して、学校での授業・指導を実践する力を高めることができた。
  - ⑨学校等での実習を通して、学校現場での課題を解決する力を高めることができた。
  - ⑩学校等での実習を通して、学校での授業・指導を実践する力を高めることができた。
- 

表 3 アンケートの質問項目（ディプロマ・ポリシー、総合評価）

- 
- ⑪学校現場の状況や児童生徒の現状などを的確に分析・把握する力を高めることができた。
  - ⑫新たな知見や教授技術を学校現場での実践に適用し検証する力を高めることができた。
  - ⑬学校現場での課題を他者との協働のもとに実践し解決する力を高めることができた。
  - ⑭現代的な教育の諸課題について、自ら追究・実践する能力を高めることができた。
  - ⑮上記のすべての項目を総合的に判断して、ご自分の教職大学院での学びにどの程度満足されていますか？
-

## 記入方法

調査は、表 1～3 に示す設問について、5 件法（「とてもそう思う」「そう思う」「どちらでもない」「あまり思わない」「思わない」）で回答を求めた。加えて、学びに対する改善点を自由記述してもらった。

## 調査の実施

平成 31 年 3 月に、対象者それぞれに調査用紙を渡し記入をお願いし、後日回収した。

## 3. 調査結果

対象者全員から回答があった。ただし、問 11～15 について 1 人が未回答であった。回答結果一覧を表 4 に示す。

表 4 調査の集計結果一覧

	とても そう思う	そう思う	どちらで もない	あまり 思わない	思わない	計	「そう思 う」の%
①カリキュラムの編成・開発について、専門的な知識や技能を修得することができた。	2	9	2	1	0	14	79%
②教材研究、学習支援の方法について、専門的な知識や技能を修得することができた。	3	11	0	0	0	14	100%
③生徒指導・教育相談、道徳教育について、専門的な知識や技能を修得することができた。	6	7	1	0	0	14	93%
④学級経営・学校経営について、専門的な知識や技能を修得することができた。	2	10	2	0	0	14	86%
⑤学校づくり・校内支援体制、学校の役割について、専門的な知識や技能を修得することができた。	5	6	2	1	0	14	79%
⑥通常の学級での特別支援教育について、専門的な知識や技能を修得することができた。	3	9	2	0	0	14	86%
⑦コース科目の履修を通して、学校現場での課題を解決する力を高めることができた。	3	9	2	0	0	14	86%
⑧コース科目の履修を通して、学校での授業・指導を実践する力を高めることができた。	7	5	2	0	0	14	86%
⑨学校等での実習を通して、学校現場での課題を解決する力を高めることができた。	3	7	4	0	0	14	71%
⑩学校等での実習を通して、学校での授業・指導を実践する力を高めることができた。	4	7	3	0	0	14	76%
⑪学校現場の状況や児童生徒の現状などを的確に分析・把握する力を高めることができた。	2	10	1	0	0	13	92%
⑫新たな知見や教授技術を学校現場での実践に適用し検証する力を高めることができた。	5	7	1	0	0	13	92%
⑬学校現場での課題を他者との協働のもとに実践し解決する力を高めることができた。	3	6	3	1	0	13	69%
⑭現代的な教育の諸課題について、自ら追究・実践する能力を高めることができた。	4	9	0	0	0	13	100%
⑮上記のすべての項目を総合的に判断して、ご自分の教職大学院での学びにどの程度満足されていますか？	8	4	0	0	1	13	92%

## 法学研究科

\*\*\*\*\*

調査実施期間 平成 31 年 3 月 24 日

\*\*\*\*\*

### 2. 研究科に関する分析

#### (1) 分析結果

平成 31 年度修了生は 2 名であり、回答の集計結果を分析することにはほとんど意味がないこと、例年、本研究科の修了生の一定割合を占める、税法を専攻する修了生が平成 31 年度にはいなかったことに留意しつつ、主要な質問への回答結果を見ていく。

まず、法学研究科で開講されていた授業の数や種類が十分であったかという質問（質問 11）については 2 名とも肯定的な回答をしていたほか、授業内容についても満足度は高かった（質問 12）。また、法学研究科の授業はほとんどが少人数授業となっているが、これに対しては 2 名とも研究や学習上、有益だったと回答している（質問 16-1）。このように、授業への満足度は全般的に高かったと見ることができる。なお、開講されていたら受講したかった授業として、研究方法に関する授業を 1 名が挙げていた（質問 15-1）。また、教室や教育のための設備、学内の施設についての満足度も高かったが（質問 18-1, 18-2）、1 名から外国文献が少ないことへの不満が上がっていた（質問 18-3）。

本研究科での教育・研究が今後の職業生活において有益だったかを尋ねた質問に対しては（質問 22-1）、1 名が「大いにそう思う」と回答していたが、もう 1 名は「あまりそう思わない」としていた。後者の回答をした修了生は、入学時に希望していたものとは異なる進路に進んでおり、それを反映した回答だと考えられる。なお、当該修了生は、本研究科での教育・研究が今後の社会生活において有益だったかを尋ねた質問に対しては、「自分で調べて解を出すことに慣れたから」という理由で「大いにそう思う」と回答している。

#### (2) 優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

今回の調査は対象者の数が限られていることに留意しなくてはならないが、授業に対する満足度は高く、本研究科での学習・研究が今後の職業生活や社会生活にとって有益だったと認識されていた。少人数教育が有益だった理由として「指導教員と 1 対 1 で授業をできる」ことや「自分の学びたいことを重点的に学べる」ことが挙げられているように（質問 16-2）、本研究科では個々の学生のニーズに応じた指導を行っていることが、その背景にあると考えられる。

##### 【改善を要する点】

研究方法に関する授業を受講したかったという希望や外国語文献が少ないことへの不満があったことに対しては、対応を検討する必要があると思われる。ただし、今回の調査の対象者となった修了生の専攻は例年とは大きく異なっており、引き続き、修了生や在学生のニーズの把握を注意深く行う必要がある。

## 経済学研究科

\*\*\*\*\*

調査実施期間 平成 31 年 3 月 24 日

\*\*\*\*\*

### 2. 研究科に関する分析

#### (1) 分析結果

第一に、修了生が身につける必要のある専門的な能力・態度に対する修了生自身の評価をみる。全研究科共通質問項目の「高度な専門知識の理解・修得」(質問 1) から「国際的視野を広げる」(質問 4)、ということに関して大学院の教育・研究は有用だったかという質問に対し、全ての学生がそう思う(=大いにそう思うとややそう思うの合計)と回答した。

第二に、大学院の教育・研究に関する制度や環境に対する修了生の評価である。カリキュラムが十分整っていたかという問い(質問 5)に対しては、大いにそう思うが 4 名、ややそう思うが 5 名、あまりそう思わないが 1 名であった。主指導教員(質問 6)と副指導教員(質問 7)の指導は十分だったかについては、両者ともに全ての学生がそう思うと回答した。主指導教員の指導に対する満足度(研究科独自質問項目の質問 10)については、無回答を除く全ての学生が満足していると回答している。教育分野ごとの授業内容に関する評価(研究科独自質問項目の質問 9)については、ほぼ全ての学生がその水準(SQ1)、自身の積極的な参加(SQ2)、総合的な満足度(SQ4)について肯定的な回答をしているが、「研究や実践的活動の手がかりを得られたか」という問い(SQ3)に対しては少数ではあるが、否定的もしくは中立的な回答が見られる。

第三に、授業外学修(問 8)については、1 週間で平均 21~25 時間行っている学生が 4 名と最も多く、続く。31 時間以上と 26~30 時間が各 2 名と続いている。

#### (2) 優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

修了生が身につける必要のある専門的な能力・態度に関する評価では、全ての項目について大学院の教育・研究は有用だといえる。このことから、大学院課程のディプロマ・ポリシーについては修了生から十分な評価が得られているといえる。つぎに、主指導教員と副指導教員による学生の指導についても、十分な評価が得られているといえる。そして、授業外学修には、比較的多くの時間を使うことができている。

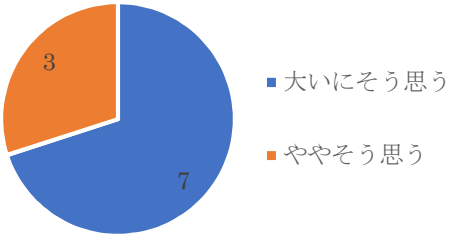
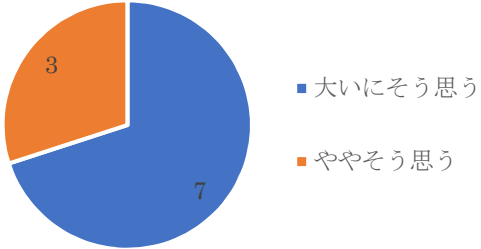
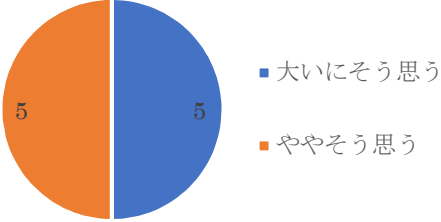
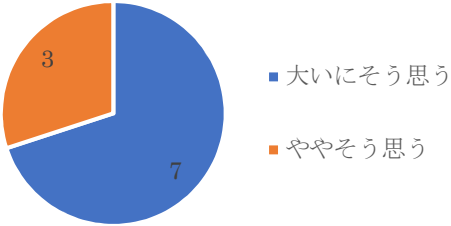
##### 【改善を要する点】

まず、カリキュラムについては他の質問項目に比べると相対的に評価が低いので、改善の余地がある。また、授業内容が研究や実践的活動につながっているかという点に関しても、十分な評価を得られているとはいえない。

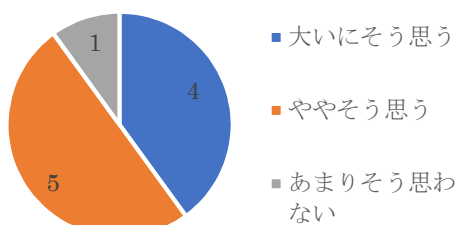
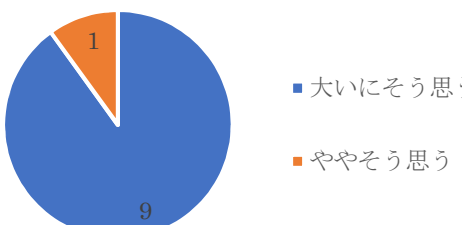
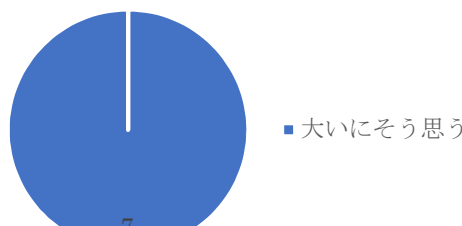
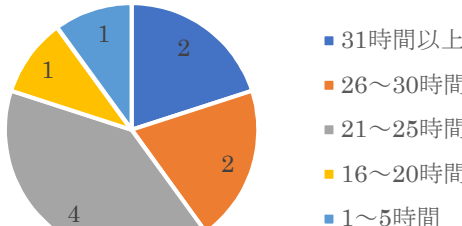
【参考資料】

(全研究科共通質問項目)

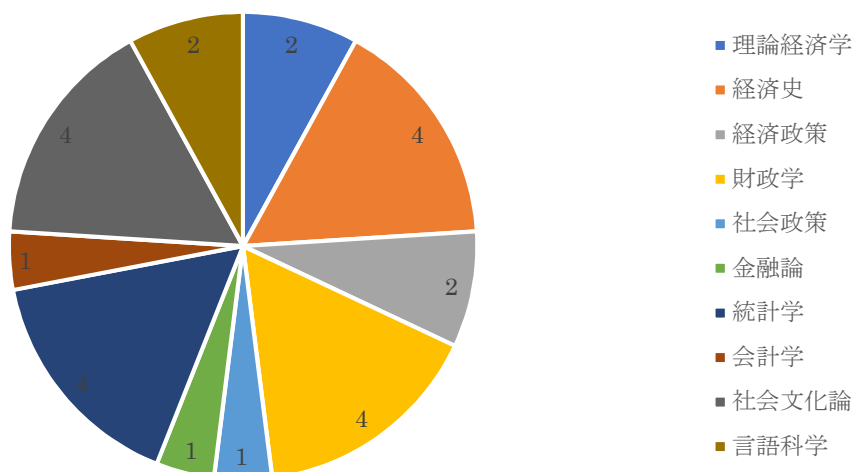
(人)

 <p>質問 1：大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野における高度な専門知識を理解・修得する上で有用でしたか。</p>	 <p>質問 2：大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上に有用でしたか。</p>
 <p>質問 3：大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において求められる倫理観や社会的責任を修得するのに有用でしたか。</p>	 <p>質問 4：大学院の教育・研究は、国際的視野を広げるのに有用でしたか。</p>

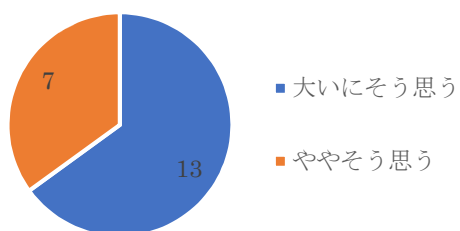


 <p>■ 大いに思う ■ やや思う ■ あまりそう思わない</p> <p>質問5：上記の大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムは十分整っていましたか。</p>	 <p>■ 大いに思う ■ やや思う</p> <p>質問6：大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか。</p>
 <p>■ 大いに思う</p> <p>質問7：大学院の教育・研究において、副指導教員の指導は十分でしたか。副指導教員がない場合、この質問には回答しないでください。</p>	 <p>■ 31時間以上 ■ 26～30時間 ■ 21～25時間 ■ 16～20時間 ■ 1～5時間</p> <p>質問8：あなたは今年度、授業が行われている期間に、授業時間外に授業と関係のある学習・活動に、1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか（レポート等の作成や実験等に要した時間、学位論文作成のための研究等に関する学習・活動も含まれます）。</p>

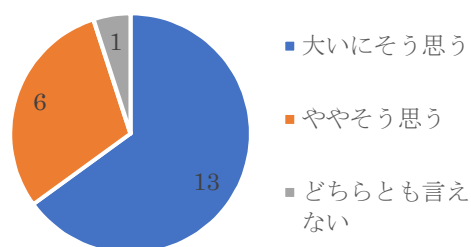
質問9：今年度、あなたはどの教育分野の授業科目を受講されましたか。受講した授業科目に該当する教育分野をすべて【】内に記号でご記入下さい。



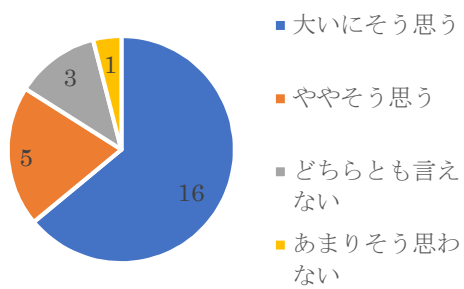
SQ1: 上の質問9で回答した各教育分野の授業の内容および水準は適切なものであったと思われませんか。



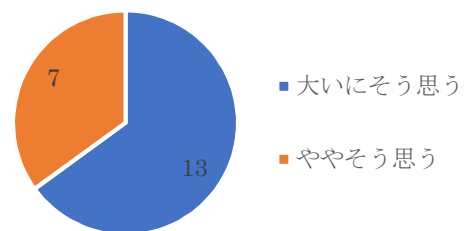
SQ2: 上の質問9で回答した各教育分野の授業に、あなたご自身は積極的に参加したと思われませんか。



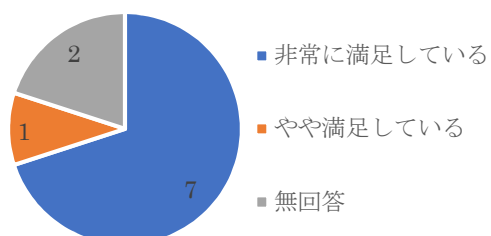
SQ3: 上の質問9で回答した各教育分野の授業を受けてみて、研究や実践的活動の手がかりを得ることができたと思われますか。



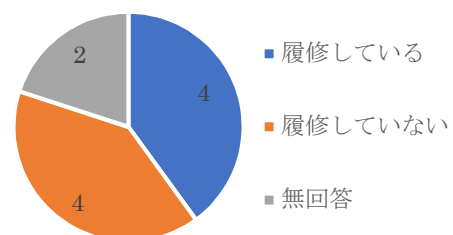
SQ4: 上の質問9で回答した各教育分野の授業は、総合的に満足できるものでしたか。



質問10: 演習指導教員の指導について、あなたはどのくらい満足されていますか。あなたのお気持ちに最も近い番号に○を一つお付け下さい。



SQ1: 副演習を履修していますか。



## 医学系研究科

\*\*\*\*\*

調査実施期間 平成30年6月30日 ～ 平成31年3月31日

\*\*\*\*\*

### 2. 研究科に関する分析

#### (1) 分析結果

研究科独自の質問項目をみていく。

#### 修士課程（看護学専攻）

「大学院入学の目的は達成できたか」（質問9）100%がそう思う（＝大いにそう思うとややそう思うの合計）と回答、「教育・研究において、就労への配慮は十分であったか」（質問10）90%がそう思うと回答、「大学院への進学について、積極的に勧めたいか」（質問11）80%がそう思うと回答、「大学院で身につけた考え方、知識が、今後の研究活動、実践に有用か」（質問13）100%がそう思うと回答した。

#### 博士課程

「大学院入学の目的は達成できたか」（質問9）94%がそう思う（＝大いにそう思うとややそう思うの合計）と回答、「教育・研究において、就労への配慮は十分であったか」（質問10）59%がそう思うと回答、「大学院への進学について、積極的に勧めたいか」（質問11）65%がそう思うと回答、「大学院で身につけた考え方、知識が、今後の研究活動、実践に有用か」（質問12）71%がそう思うと回答した。

#### (2) 優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

まず、「大学院入学の目的は達成できたか」、「大学院で身につけた考え方、知識が、今後の研究活動、実践に有用か」、といったことに対して、大学院の教育・研究は有用だといえる。このことから、大学院医学系研究科のディプロマ・ポリシー、カリキュラムポリシーについては修了生から十分な評価が得られているといえる。また、修士課程において、「教育・研究において、就労への配慮は十分であったか」、「大学院への進学について、積極的に勧めたいか」についても、十分な評価が得られている。

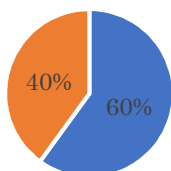
##### 【改善を要する点】

博士課程の「教育・研究において、就労への配慮は十分であったか」という点については、十分な評価が得られなかったため、改善が必要である。令和元年度から一部の社会人学生に配慮し、e-learningでの対応を実施しているところである。

【参考資料】

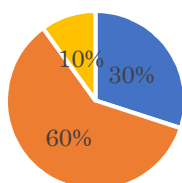
修士課程（看護学専攻）

問9 全体として、大学院入学の目的は達成できましたか。



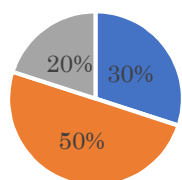
- 大いに思う
- やや思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

問10 大学院での教育・研究において、就労への配慮は十分でしたか。



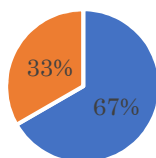
- 大いに思う
- やや思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

問11 大学院への進学について意見を求められた時、積極的に勧めたいですか。



- 大いに思う
- やや思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

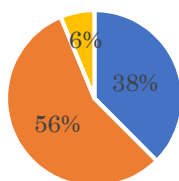
問13大学院（修士課程）で身につけた考え方、知識が、今後の研究活動、実践に有用ですか。



- 大いに思う      ■ やや思う
- どちらともいえない      ■ あまりそう思わない
- 全くそう思わない

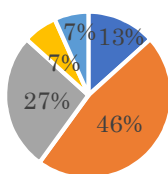
#### 博士課程

問9 全体として、大学院入学の目的は達成できましたか。



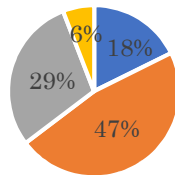
- 大いに思う      ■ やや思う
- どちらともいえない      ■ あまりそう思わない
- 全くそう思わない

問10 大学院での教育・研究において、就労への配慮は十分でしたか。



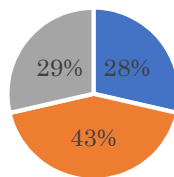
- 大いに思う      ■ やや思う
- どちらともいえない      ■ あまりそう思わない
- 全くそう思わない

問11大学院への進学について意見を求められた時、積極的に勧めたいですか。



- 大いに思う
- やや思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

問12大学院研究で身につけた考え方、知識、手技が今後の診療で有用ですか。



- 大いに思う
- やや思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

## 工学研究科

\*\*\*\*\*

調査実施期間 平成 31 年 2 月 6 日 ～ 平成 31 年 2 月 8 日

\*\*\*\*\*

### 2. 研究科に関する分析

#### (1) 分析結果

工学研究科の修了生に対する本アンケート調査は、平成 30 年度末に博士前期課程 2 年生として修了予定の学生を対象に実施し、110 名から得た回答にもとづいて分析を行った。工学研究科独自のアンケート項目は質問 9 から質問 30 までであり、質問 9 は所属する専攻を問うもの、質問 10 から質問 14 は [Ⅰ. 研究について]、質問 15 から質問 18 は [Ⅱ. 教育について]、質問 19 から質問 21 は [Ⅲ. 授業における「成績評価」や「シラバスの利用」など]、質問 22 から質問 26 は [Ⅳ. 進路について]、質問 27 から質問 30 は [Ⅴ. その他] に関する質問項目である。

まず [Ⅰ. 研究について] は、「質問 10：研究活動は充実していたか」に対して、「とても充実」と「やや充実」を合わせて 92.7%の学生が充実感をもって研究活動に取り組んでおり、その中で「質問 11：指導教員のサポート」が「とても充実」と「やや充実」を合わせてほぼ全員の 98.2%に上り、指導教員の学生への研究指導がうまく行われている実態が明らかになった。一方、「質問 12：研究設備は充分でしたか」では、「とても充実」と「やや充実」を合わせた割合が 82.8%と高いものの、指導教員のサポートへの満足度に比べると若干低めの値であった。

次に [Ⅱ. 教育について] で、「質問 15：2 年間大学院で学んで身についた能力」を問うたところ、「身についた」と「やや身についた」を合わせると、「プレゼンテーション力」、「専門分野の高度な知識」、「探究心を持つ力」、「ものごとの課題を発見し、解決する力」において 90%を超え 95%近くの学生が習得できたと回答している。また、「数学、自然科学の深い知識」、「社会問題の理解力」、「チームワーク力」でも 65～75%程度の学生が身についたと感じている。ただし、「英語の力」に関しては、身についたという学生が 50%と半数であった。

続いて [Ⅲ. 授業における「成績評価」や「シラバスの利用」など] では、授業科目を選択する際に、約 2/3 がシラバスを参考にしていたが、残る 1/3 の学生は参考にしていない状況であった。興味深い結果としては、「質問 20：教員は成績評価データのフィードバック」について、しっかりしていたと考える学生が 56%であったにもかかわらず、「質問 21：教員の単位認定（成績評価）の仕方」に対しては 94.5%の学生がしっかりしていたと回答した点が挙げられ、学生と教員との信頼関係は十分に築かれていたと推測される。

さらに [Ⅳ. 進路について] の「質問 26：会社情報の入手、就職に向けての努力」から、多くの学生は「就職説明会などへの参加」、「インターネットや雑誌などでの会社や求人情報」、「先輩の話や友人との情報交換」など常套的な手段を用いて活動した様子がうかがえ、「大学の就職（進路）資料室等での資料調査」、「教員との進路相談」、「キャリア支援センターおよび学科の就職担当等への進路相談」などの割合は低い結果であった。



最後に [V. その他] では、「質問 28：本学での教育・学習、学生生活などへの満足度」に関して、「満足している」、「やや満足している」と回答した学生が 92.7%に達しているとともに、「質問 29：大学院での修学生活への保護者の満足度」でも、「満足していると思う」、「やや満足していると思う」と回答した割合が 95%と高水準であった。

なお、添付した【参考資料】は、この分析結果に記載した上記のアンケート質問項目に対する回答結果である。

## (2) 優れた点及び改善を要する点

### 【優れた点】

9割以上の学生が充実感をもって研究活動に取り組んでおり、その中でほぼ全員の学生が指導教員の研究サポートに満足している傾向にある。

工学研究科博士前期課程のディプロマ・ポリシーに掲げた「専門知識・理解」、「研究能力・応用力（課題への挑戦・解決能力、実践的マネジメント能力）」、「倫理観・社会的責任」に関わる能力習得の到達度合いについては、学生の多くが身についたと実感しており、大学院の教育研究が有効に機能している。

教員の単位認定（成績評価）に対しては、学生と教員との間に十分な信頼関係が構築されている。また、学生および保護者の大学院での修学生活に対する満足度についても 9割を超える高水準にある。

### 【改善を要する点】

研究設備については、8割強の学生が充実していると感じている傾向にあるが、その充実度をさらに高めれば、指導教員の研究サポートに対する満足度を一層向上できる。

ディプロマ・ポリシーのうち、「グローバルマインド」の育成に関する部分では、英語の力不足が見受けられ、学生が海外の研究者、外国人学生との交流を今以上に行いやすくするための環境整備が望まれる。

教員による成績評価データのフィードバックについては、学生の 1/2 近くに不十分との意識があるため、これを改善することで、学生と教員との信頼関係がさらに良好な方向へ進展すると期待される。

【参考資料】

○ アンケート項目「質問 10. あなたの研究活動は充実していましたか。」について

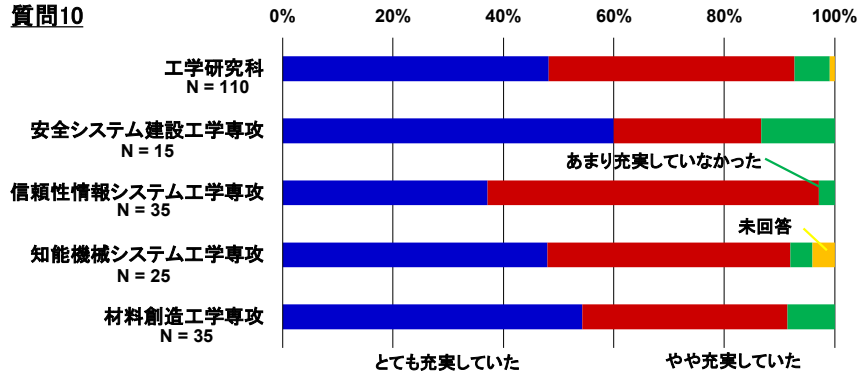


図 アンケート項目「質問 10」への回答の分布

○ アンケート項目「質問 11. あなたが研究を進めるにあたり、指導教員のサポートは充分でしたか。」について

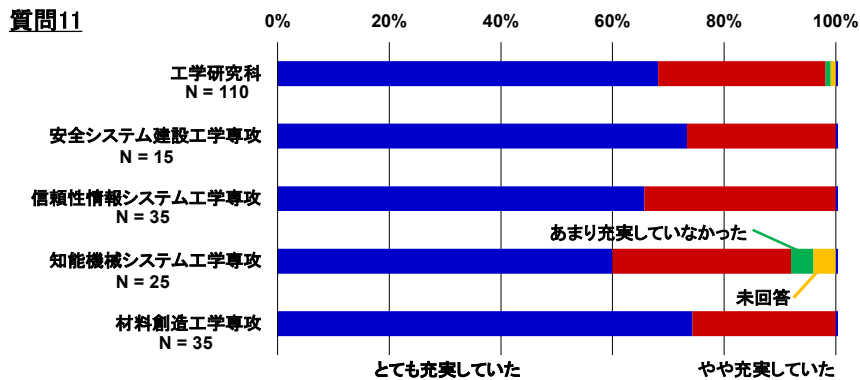


図 アンケート項目「質問 11」への回答の分布

○ アンケート項目「質問 12. あなたが研究を進めるにあたり、研究設備は充分でしたか。」について

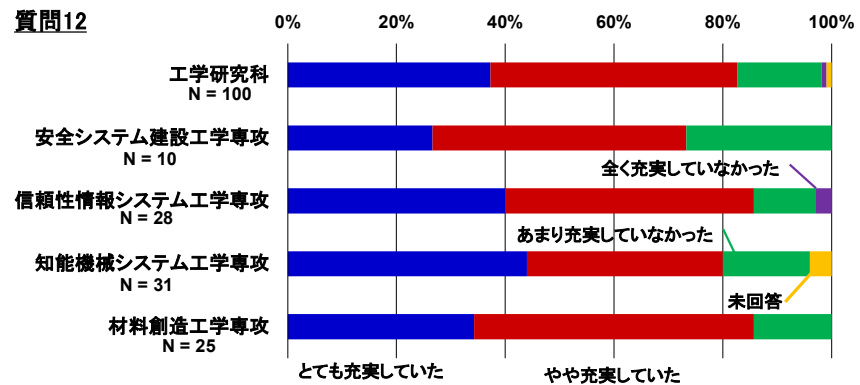


図 アンケート項目「質問 12」への回答の分布

○ アンケート項目「質問 15. あなたは、2年間大学院で学んで、以下に示す能力が身についたと思いますか。」について

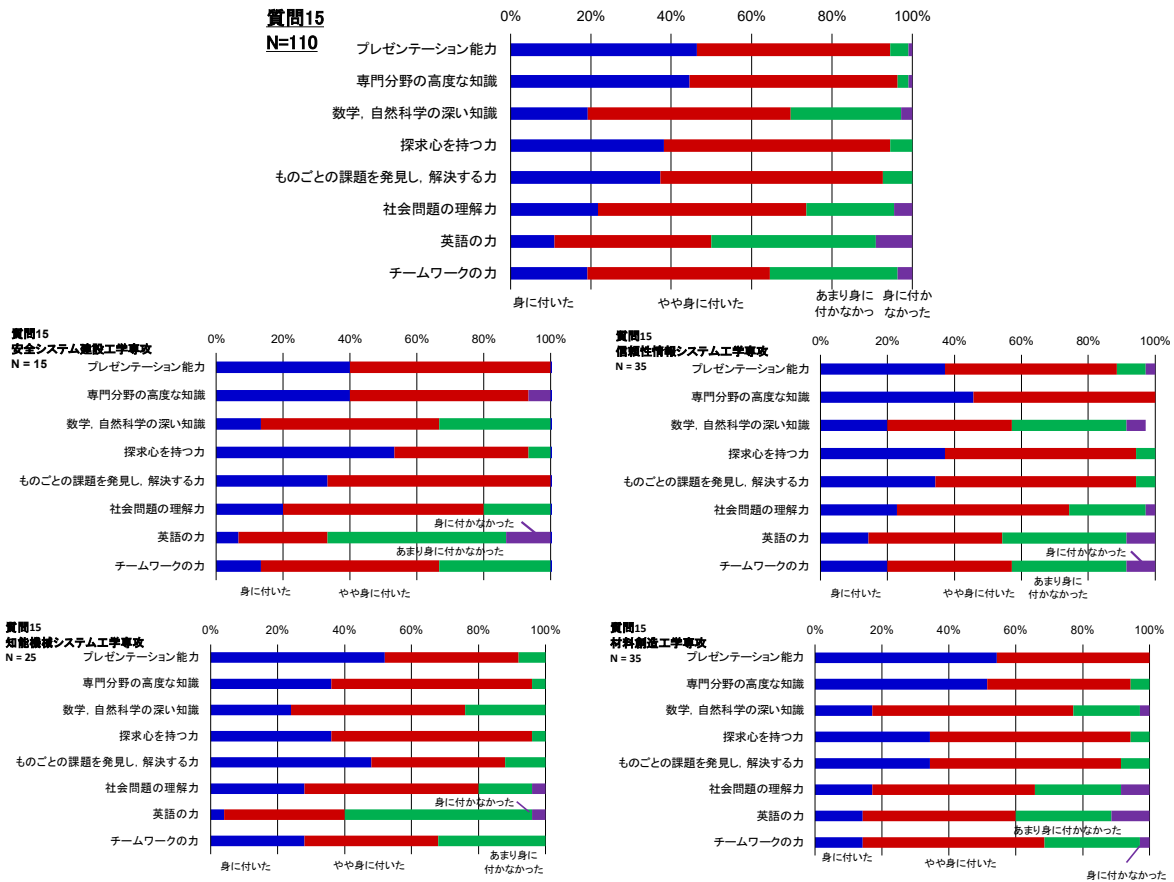


図 アンケート項目「質問 15」への回答の分布

○ アンケート項目「質問 20. 教員は成績評価の参考にしたデータ（平常点やレポート、テスト結果など）をあなたたち学生にフィードバック（伝達・返却など）していましたか。」について

**質問20**

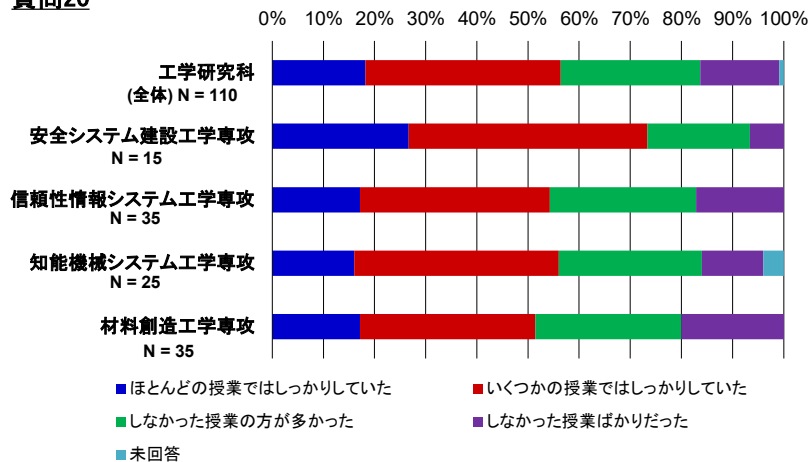


図 アンケート項目「質問 20」への回答の分布

○ アンケート項目「質問 21. 教員の単位認定（成績評価）の仕方は、信頼できましたか。」について

**質問21**

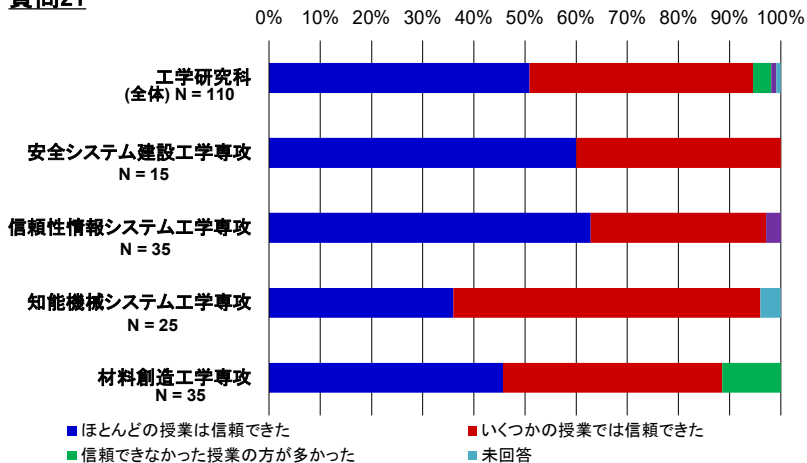


図 アンケート項目「質問 21」への回答の分布

○ アンケート項目「質問 26. あなたは、どのように会社情報を入手したり、就職に向けての努力をしましたか。（複数回答可）」について

**質問26**

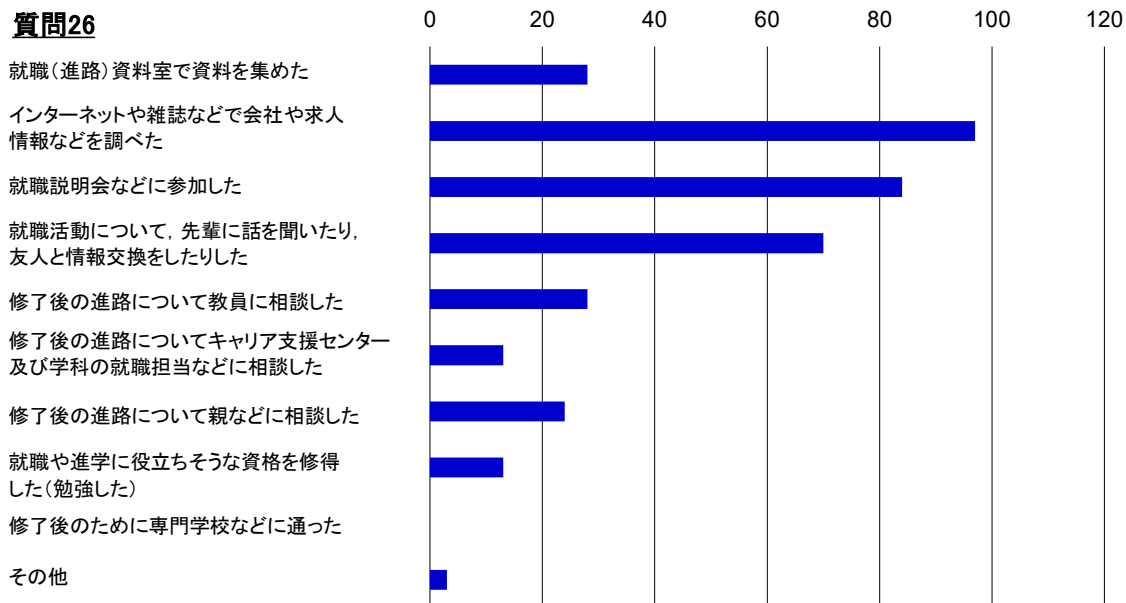


図 アンケート項目「質問 26」への回答

- アンケート項目「質問 28. 本学での教育・学習、学生生活などに関して、全体として「良かった」、「楽しかった」と感じるなど、満足していますか。」について

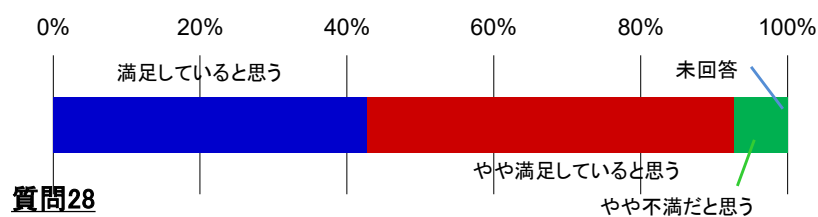


図 アンケート項目「質問 28」への回答の分布

- アンケート項目「質問 29. あなたの保護者は、あなたの本学での修学生活に満足していると思いますか。」について

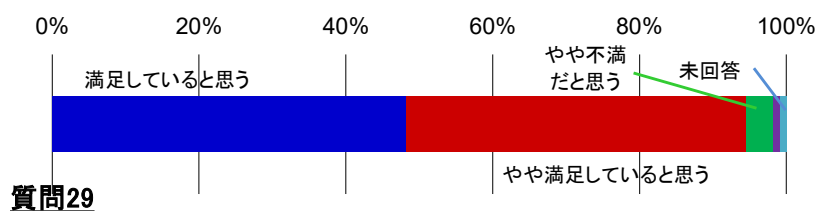


図 アンケート項目「質問 29」への回答の分布

## 農学研究科

\*\*\*\*\*

調査実施期間 平成 31 年 4 月 4 日 ～ 平成 31 年 4 月 22 日

\*\*\*\*\*

### 2. 研究科に関する分析

#### (1) 分析結果

全研究科共通の質問事項に対して、「高度な専門知識の理解・修得」（質問 1）、「研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上」（質問 2）は、90%以上がそう思う（「大いにそう思う」＋「そう思う」の合計）と回答し、「倫理観や社会的責任の修得」（質問 3）は約 80%がそう思うと回答した。

農学研究科独自項目では、図 1 の 1～12 の項目についてその修得および能力の向上に研究科の教育・研究は有用だったかという質問に対し、「5：課題を解決するための手法の探索と遂行能力」、「6：得られた結果に基づいた解析能力」、「7：課題の全容を論理的に取りまとめる能力」、「10：日本語によるプレゼンテーション能力」は 90%以上がそう思うと回答し、「4：課題を解決するために必要な情報の収集能力」は 80%以上がそう思うと回答した。「1：研究開発マインドの習得」、「3：自ら立案する課題設定能力」、「8：日本語によるコミュニケーション能力」は 60～80%がそう思うと回答した。また、図 2 の 1～6 の科目についてどの程度充実していたかという質問に対し、「3：専門科目（専攻セミナーⅠ～Ⅳ）」、「4：専門科目（専攻科目）」、「5：専門科目（専攻以外の科目）」は 80%以上が充実していた（「充実していた」＋「ある程度充実していた」の合計）と回答し、「1：基礎科目（科学研究キャリアリテラシー、国際研究コミュニケーション）」、「6：研究科目（修士研究Ⅰ～Ⅳ、修士論文）」は 70%以上が充実していたと回答した。

#### (2) 優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

農学研究科独自項目では「研究を計画および遂行する能力」、「研究成果を発信し議論できる能力」の取得について評価が高い。また、全研究科共通の質問事項 1～3 について有用と回答しており、農学研究科ディプロマポリシーの「専門知識・理解」、「研究能力・応用力」、「倫理観・社会的責任」については修了生から十分な評価が得られていると言える。科目の評価については、ほとんどの科目で充実度が高く、最も低い「展開科目」でも約 70%が充実していたと回答しており、十分な評価が得られていると言える。

##### 【改善を要する点】

「9：英語によるコミュニケーション能力」、「11：英語によるプレゼンテーション能力」、「12：グローバルマインドの習得」については、教育・研究の有用性について「どちらともいえない」という回答が多く、修了生から十分な評価を得られているとは言えない。

【参考資料】

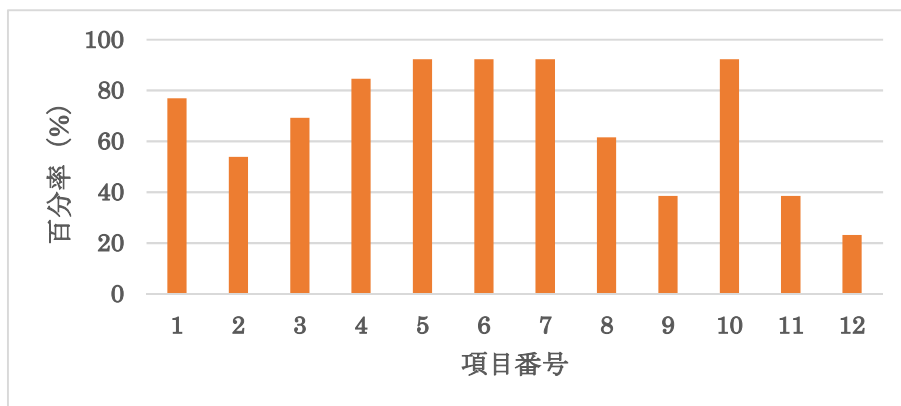


図1 農学研究科の教育・研究は、1～12に示す項目の習得および能力の向上に有用でしたか。

注1) 各番号の対応は以下のとおりである。

1：研究開発マインドの習得、2：高度専門職業人となるための幅広い知識の習得、3：自ら立案する課題設定能力、4：課題を解決するために必要な情報の収集能力、5：課題を解決するための手法の探索と遂行能力、6：得られた結果に基づいた解析能力、7：課題の全容を論理的に取りまとめる能力、8：日本語によるコミュニケーション能力、9：英語によるコミュニケーション能力、10：日本語によるプレゼンテーション能力、11：英語によるプレゼンテーション能力、12：グローバルマインドの習得。

注2) グラフは「大いにそう思う」＋「そう思う」の合計値を示している。

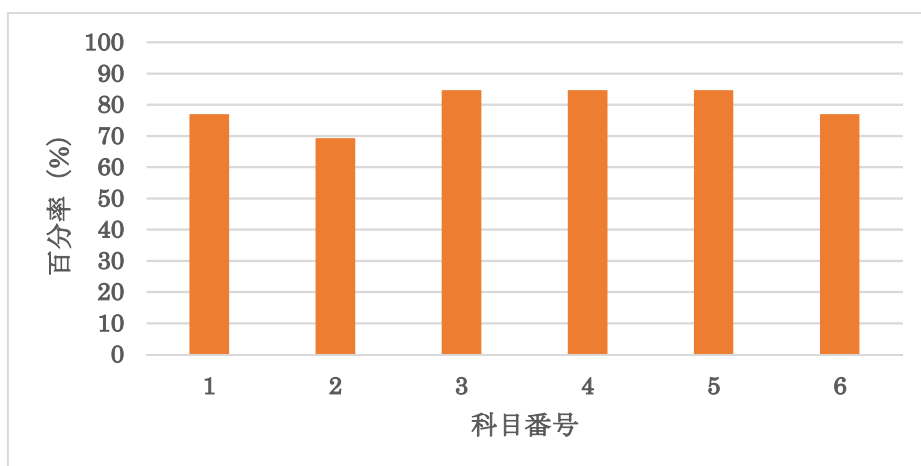


図2 農学研究科の専門教育について、どの程度充実していましたか？

注1) 各番号の対応は以下のとおりである。

1：基礎科目（科学研究キャリアリテラシー、国際研究コミュニケーション）、2：展開科目（先進科学特論、修士インターンシップ、国際研究発表技法）、3：専門科目（専攻セミナーI～IV）、4：専門科目（専攻科目）、5：専門科目（専攻以外の科目）、6：研究科目（修士研究I～IV、修士論文）。

注2) グラフは「充実していた」＋「ある程度充実していた」の合計値を示している。

## 地域マネジメント研究科

\*\*\*\*\*

調査実施期間 平成 31 年 3 月 24 日

以下は平成 30 年度修了生計 31 人中 28 人の回答 (回答率は 90.3%) についての分析である。なお回答者の平均年齢は 36.1 歳 (SD9.7)、就業状況は「正規雇用 77.8%」「非正規雇用 14.8%」「無職 7.4%」である。

\*\*\*\*\*

## 2. 研究科に関する分析

### (1) 分析結果

修了生の在籍時修学状況は概ね良いと言える。回答者の 9 割以上が就業している中、授業への出席率 90%以上が 6 割以上を占め、週当たり授業時間外勉強時間は平均 13.9 時間である。学校の環境については、「教室」「自習室」への満足度は概ね高いが、自習室について「どちらともいえない」が 26%とやや多い。若干名の既卒学生に対する就職支援の満足度も概ね高い (「満足」「ある程度満足」共に 43%)。

修了要件である 2 年次プロジェクト研究については、「満足」が 28.6%、「ある程度満足」が 50.0%を占め、本研究科に対する総合的な満足度は平均 4.6 (5 点満点) と高い値を示している。

大学院教育で身についた能力 (5 点満点) は、「現状を分析し目的や課題を明らかにする力 (4.33)」「物事に進んで取り組む力 (4.22)」「幅広い知識や教養 (4.19)」「目標を設定し確実に行動する力 (4.15)」「論理的に考え、物事を進める力 (4.15)」が上位を占め、逆に「リーダーシップ (3.46)」「ストレスの発生源に対応する力 (3.56)」「新しい価値を生み出す力 (3.63)」「社会のルールや人との約束を守る力 (3.78)」「他人に働きかけ巻き込む力 (3.85)」が下位を占めている。

### (2) 優れた点及び改善を要する点

#### 【優れた点】

現在の仕事で必要とされており、大学院教育で身についた能力としては「論理的に考え、物事を進める力」「意見の違いや立場の違いを理解する力」「現状を分析し目的や課題を明らかにする力」が挙げられており、社会のニーズに応える教育として評価できる。

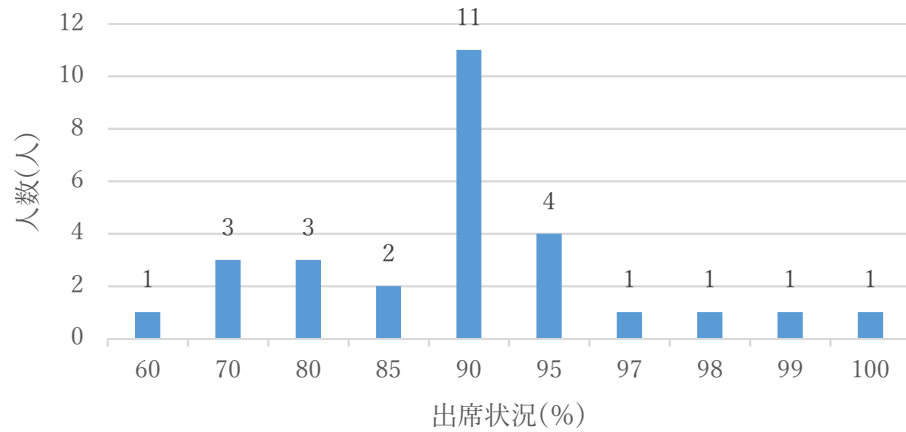
#### 【改善を要する点】

他方、現在の仕事で必要とされているが、大学院教育で身についた能力としての平均値が低いものとして「社会のルールや人との約束を守る力」「新しい価値を生み出す力」「リーダーシップ」「他人に働きかけ巻き込む力」「自分の意見をわかりやすく伝える力」等が挙げられ、高い倫理観、価値創造、対人関係構築力、伝達力等の養成に改善・工夫が必要といえる。

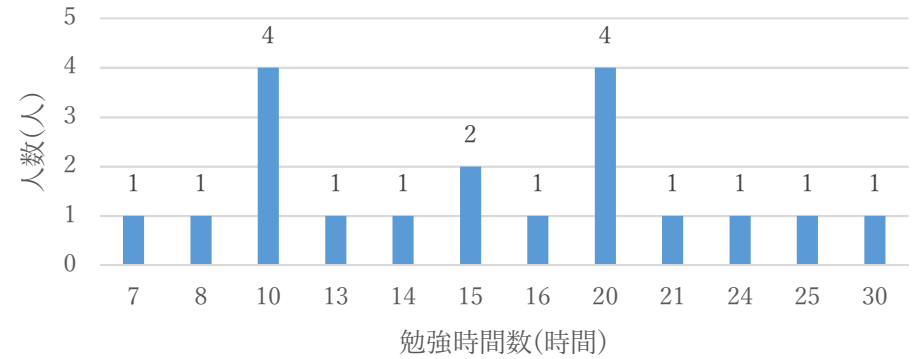


【参考資料】

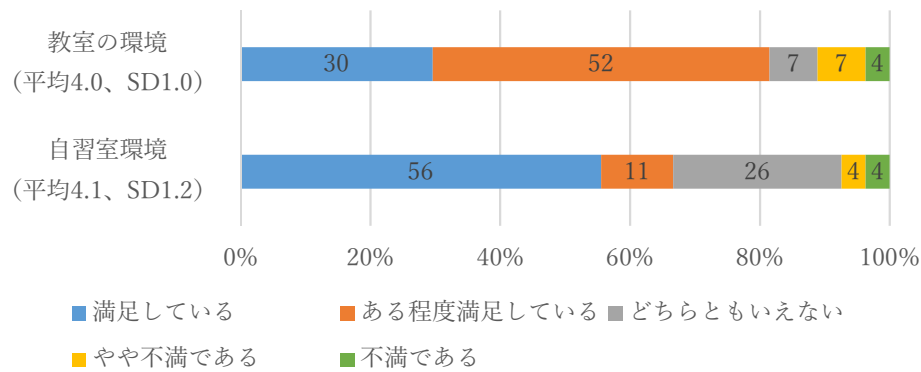
在学时出席状況 (平均87.3%、SD9.9)



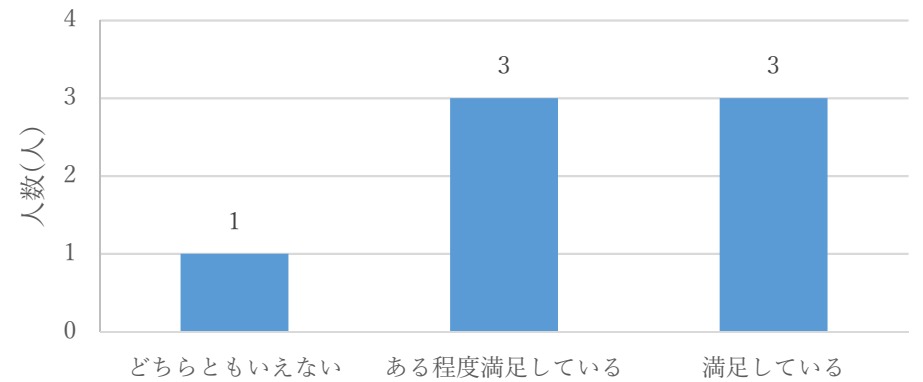
在籍時週当たり授業時間外勉強時間 (平均13.9時間、SD8.9)



学校の環境について  
(n=27、5点満点)

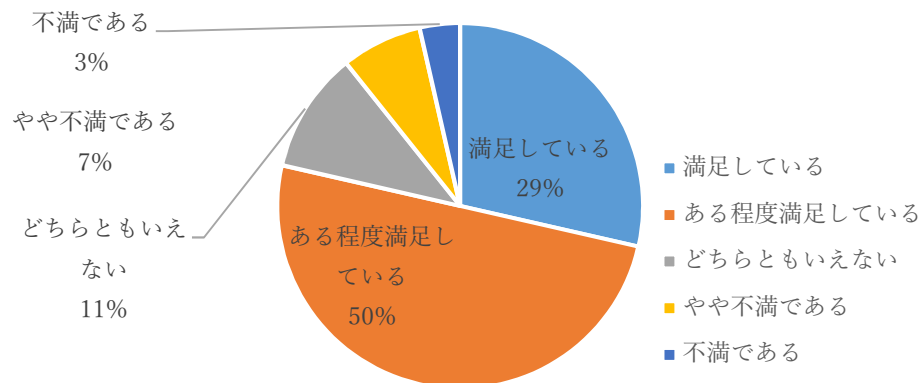


就職支援について  
(5点満点：平均4.3、SD0.8)



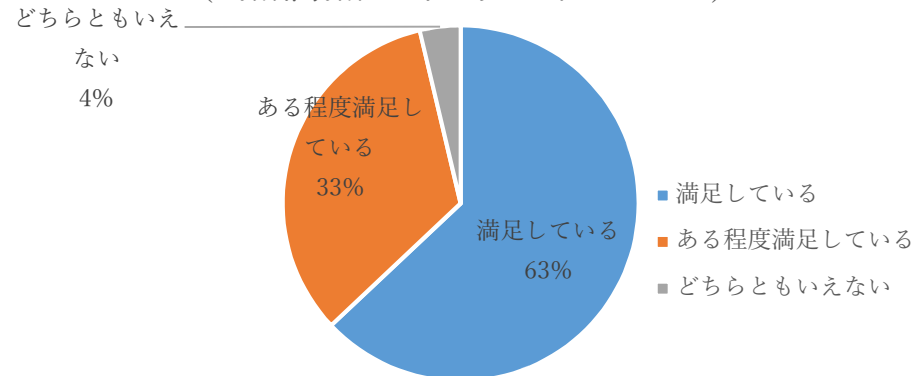
### プロジェクト研究について (n=28)

(5点満点：平均3.9、SD1.0)

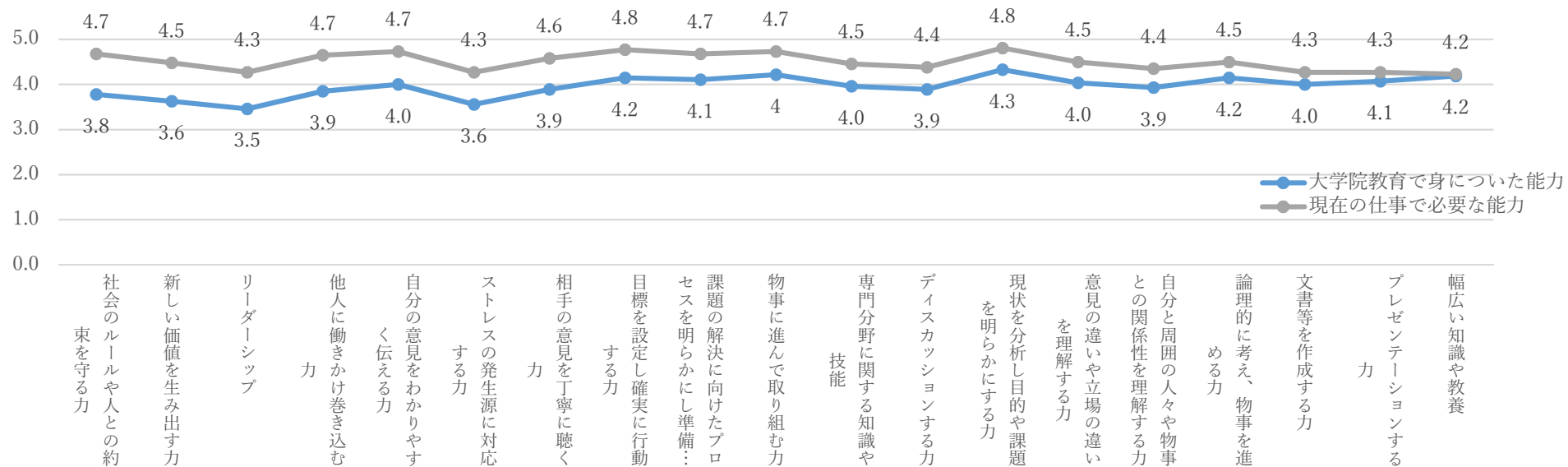


### 学んだことに満足しているか (n=27)

(5点満点：平均4.6、SD0.6)



### 修了後の効果 (5点満点)



## 《令和元年度》

## 第1章 修了生による大学教育評価アンケート調査の概要

1. 調査の目的 本学が提供する大学教育の成果・効果を明らかにし、本学に対する要望を把握することにより、教育の改善に資することを目的とする。
2. 調査実施期間 令和元年6月30日（日）～令和2年3月31日（火）
3. 調査対象 令和元年度修了生253人。回答数は176人、回収率70%
4. 調査内容・方法 アンケート調査の質問項目は、教学IR部で審議決定した。  
アンケート調査業務について、アンケート作成及び実施後の取りまとめは学務グループが統括し、アンケートの配布・回収などは各研究科で実施した。

## 香川大学大学院修士課程アンケート

はじめにお読みください。

香川大学は、世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念としています。香川大学大学院では、この教育理念に基づき、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた研究能力・応用力を備え、国際的な視野で地域社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。そのため本学大学院課程においては、以下の4つの構成要素、すなわち、①専門知識・理解、②研究能力・応用力、③倫理観・社会的責任、④グローバルマインドに基づき、各研究科の学生として求められる専門的な能力・態度を身につけた者に学位を授与しています。

教育学研究科 修士課程・専門職学位課程（                      専攻） 令和      年修了

問1～問11は、全研究科共通の質問項目です。あてはまる番号に○をつけてください。

問1. あなたは社会人学生ですか。

1. はい      2. いいえ      3. わからない

問2. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野における高度な専門知識を理解・修得する上で有用でしたか。

1. 大いにそう思う      2. ややそう思う      3. あまりそう思わない      4. 全くそう思わない

問3. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上に有用でしたか。

1. 大いにそう思う      2. ややそう思う      3. あまりそう思わない      4. 全くそう思わない

問4. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において求められる倫理観や社会的責任を修得するのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う      2. ややそう思う      3. あまりそう思わない      4. 全くそう思わない

問5. 大学院の教育・研究は、国際的視野を広げるのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う      2. ややそう思う      3. あまりそう思わない      4. 全くそう思わない

問6. 上記の大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムは十分整っていましたか。

1. 大いにそう思う      2. ややそう思う      3. あまりそう思わない      4. 全くそう思わない

問7. 大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか。

1. 大いにそう思う      2. ややそう思う      3. あまりそう思わない      4. 全くそう思わない

問8. 大学院の教育・研究において、副指導教員の指導は十分でしたか。副指導教員がない場合、この質問には回答しないで下さい。

1. 大いにそう思う      2. ややそう思う      3. あまりそう思わない      4. 全くそう思わない

問9. 大学院において、社会人が学びやすい環境は整っていましたか。

1. 大いにそう思う      2. ややそう思う      3. あまりそう思わない      4. 全くそう思わない

問10. あなたは今年度、授業が行われている期間に、授業時間外に授業と関係のある学習・活動に、1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。（レポート等の作成や実験等に要した時間、学位論文作成のための研究等に関する学習・活動も含まれます。）

1. 31時間以上      2. 26－30時間      3. 21－25時間      4. 16－20時間  
5. 11－15時間      6. 6－10時間      7. 1－5時間      8. 0時間

問 11. 香川大学、あるいはあなたの所属研究科において良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良くと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

質問 12 以降は、研究科独自の質問項目になります。  
差しさわりのある質問項目や回答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です。

問 12 教職大学院での学びの成果について、次の各問で、1～5 のいずれか一つに○をつけてください。

①～⑥については、主に、共通科目での学びについて聞きます。

①カリキュラムの編成・開発について、専門的な知識や技能を修得することができた。

1. 思わない      2. あまり思わない      3. どちらでもない      4. そう思う      5. とても思う

②教材研究、学習支援の方法について、専門的な知識や技能を修得することができた。

1. 思わない      2. あまり思わない      3. どちらでもない      4. そう思う      5. とても思う

③生徒指導・教育相談、道徳教育について、専門的な知識や技能を修得することができた。

1. 思わない      2. あまり思わない      3. どちらでもない      4. そう思う      5. とても思う

④学級経営・学校経営について、専門的な知識や技能を修得することができた。

1. 思わない      2. あまり思わない      3. どちらでもない      4. そう思う      5. とても思う

⑤学校づくり・校内支援体制、学校の役割について、専門的な知識や技能を修得することができた。

1. 思わない      2. あまり思わない      3. どちらでもない      4. そう思う      5. とても思う

⑥通常の学級での特別支援教育について、専門的な知識や技能を修得することができた。

1. 思わない      2. あまり思わない      3. どちらでもない      4. そう思う      5. とても思う

⑦コース科目の履修を通して、学校現場での課題を解決する力を高めることができた。

1. 思わない      2. あまり思わない      3. どちらでもない      4. そう思う      5. とても思う

⑧コース科目の履修を通して、学校での授業・指導を実践する力を高めることができた。

1. 思わない      2. あまり思わない      3. どちらでもない      4. そう思う      5. とても思う

⑨学校等での実習を通して、学校現場での課題を解決する力を高めることができた。

1. 思わない      2. あまり思わない      3. どちらでもない      4. そう思う      5. とても思う

⑩学校等での実習を通して、学校での授業・指導を実践する力を高めることができた。

1. 思わない      2. あまり思わない      3. どちらでもない      4. そう思う      5. とても思う

⑪学校現場の状況や児童生徒の現状などを的確に分析・把握する力を高めることができた。

1. 思わない      2. あまり思わない      3. どちらでもない      4. そう思う      5. とても思う

⑫新たな知見や教授技術を学校現場での実践に適用し検証する力を高めることができた。

1. 思わない      2. あまり思わない      3. どちらでもない      4. そう思う      5. とても思う

⑬学校現場での課題を他者との協働のもとに実践し解決する力を高めることができた。

1. 思わない      2. あまり思わない      3. どちらでもない      4. そう思う      5. とても思う

⑭現代的な教育の諸課題について、自ら追究・実践する能力を高めることができた。

1. 思わない      2. あまり思わない      3. どちらでもない      4. そう思う      5. とてもそう思う

⑮上記の項目を総合的に判断して、ご自分の教職大学院での学びにどの程度満足されていますか？

1. 満足していない                      2. あまり満足していない                      3. どちらでもない  
4. ある程度満足している                      5. とても満足している

問13 教職大学院での講義や実習等の取り組みについて、どのような点を改善したら、大学院生（皆さん）の学びがより充実したものになると思いますか。ご自由にお書きください。

ありがとうございました。



## 香川大学大学院修了生アンケート

はじめにお読みください。

香川大学は、世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念としています。香川大学大学院では、この教育理念に基づき、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた研究能力・応用力を備え、国際的な視野で地域社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。そのため本学大学院課程においては、以下の4つの構成要素、すなわち、①専門知識・理解、②研究能力・応用力、③倫理観・社会的責任、④グローバルマインドに基づき、各研究科の学生として求められる専門的な能力・態度を身につけた者に学位を授与しています。

法学研究科法律学専攻      令和      年修了

問1～問11は、全研究科共通の質問項目です。あてはまる番号に○をつけてください。

問1. あなたは社会人学生ですか。

1. はい    2. いいえ    3. わからない

問2. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野における高度な専門知識を理解・修得する上で有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問3. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上に有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問4. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において求められる倫理観や社会的責任を修得するのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問5. 大学院の教育・研究は、国際的視野を広げるのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問6. 上記の大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムは十分整っていましたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問7. 大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問8. 大学院の教育・研究において、副指導教員の指導は十分でしたか。副指導教員がいない場合、この質問には回答しないで下さい。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問9. 大学院において、社会人が学びやすい環境は整っていましたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問10. あなたは今年度、授業が行われている期間に、授業時間外に授業と関係のある学習・活動に、1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。(レポート等の作成や実験等に要した時間、学位論文作成のための研究等に関する学習・活動も含まれます。)

1. 31時間以上      2. 26-30時間      3. 21-25時間      4. 16-20時間  
5. 11-15時間      6. 6-10時間      7. 1-5時間      8. 0時間

問 11. 香川大学、あるいはあなたの所属研究科において良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良くと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

質問 12 以降は、研究科独自の質問項目になります。  
差しさわりのある質問項目や回答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です。

質問 12. 差し支えなければ、あなたの履修していた演習科目を教えてください。

質問 13. あなたは、どのような理由で法学研究科に進学しましたか。もっとも当てはまるもの一つを選んでください。

1. 当時、就いていた職業において必要な知識や能力を得たかったから
2. 当時、目指していた職業や資格に必要な知識や能力を得たかったから
3. 博士課程への進学を目指していたから
4. 職業や資格とは関係なく、法学・政治学を深く学びたかったから
5. その他（具体的に \_\_\_\_\_）

質問 14. あなたの出身大学、出身学部について、当てはまるものを一つを選んでください。

<出身大学について>

1. 香川大学を卒業した
2. 香川大学の以外の大学を卒業した

<出身学部について>

1. 法学部を卒業した
2. 法学部以外の学部を卒業した

※ 2 を選ばれた方は、差し支えなければ、卒業した学部を教えてください。

（ \_\_\_\_\_ 学部）

質問 15. 法学研究科で開講されていた授業の数や種類は十分でしたか？

1. 大いにそう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

質問 16. 全般的に、法学研究科で開講されていた授業の内容は満足できるものでしたか？

1. 大いにそう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

質問 17. 法学研究科における授業の内容や方法について、不満に思ったことがあれば、教えてください。

質問 18-1. 開講されていたら受講したかったという授業はありますか（担当者が不在等の理由で休講になっていた授業科目は除いてお考えください）。以下の中から、当てはまるものをすべて選んでください。

1. 研究方法に関する授業
2. 実務に関するする授業
3. 資格試験対策のための授業
4. 専門以外の教養を高める授業
5. その他
6. 特にない

質問 18-2. 5「その他」を選ばれた方は、どのような授業科目か、お答えください。

質問 19-1. 法学研究科では、ほとんどの授業で少人数教育を実施していますが、研究や学習を行う上で有益だったと思いますか。

1. 大いに思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

質問 19-2. 具体的にどのような点で、そのように思われますか。

質問 20-1. 法学研究科では社会人学生（有職者や職業経験を有する学生）と一般学生（学部卒業後、すぐに大学院に進学した学生）が混在していますが、そのような環境は、研究や学習を行う上で有益だったと思いますか。

1. 大いに思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

質問 20-2. 具体的にどのような点で、そのように思われますか。

質問 21. 教室や教育のための設備は、満足できるものでしたか？

1. 大いに思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

質問 22. 学内の施設（図書館や法学資料室、学内で利用できる判例検索システムなど）で、研究や学習に必要な文献・資料等の収集は十分にできましたか？

1. 大いに思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

質問 23. 学内の設備や施設に関して不満に思っていたことがあれば、教えてください。

質問 24-1. 長期履修制度（3年間で修士の学位取得を目指す制度）を利用していた方に伺います。あなたは、長期履修制度を利用して良かったと思いますか。

1. 大いに思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

質問 24-2. 具体的にどのような点で、そのように思われますか。

質問 25. 差し支えなければ、現在のあなたのご職業を教えてください。

質問 26. 法学研究科修了後、現在のご職業とは違うご職業に就く予定がある方は、差し支えなければ、そのご職業を教えてください。

質問 27-1. 法学研究科での教育・研究は、その後の職業生活において求められる知識や能力を得る上で有益でしたか。

1. 大いにそう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

質問 27-2. 具体的にどのような点で、そのように思われますか。

質問 28-1. 法学研究科での教育・研究は、その後の（職業に関することは別に）社会生活において有益であると思われますか。

1. 大いにそう思う
2. ややそう思う
3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

質問 28-2. 具体的にどのような点で、そのように思われますか。

質問 29. 法学研究科で受講した授業で、職業生活や社会生活において有益だったと思う科目を挙げてください。（幾つ挙げても構いません。また、理由もお書き添えください。）

質問 30. 法学研究科での研究・学習全般について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。長時間にわたってご協力くださり、ありがとうございました。

## 香川大学大学院修了生アンケート

はじめにお読みください。

香川大学は、世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念としています。香川大学大学院では、この教育理念に基づき、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた研究能力・応用力を備え、国際的な視野で地域社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。そのため本学大学院課程においては、以下の4つの構成要素、すなわち、①専門知識・理解、②研究能力・応用力、③倫理観・社会的責任、④グローバルマインドに基づき、各研究科の学生として求められる専門的な能力・態度を身につけた者に学位を授与しています。

経済学研究科経済学専攻      令和      年修了

問1～問11は、全研究科共通の質問項目です。あてはまる番号に○をつけてください。

問1. あなたは社会人学生ですか。

1. はい      2. いいえ      3. わからない

問2. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野における高度な専門知識を理解・修得する上で有用でしたか。

1. 大いにそう思う      2. ややそう思う      3. あまりそう思わない      4. 全くそう思わない

問3. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上に有用でしたか。

1. 大いにそう思う      2. ややそう思う      3. あまりそう思わない      4. 全くそう思わない

問4. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において求められる倫理観や社会的責任を修得するのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う      2. ややそう思う      3. あまりそう思わない      4. 全くそう思わない

問5. 大学院の教育・研究は、国際的視野を広げるのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う      2. ややそう思う      3. あまりそう思わない      4. 全くそう思わない

問6. 上記の大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムは十分整っていましたか。

1. 大いにそう思う      2. ややそう思う      3. あまりそう思わない      4. 全くそう思わない

問7. 大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか。

1. 大いにそう思う      2. ややそう思う      3. あまりそう思わない      4. 全くそう思わない

問8. 大学院の教育・研究において、副指導教員の指導は十分でしたか。副指導教員がいない場合、この質問には回答しないで下さい。

1. 大いにそう思う      2. ややそう思う      3. あまりそう思わない      4. 全くそう思わない

問9. 大学院において、社会人が学びやすい環境は整っていましたか。

1. 大いにそう思う      2. ややそう思う      3. あまりそう思わない      4. 全くそう思わない

問10. あなたは今年度、授業が行われている期間に、授業時間外に授業と関係のある学習・活動に、1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。(レポート等の作成や実験等に要した時間、学位論文作成のための研究等に関する学習・活動も含まれます。)

1. 31時間以上      2. 26-30時間      3. 21-25時間      4. 16-20時間  
5. 11-15時間      6. 6-10時間      7. 1-5時間      8. 0時間

問 11. 香川大学、あるいはあなたの所属研究科において良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良いと思う点が

質問 12 以降は、研究科独自の質問項目になります。

差しさわりのある質問項目や回答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です。

【以下の質問では、経済学研究科の授業科目についてお伺いいたします。】

質問 12. 今年度、あなたはどの教育分野の授業科目を受講されましたか。受講した授業科目に該当する教育分野をすべて【 】内に記号でご記入下さい。

【 】【 】【 】【 】【 】【 】

＜教育分野＞

- A. 理論経済学      B. 経済史              C. 経済政策          D. 財政学
- E. 社会政策          F. 金融論              G. 統計学              H. 経営学
- I. 商学                  J. 会計学              K. 社会文化論
- L. 言語科学          M. その他（外国書講読）

\*以下の質問項目では、左欄の【 】にあなたが受講した教育分野の記号を記入し、その教育分野に対する評価について、あなたのお気持ちに最も近い番号に○を1つずつお付け下さい。

SQ1. 上の質問9で回答した各教育分野の授業の内容および水準は適切なものであったと思われませんか。

	大いに そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう 思わない	全く そう 思わない		大いに そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう 思わない	全く そう 思わない	
【 】	5	4	3	2	1	→	【 】	5	4	3	2	1
【 】	5	4	3	2	1	→	【 】	5	4	3	2	1
【 】	5	4	3	2	1	→	【 】	5	4	3	2	1

SQ2. 上の質問9で回答した各教育分野の授業に、あなたご自身は積極的に参加したと思われませんか。

	大いに そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう 思わない	全く そう 思わない		大いに そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう 思わない	全く そう 思わない	
【 】	5	4	3	2	1	→	【 】	5	4	3	2	1
【 】	5	4	3	2	1	→	【 】	5	4	3	2	1
【 】	5	4	3	2	1	→	【 】	5	4	3	2	1



SQ3. 上の質問9で回答した各教育分野の授業を受けてみて、研究や実践的活動の手がかりを得ることができたと思われませんか。

	大いに そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう 思わない	全く そう 思わない		大いに そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう 思わない	全く そう 思わない	
【 】	5	4	3	2	1	→	【 】	5	4	3	2	1
【 】	5	4	3	2	1	→	【 】	5	4	3	2	1
【 】	5	4	3	2	1	→	【 】	5	4	3	2	1

SQ4. 上の質問9で回答した各教育分野の授業は、総合的に満足できるものでしたか。

	非常に 満足 している	やや 満足 している	どちらとも 言えない	あまり 満足 して いない	全く 満足 して いない		非常に 満足 している	やや 満足 している	どちらとも 言えない	あまり 満足 して いない	全く 満足 して いない	
【 】	5	4	3	2	1	→	【 】	5	4	3	2	1
【 】	5	4	3	2	1	→	【 】	5	4	3	2	1
【 】	5	4	3	2	1	→	【 】	5	4	3	2	1

SQ5. 受講した授業科目のなかで、とくによいと思うことがあれば、下の枠内にご記入下さい。

SQ6. 受講した授業科目のなかで、とくに改善してほしいと思うことがあれば、下の枠内にご記入下さい。

【以下の質問では、経済学研究科での演習についてお伺いいたします。】

質問 13. 演習指導教員の指導について、あなたはどのくらい満足されていますか。あなたのお気持ちに最も近い番号に○を1つお付け下さい。

非常に満足している	やや満足している	どちらとも言えない	あまり満足していない	全く満足していない
5	4	3	2	1
----- ----- ----- ----- -----				

SQ1. 副演習を履修していますか。

A. 履修している

B. 履修していない

SQ2. 演習指導についてとくに改善点してほしいと思うことがあれば、下の枠内にご記入下さい。

【以下の質問では、経済学研究科のカリキュラム、その他全般についてお伺いいたします。】

質問 14. 授業科目のなかで、取り上げてほしい分野等があれば、下の枠内にご記入下さい。

SQ1. 時間割上で、何か問題があると感じたことはありませんか。もし問題があるようであれば、下の枠内にご記入下さい。

SQ2. カリキュラム、設備、そのほかのことについて、何か要望はありませんか。どのようなことでも結構ですので、要望や改善点がありましたら、下の枠内にご記入下さい。忌憚のないご意見をお願いいたします。

質問 15. 最後に、あなたご自身についてお伺いいたします。それぞれの質問について、当てはまる記号に○を1つずつお付け下さい。

1. あなたの所属コースは    A. 分野別コース    B. フレックスコース
2. あなたの学年は            A. 1年            B. 2年            C. 3年以上
3. あなたは留学生ですか    A. はい            B. いいえ

\*\*\*\*\* たくさんの質問にご協力いただき、ありがとうございました \*\*\*\*\*

## 香川大学大学院修士生アンケート

はじめにお読みください。

香川大学は、世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念としています。香川大学大学院では、この教育理念に基づき、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた研究能力・応用力を備え、国際的な視野で地域社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。そのため本学大学院課程においては、以下の4つの構成要素、すなわち、①専門知識・理解、②研究能力・応用力、③倫理観・社会的責任、④グローバルマインドに基づき、各研究科の学生として求められる専門的な能力・態度を身につけた者に学位を授与しています。

医学系研究科 課程 ( 専攻) 年 月 修了

問1～問11は、全研究科共通の質問項目です。あてはまる番号に○をつけてください。

問1. あなたは社会人学生ですか。

1. はい 2. いいえ 3. わからない

問2. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野における高度な専門知識を理解・修得する上で有用でしたか。

1. 大いに思う 2. やや思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない

問3. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上に有用でしたか。

1. 大いに思う 2. やや思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない

問4. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において求められる倫理観や社会的責任を修得するのに有用でしたか。

1. 大いに思う 2. やや思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない

問5. 大学院の教育・研究は、国際的視野を広げるのに有用でしたか。

1. 大いに思う 2. やや思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない

問6. 上記の大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムは十分整っていましたか。

1. 大いに思う 2. やや思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない

問7. 大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか。

1. 大いに思う 2. やや思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない

問8. 大学院の教育・研究において、副指導教員の指導は十分でしたか。副指導教員がない場合、この質問には回答しないで下さい。

1. 大いに思う 2. やや思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない

問9. 大学院において、社会人が学びやすい環境は整っていましたか。

1. 大いに思う 2. やや思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない

問10. あなたは今年度、授業が行われている期間に、授業時間外に授業と関係のある学習・活動に、1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。(レポート等の作成や実験等に要した時間、学位論文作成のための研究等に関する学習・活動も含まれます。)

1. 31時間以上 2. 26-30時間 3. 21-25時間 4. 16-20時間  
5. 11-15時間 6. 6-10時間 7. 1-5時間 8. 0時間

問 11. 香川大学、あるいはあなたの所属研究科において良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良いと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

質問 12 以降は、研究科独自の質問項目になります。  
差しさわりのある質問項目や回答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です。

質問 12. 全体として、大学院入学の目的は達成できましたか。

5. 大いに思う      4. ややそう思う      3. どちらともいえない  
2. あまりそう思わない      1. 全くそう思わない

質問 13. 大学院での教育・研究において、就労への配慮は十分でしたか。

5. 大いに思う      4. ややそう思う      3. どちらともいえない  
2. あまりそう思わない      1. 全くそう思わない

質問 14. 大学院への進学について意見を求められた時、積極的に勧めたいですか。

5. 大いに思う      4. ややそう思う      3. どちらともいえない  
2. あまりそう思わない      1. 全くそう思わない

(博士課程：質問 15)

質問 15. 大学院研究で身につけた考え方、知識、手技が今後の診療で有用ですか。

5. 大いに思う      4. ややそう思う      3. どちらともいえない  
2. あまりそう思わない      1. 全くそう思わない

(修士課程：質問 16)

質問 16. 大学院（修士課程）で身につけた考え方、知識が、今後の研究活動、実践に有用ですか。

5. 大いに思う      4. ややそう思う      3. どちらともいえない  
2. あまりそう思わない      1. 全くそう思わない

質問 17. 研究科独自の自由記述欄

(1) 大学院での教育・研究の実績を今後どのように生かそうと考えていますか。

(2) 大学院での教育・研究において、改善すべき点、良かった点を記載ください。

[改善すべき点]

[良かった点]

(3) 自由記述欄

## 香川大学大学院修了生アンケート

はじめにお読みください。

香川大学は、世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念としています。香川大学大学院では、この教育理念に基づき、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた研究能力・応用力を備え、国際的な視野で地域社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。そのため本学大学院課程においては、以下の4つの構成要素、すなわち、①専門知識・理解、②研究能力・応用力、③倫理観・社会的責任、④グローバルマインドに基づき、各研究科の学生として求められる専門的な能力・態度を身につけた者に学位を授与しています。

工学研究科 博士前期(修士)課程 令和 年修了

問1～問11は、全研究科共通の質問項目です。あてはまる番号に○をつけてください。

問1. あなたは社会人学生ですか。

1. はい    2. いいえ    3. わからない

問2. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野における高度な専門知識を理解・修得する上で有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問3. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上に有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問4. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において求められる倫理観や社会的責任を修得するのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問5. 大学院の教育・研究は、国際的視野を広げるのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問6. 上記の大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムは十分整っていましたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問7. 大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問8. 大学院の教育・研究において、副指導教員の指導は十分でしたか。副指導教員がない場合、この質問には回答しないで下さい。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問9. 大学院において、社会人が学びやすい環境は整っていましたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問10. あなたは今年度、授業が行われている期間に、授業時間外に授業と関係のある学習・活動に、1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。(レポート等の作成や実験等に要した時間、学位論文作成のための研究等に関する学習・活動も含まれます。)

1. 31時間以上    2. 26-30時間    3. 21-25時間    4. 16-20時間  
5. 11-15時間    6. 6-10時間    7. 1-5時間    8. 0時間

問 11. 香川大学、あるいはあなたの所属研究科において良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良くと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

質問 12 以降は、研究科独自の質問項目になります。  
差しさわりのある質問項目や回答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です。



以下は工学研究科独自の質問項目になります。上記と似た内容の質問についても、改めてお答えください。

質 12. あなたが所属している専攻について、あてはまる番号に○をつけてください。

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. 安全システム建設工学専攻 | 2. 信頼性情報システム工学専攻 |
| 3. 知能機械システム工学専攻 | 4. 材料創造工学専攻      |

(Ⅰ. 研究について)

質問 13. あなたの研究活動は充実していましたか。

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. とても充実していた    | 2. やや充実していた    |
| 3. あまり充実していなかった | 4. 全く充実していなかった |

質問 14. あなたが研究を進めるにあたり、指導教員のサポートは充分でしたか。

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. とても充実していた    | 2. やや充実していた    |
| 3. あまり充実していなかった | 4. 全く充実していなかった |

質問 15. あなたが研究を進めるにあたり、研究設備は充分でしたか。

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. とても充実していた    | 2. やや充実していた    |
| 3. あまり充実していなかった | 4. 全く充実していなかった |

質問 16. あなたは、TA で大学院生が講義をサポートすることをどのように考えていますか。

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1. 非常によい        | 2. どちらかと言えばよい |
| 3. どちらかと言えばよくない | 4. よくない       |

質問 17. あなたの大学院での学習・生活習慣について、あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	日常的 にした	たまに した	あまり しな か つた	しな か つた
1) 図書館を利用する	1	2	3	4
2) 文献を読む	1	2	3	4
3) 新聞を読む	1	2	3	4
4) 研究の計画を立てる	1	2	3	4
5) インターネットで情報を収集する	1	2	3	4
6) 論文や報告書を作成する	1	2	3	4
7) ボランティア活動を行う	1	2	3	4
8) 学会活動を行なう	1	2	3	4

(Ⅱ. 教育について)

質問 18. あなたは、2年間大学院で学んで、以下に示す能力が身についたと思いますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	身 につ いた	身 や や につ いた	あ ま り 身 に つ か な か つ た	あ ま り 身 に つ か な か つ た
1) プレゼンテーションの力	1	2	3	4
2) 専門分野の高度な知識	1	2	3	4
3) 数学, 自然科学の深い知識	1	2	3	4
4) 探究心を持つ力	1	2	3	4
5) ものごとの課題を発見し、解決する力	1	2	3	4
6) 社会問題の理解力	1	2	3	4
7) 英語の力	1	2	3	4
8) チームワークの力	1	2	3	4

質問 19. あなたは、大学院での学習についてどのように考えてきましたか。下記の項目で、あなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

	そう 思う	やや そう 思う	あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い
1) 大学院で身につけた知識やスキルが将来の職業生活に役に立つ	1	2	3	4
2) 大学院を修了すれば、よりよい条件の職業につくことができる	1	2	3	4
3) 大学院で何を学んだかは就職活動の結果に関係がない	1	2	3	4

質問 20. あなたは、履修登録にあたり、将来や進路なども考えたうえで、真剣に検討しましたか。

1. 非常にまじめに検討した
2. 少しはまじめに検討した
3. あまりまじめに検討しなかった
4. 全く検討しなかった

質問 21. 1日に平均してどのくらい自学・自習（予習・復習・レポート作成等）しましたか。

1. 5時間以上
2. 4時間以上5時間未満
3. 3時間以上4時間未満
4. 2時間以上3時間未満
5. 1時間以上2時間未満
6. 1時間未満

質問 22. 1日に平均してどのくらい研究（実験・解析・ディスカッション・レポート作成等）しましたか。

1. 5時間以上
2. 4時間以上5時間未満
3. 3時間以上4時間未満
4. 2時間以上3時間未満
5. 1時間以上2時間未満
6. 1時間未満

質問 23. あなたは、インターンシップ・体験学習等を体験しましたか。

1. はい
2. いいえ

(Ⅲ. 授業における「成績評価」や「シラバスの利用」など)

質問 24. あなたは、授業科目を選択する際に、シラバスをどの程度参考にしましたか。

1. 十分に参考にした
2. まあまあ参考にした



9) 個人の時間が確保できること	1	2	3	4
10) 親や知人の推薦・評判	1	2	3	4

質問 31. あなたは、どのように会社情報を入手したり、就職に向けての努力をしたりしましたか。  
(複数回答可)

1. 就職（進路）資料室等で資料を調べた
2. インターネットや雑誌などで会社や求人情報などを調べた
3. 就職説明会などに参加した
4. 就職活動について、先輩に話を聞いたり、友人と情報交換をした
5. 修了後の進路について教員に相談した
6. 修了後の進路についてキャリア支援センターおよび学科の就職担当等に相談した
7. 修了後の進路について親等に相談した
8. 就職や進学に役立つような資格を取得した（勉強した）
9. 修了後のために専門学校などに通った
10. その他

#### (V. その他)

質問 32. あなたは大学院に入学後の学生生活において、何らかの犯罪や民事上の被害・トラブルを経験したことがありますか（複数回答可）。

1. マルチ商法、悪徳販売による被害
2. アルバイト先での賃金未払いや不当解雇の被害
3. セクハラ、ストーカー等の性的犯罪
4. アカハラ、パワハラなどの嫌がらせ行為
5. 学内での窃盗
6. けんか等の暴行
7. アルコールの痛飲による急性アルコール中毒
8. その他
9. 被害にあったことがない

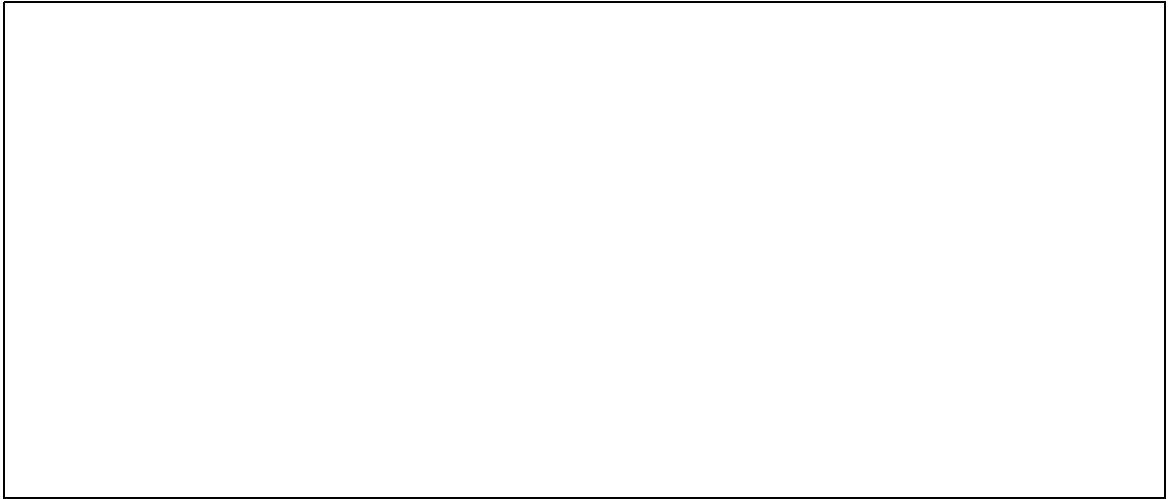
質問 33. 本学での教育・学習、学生生活などに関して、全体として「良かった」、「楽しかった」と感じるなど、満足していますか。

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している |
| 3. やや不満   | 4. 不満       |

質問 34. あなたの保護者は、あなたの本大学院での修学生活に満足していると思いますか。

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 1. 満足していると思う | 2. やや満足していると思う |
| 3. やや不満だと思う  | 4. 不満だと思う      |

質問 35. 授業や教育に関する要望、あるいは改善へのご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。



## 香川大学大学院修了生アンケート

はじめにお読みください。

香川大学は、世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念としています。香川大学大学院では、この教育理念に基づき、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた研究能力・応用力を備え、国際的な視野で地域社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。そのため本学大学院課程においては、以下の4つの構成要素、すなわち、①専門知識・理解、②研究能力・応用力、③倫理観・社会的責任、④グローバルマインドに基づき、各研究科の学生として求められる専門的な能力・態度を身につけた者に学位を授与しています。

農学研究科                      課程（                      専攻）    令和    年修了

問1～問11は、全研究科共通の質問項目です。あてはまる番号に○をつけてください。

問1. あなたは社会人学生ですか。

1. はい    2. いいえ    3. わからない

問2. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野における高度な専門知識を理解・修得する上で有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問3. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上に有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問4. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において求められる倫理観や社会的責任を修得するのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問5. 大学院の教育・研究は、国際的視野を広げるのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問6. 上記の大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムは十分整っていましたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問7. 大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問8. 大学院の教育・研究において、副指導教員の指導は十分でしたか。副指導教員がない場合、この質問には回答しないで下さい。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問9. 大学院において、社会人が学びやすい環境は整っていましたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問10. あなたは今年度、授業が行われている期間に、授業時間外に授業と関係のある学習・活動に、1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。(レポート等の作成や実験等に要した時間、学位論文作成のための研究等に関する学習・活動も含みます。)

1. 31時間以上    2. 26-30時間    3. 21-25時間    4. 16-20時間  
5. 11-15時間    6. 6-10時間    7. 1-5時間    8. 0時間

問 11. 香川大学、あるいはあなたの所属研究科において良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良くと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

質問 12 以降は、研究科独自の質問項目になります。  
差しさわりのある質問項目や回答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です。

質問 12. 農学研究科の教育・研究は、以下に示す項目の習得および能力の向上に有用でしたか。

	大いにそう 思う	そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
研究開発マインドの習得	5	4	3	2	1
高度専門職業人となるための幅広い知識の習得	5	4	3	2	1
自ら立案する課題設定能力	5	4	3	2	1
課題を解決するために必要な情報の収集能力	5	4	3	2	1
課題を解決するための手法の探索と遂行能力	5	4	3	2	1
得られた結果に基づいた解析能力	5	4	3	2	1
課題の全容を論理的に取りまとめる能力	5	4	3	2	1
日本語によるコミュニケーション能力	5	4	3	2	1
英語によるコミュニケーション能力	5	4	3	2	1
日本語によるプレゼンテーション能力	5	4	3	2	1
英語によるプレゼンテーション能力	5	4	3	2	1
グローバルマインドの習得	5	4	3	2	1

(平成 29 年度以前入学者)

質問 13-1. 農学研究科の専門教育について、どの程度充実していましたか?

	充実していた	ある程度 充実していた	やや充実して いなかった	充実して いなかった
基礎科目 (科学研究キャリアリテラシー, 国際研究コミュニケーション)	4	3	2	1
展開科目 (先進科学特論, 修士インターンシップ, 国際研究発表技法)	4	3	2	1
専門科目 (専攻セミナーI~IV)	4	3	2	1
専門科目 (専攻科目)	4	3	2	1
専門科目 (専攻以外の科目)	4	3	2	1
研究科目 (修士研究 I~IV, 修士論文)	4	3	2	1

(平成 30 年度以降入学者)

質問 13-2. 農学研究科の専門教育について、どの程度充実していましたか?

	充実していた	ある程度 充実していた	やや充実して いなかった	充実して いなかった
基礎科目 (科学研究リテラシー, ベーシック国際研究コミュニケーション, 応用生物科学クロストークセミナー)	4	3	2	1
希少糖共通科目 (希少糖イノベーション, 希少糖植物化学特論, 希少糖応用生命科学特論, 希少糖食品科学特論)	4	3	2	1
展開科目 (応用生命科学先進科学セミナー, 国際研究実践コミュニケーション, 修士・修士国際インターンシップ, アドバンスド国際研究コミュニケーション)	4	3	2	1
専門科目 (○○特論など)	4	3	2	1
専門科目 (専攻セミナーI~III)	4	3	2	1
研究科目 (修士研究 I~IV, 論文修士)	4	3	2	1
研究科目 (国際研究 A・B) *研究留学	4	3	2	1
研究科目 (実践研究) *社会人学生	4	3	2	1



## 香川大学大学院修了生アンケート

はじめにお読みください。

香川大学は、世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念としています。香川大学大学院では、この教育理念に基づき、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と高度な専門知識に支えられた研究能力・応用力を備え、国際的な視野で地域社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。そのため本学大学院課程においては、以下の4つの構成要素、すなわち、①専門知識・理解、②研究能力・応用力、③倫理観・社会的責任、④グローバルマインドに基づき、各研究科の学生として求められる専門的な能力・態度を身につけた者に学位を授与しています。

地域マネジメント研究科 専門職学位課程 令和 年修了

問1～問11は、全研究科共通の質問項目です。あてはまる番号に○をつけてください。

問1. あなたは社会人学生ですか。

1. はい    2. いいえ    3. わからない

問2. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野における高度な専門知識を理解・修得する上で有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問3. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上に有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問4. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において求められる倫理観や社会的責任を修得するのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問5. 大学院の教育・研究は、国際的視野を広げるのに有用でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問6. 上記の大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムは十分整っていましたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問7. 大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問8. 大学院の教育・研究において、副指導教員の指導は十分でしたか。副指導教員がない場合、この質問には回答しないで下さい。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問9. 大学院において、社会人が学びやすい環境は整っていましたか。

1. 大いにそう思う    2. ややそう思う    3. あまりそう思わない    4. 全くそう思わない

問10. あなたは今年度、授業が行われている期間に、授業時間外に授業と関係のある学習・活動に、1週間で平均どのくらいの時間を費やしましたか。(レポート等の作成や実験等に要した時間、学位論文作成のための研究等に関する学習・活動も含まれます。)

1. 31時間以上    2. 26-30時間    3. 21-25時間    4. 16-20時間  
5. 11-15時間    6. 6-10時間    7. 1-5時間    8. 0時間

問 11. 香川大学、あるいはあなたの所属研究科において良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良くと思う点がございましたら、ご自由にお書きください。

質問 12 以降は、研究科独自の質問項目になります。

差しさわりのある質問項目や回答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です。

令和元年度 香川大学大学院地域マネジメント研究科修了時アンケート

ご記入上の注意

1. 各問の各項目について、指定がない限り、回答する番号を一つだけ選んで数字を○で囲んで下さい。
2. 差しさわりのある質問項目や解答できない質問は、ご回答いただかなくて結構です。

I. 在学当時の状況についてお尋ねします。

質問 12. あなたの在学中の出席状況について記入して下さい。(全ての授業に出席した場合を 100%とします)

出席状況 

--	--	--

 %

質問 13. あなたは授業時間以外の勉強に時間をどの程度、またどのように確保しましたか。

週 ( \_\_\_\_\_ ) 時間  
( \_\_\_\_\_ )

質問 14. あなたが仕事の上で役に立ったと思う科目を挙げて下さい (最大 3 つ)。

( \_\_\_\_\_ ) ( \_\_\_\_\_ ) ( \_\_\_\_\_ )

質問 15. あなたが仕事とは関係ないが、役に立ったと思う科目を挙げて下さい (最大 3 つ)。

( \_\_\_\_\_ ) ( \_\_\_\_\_ ) ( \_\_\_\_\_ )

質問 16. 土曜日の開講について必要だと思いますか。

1. 必要
2. ある程度必要
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 必要でない

質問 17. プロジェクト研究についてどう思いますか。またその理由は何ですか。

1. 満足している
2. ある程度満足している
3. どちらともいえない
4. やや不満である
5. 不満である

(理由: \_\_\_\_\_ )

II. 在学当時の支援関係についてお尋ねします。

質問 18. 社会人学生だった方にお尋ねします。あなたは所属組織から入学・勉学について支援を受けましたか。

1. 受けた (内容: \_\_\_\_\_ )
2. 受けていない

質問 19. 社会人学生だった方にお尋ねします。あなたは奨学金など所属組織以外からの援助を受けましたか。

1. 受けた (内容: \_\_\_\_\_ )
2. 受けていない

質問 20. 学部からの進学生だった方にお尋ねします。あなたは就職についての地域マネジメント研究科の対応に満足していますか。

1. 満足している                      2. ある程度満足している                      3. どちらともいえない  
4. やや不満である                      5. 不満である

質問 21. あなたは自習室の環境についてどの程度満足していますか。

1. 満足している                      2. ある程度満足している                      3. どちらともいえない  
4. やや不満である                      5. 不満である

質問 22. あなたは教室の環境についてどの程度満足していますか。

1. 満足している                      2. ある程度満足している                      3. どちらともいえない  
4. やや不満である                      5. 不満である

**Ⅲ. 修了後の効果についてお尋ねします。**

質問 23. 以下に示すさまざまな能力は、大学院教育を通じてどの程度身につきましたか。また、現在の仕事の中でどの程度必要とされていますか。それぞれお答えください。

	大学院教育で					現在の仕事で				
	身につ ていない	あまり 身につ ていない	どちら とも いえない	ある程度 身に つた	身につ た	必要ない	あまり必 要ない	どちら とも いえない	ある程度 必要	必要
物事に進んで取り組む力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
他人に働きかけ巻き込む力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
目標を設定し確実に行動する力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
現状を分析し目的や課題を明らかにする力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
新しい価値を生み出す力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
自分の意見をわかりやすく伝える力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
相手の意見を丁寧に聴く力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
意見の違いや立場の違いを理解する力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
社会のルールや人との約束を守る力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ストレスの発生源に対応する力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
幅広い知識や教養	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
専門分野に関する知識や技能	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
論理的に考え、物事を進める力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
文書等を作成する力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ディスカッションする力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
プレゼンテーションする力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
リーダーシップ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

質問 24. 総合的にみて、あなたは地域マネジメント研究科で学んだことに満足していますか。

1. 満足している            2. ある程度満足している            3. どちらともいえない  
4. やや不満である        5. 不満である

質問 25. あなたは地域マネジメント研究科に愛着がありますか。

1. 非常にある            2. ある程度ある            3. どちらともいえない  
4. あまりない            5. 全くない

質問 26. 地域マネジメント研究科のカリキュラム等について自由に意見を記入して下さい。

**IV. 現在の状況についてお尋ねします。**

質問 27. 能力向上のため、何か自己研修を行っていますか。

1. 行っている (内容: \_\_\_\_\_) )  
2. 予定している (内容: \_\_\_\_\_) )  
3. ない

質問 28. 個人あるいはグループで地域のために何か活動を行っていますか。

1. ある (内容: \_\_\_\_\_) )  
2. 予定している (内容: \_\_\_\_\_) )  
3. ない

質問 29. 今後、地域マネジメント研究科で開催する講演会・シンポジウムなどに参加しようと思いませんか。

1. 思う            2. 思わない

質問 30. 今後、地域マネジメント研究科で開催する講演会・シンポジウムはどのような形がよいと思いませんか。

1. 一般公開            2. 在学生・修了生のみ対象            3. その他 ( \_\_\_\_\_ )

質問 31. 地域マネジメント研究科に、後期 (10月) 入学が必要であると思いませんか。

1. 非常に必要            2. ある程度必要            3. どちらともいえない  
4. あまり必要でない        5. 全く必要ない

(理由 \_\_\_\_\_ )

**V. 香川大学、あるいは地域マネジメント研究科がもっと重視したり改善したりした方が良くと思う教育内容や取り組み、要望などがございましたら、ご自由にお書きください。**

VI. あなた自身についてお尋ねします。

質問 32. 地域マネジメント研究科入学年及び入学時の年齢について

西暦 ( ) 年入学 ( ) 才

質問 33. 地域マネジメント研究科入学時の自宅所在地及び勤務地（都道府県名・市町村名）について

自宅所在地：( ) 都・道・府・県 ( ) 市・町・村

勤務地 : ( ) 都・道・府・県 ( ) 市・町・村

質問 34. 地域マネジメント研究科入学時の就業状況について

1. 正規雇用で働いていた →問 3 1 へお進みください。
2. 非正規雇用で働いていた（派遣社員、アルバイト等を含む） →問 3 1 へお進みください。
3. 働いていない →問 3 3 へお進みください。

質問 35. 地域マネジメント研究科入学時の職種について

1. 農林 2. 水産関係 3. 建設 4. 機械関係 5. 食品 6. 化学関係 7. 情報・通信関係
8. 商社 9. 金融関係 10. 販売 11. サービス関係 12. マスコミ・出版関係
13. 保健・衛生・医療関係 14. 公務員（国・地方自治体） 15. 教育関係
16. その他 ( )

質問 36. 地域マネジメント研究科入学時の役職について

( )

質問 37. 現在の就業状況について

1. 正規雇用で働いている →問 3 4 へお進みください。
2. 非正規雇用で働いている（派遣社員、アルバイト等を含む） →問 3 4 へお進みください。
3. 働いていない

質問 38. 現在の職種について

1. 農林 2. 水産関係 3. 建設 4. 機械関係 5. 食品 6. 化学関係 7. 情報・通信関係
8. 商社 9. 金融関係 10. 販売 11. サービス関係 12. マスコミ・出版関係
13. 保健・衛生・医療関係 14. 公務員（国・地方自治体） 15. 教育関係
16. その他 ( )

質問 39. 現在の役職について

( )

以上です。ご協力大変ありがとうございました。

## 第2章 調査結果について

### 1. 全学的な視点からの分析

#### (1) 分析結果

第一に、修了生が身につける必要のある専門的な能力・態度に対する修了生自身の評価である。「高度な専門知識の理解・修得」(質問2)、「研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上」(質問3)、「倫理観や社会的責任の修得」(質問4)、そして「国際的視野を広げる」(質問5)、に関して大学院の教育・研究は有用だったかという質問に対し、質問2と3については約95%が、質問4については約90%が、そして質問5については約70%が、そう思うと回答した。

第二に、大学院の教育・研究に関する制度や環境に対する修了生の評価である。まず、「大学院の人材育成の目標に照らして、大学院のカリキュラムが十分整っていたか」(質問6)については、大いにそう思うが27.3%、ややそう思うが51.1%、あまりそう思わないが18.2%であった。つぎに、主指導教員(質問7)と副指導教員(質問8)の指導は十分だったかについては、そう思うが両者ともに約90%であった。なお、副指導教員がいない学生もいるため、質問8の割合は副指導教員がいる学生のみで算出した場合の割合である。

第三に、授業外学修(質問10)については、1週間で平均31時間以上行っている学生が25.1%と最も多く、26-30時間が16.6%、21-25時間が13.7%と続く。

#### (2) 優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

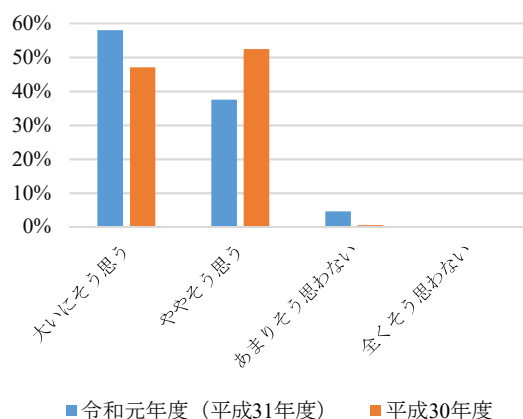
まず、「高度な専門知識の理解・修得」、「研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上」、「倫理観や社会的責任の修得」に対して、大学院の教育・研究は有用であるといえる。次に、主指導教員と副指導教員による学生の指導について、十分な評価が得られている。これらの内容はすべて、平成30年度と同様に令和元年度も優れていたといえる。

##### 【改善を要する点】

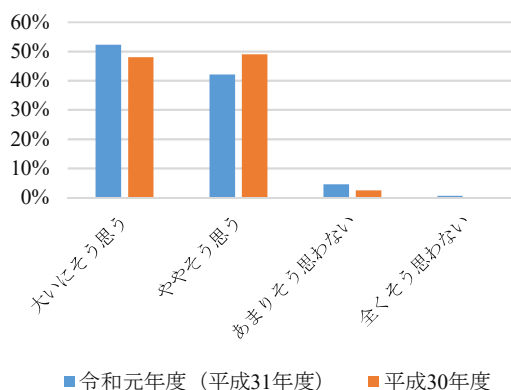
優れた点として、副指導教員による学生の指導を挙げたが、平成30年度と令和元年度ともに、約40%の学生には副指導教員がいなかった。上記のように副指導教員による学生の指導は十分に評価されており、さらに第三期中期計画では「学生への個別指導を強化して教育研究の質を向上させるため、他分野や他研究科の教員を含む複数の教員の指導を受けられる主・副指導教員体制を強化する」とある。したがって、主・副指導教員体制を実施している場合はそれを強化し、主・副指導教員体制をとっていない場合はそれを実施することで、大学院教育の更なる改善が期待できるのではないだろうか。

## 【参考資料】

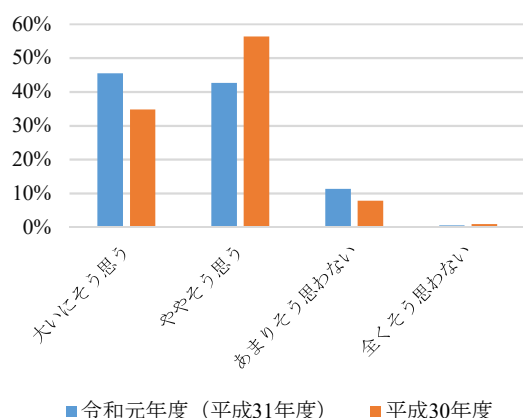
質問2. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野における高度な専門知識を理解・修得する上で有用でしたか。



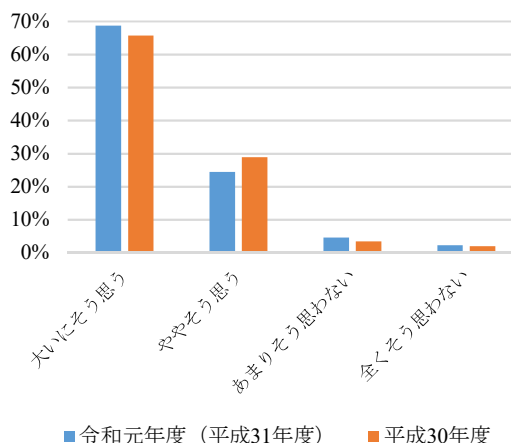
質問3. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上に有用でしたか。



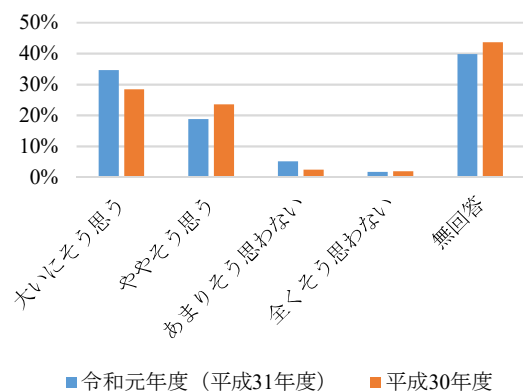
質問4. 大学院の教育・研究は、あなたが学んだ分野において求められる倫理観や社会的責任を修得するのに有用でしたか。



質問7. 大学院の教育・研究において、主指導教員の指導は十分でしたか。



質問8. 大学院の教育・研究において、副指導教員の指導は十分でしたか。副指導教員がない場合、この質問には回答しないで下さい。





## 教育学研究科

\*\*\*\*\*

調査実施期間 令和2年3月24日

\*\*\*\*\*

### 2. 研究科に関する分析

#### (1) 分析結果

教育学研究科は、令和2年度に教科領域を含む拡充した教職大学院へと移行し、それに伴い修士課程の募集を停止した。令和元年度修了生に対する研究科独自のアンケートは、高度教職実践専攻（教職大学院）の修了生15名に対して実施した。回答者数は15名であった。

質問項目は、3つのカテゴリーに分けることができる。教職大学院におけるカリキュラムや学修内容について「専門的な知識や技能を修得できたか」どうかを尋ねた質問①～⑥、コース科目の履修や実習等を通して、実践する力や課題解決に関わる力を高めることができたかどうかを尋ねた質問⑦～⑭、そして教職大学院の学びの総合的な満足度を尋ねた質問⑮である。これらの質問について、5段階評価による平均値（「思わない」を1点、「あまり思わない」を2点、「どちらでもない」を3点、「そう思う」を4点、「とてもそう思う」を5点とする加重平均）を算出したところ、どの質問項目についても、平均値は4.0以上であった。とくに総合的な満足度の平均値は4.53（とても満足している 8名、ある程度満足している 7名）という高い数値であった。平成30年度修了生の総合的な満足度の平均値 4.38と比べてもスコアが上がっている。

#### (2) 優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

「専門的な知識や技能」の修得に関して、とくに加重平均値が高いのは「通常の学級での特別支援力」（平均値 4.40）と「生徒指導・教育相談、道徳教育」（平均値 4.33）の2つの領域である。この2領域のカリキュラムと教員スタッフが充実していることが、本研究科の強みである。2つめのカテゴリーの質問項目に関して、加重平均値が4.30を超えているのは、「新たな知見や教授技術を学校現場での実践に適用し検証する力を高めることができた」（平均値 4.47）と「現代的な教育の諸課題について、自ら追求・実践する能力を高めることができた」（平均値 4.33）の2項目である。教職大学院で「理論と実践の往還」ができていたことが分かる。すべての質問項目を通して、最も高い加重平均値が出ていたのは、「総合的な満足度」を問うた質問に対してであった。

##### 【改善を要する点】

すべての質問項目を通して、平均値が最も低かったのは、2つめのカテゴリーの「学校等での実習を通して、学校現場での課題を解決する力を高めることができた」（平均値 4.00）の項目であった。探究実習において自分の役割に戸惑いを感じた現職教員がいたように思われる。

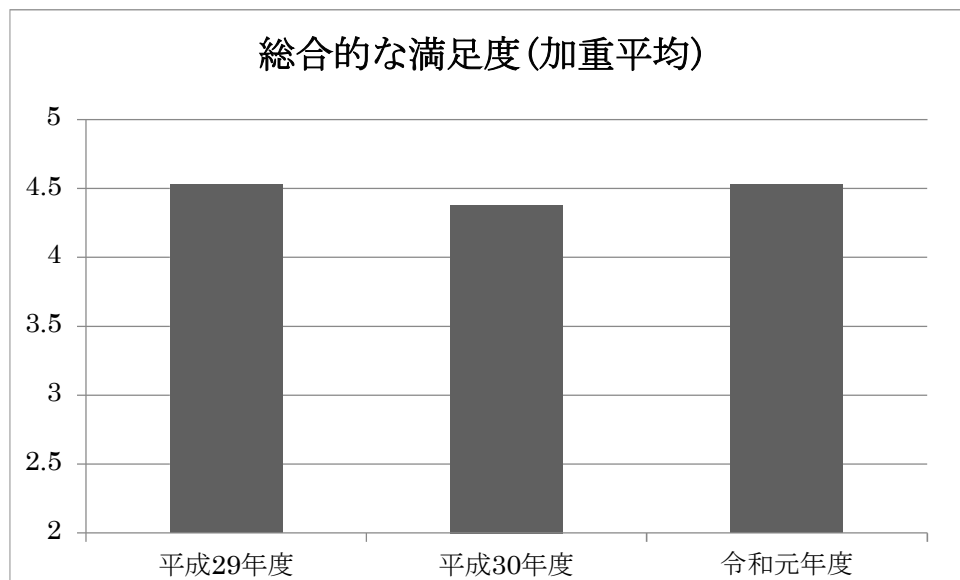
## 【参考資料】

教職大学院生の修了時の学修に関する評価結果

	平成29年度 修了	平成30年度 修了	令和元年度 修了
① カリキュラムの編成・開発について、専門的な知識や技能を修得することができた。	4.07	3.86	4.13
② 教材研究、学習支援の方法について、専門的な知識や技能を修得することができた。	4.36	4.21	4.27
③ 生徒指導・教育相談、道徳教育について、専門的な知識や技能を修得することができた。	4.79	4.36	4.33
④ 学級経営・学校経営について、専門的な知識や技能を修得することができた。	4.36	4.00	4.27
⑤ 学校づくり・校内支援体制、学校の役割について、専門的な知識や技能を修得することができた。	4.43	4.07	4.20
⑥ 通常の学級での特別支援教育について、専門的な知識や技能を修得することができた。	4.43	4.07	4.40
⑦ コース科目の履修を通して、学校現場での課題を解決する力を高めることができた。	4.29	4.07	4.20
⑧ コース科目の履修を通して、学校での授業・指導を実践する力を高めることができた。	4.29	4.36	4.27
⑨ 学校等での実習を通して、学校現場での課題を解決する力を高めることができた。	4.21	3.93	4.00
⑩ 学校等での実習を通して、学校での授業・指導を実践する力を高めることができた。	4.36	4.07	4.07
⑪ 学校現場の状況や児童生徒の現状などを的確に分析・把握する力を高めることができた。	4.43	4.08	4.20
⑫ 新たな知見や教授技術を学校現場での実践に適用し検証する力を高めることができた。	4.29	4.31	4.47
⑬ 学校現場での課題を他者との協働のもとに実践し解決する力を高めることができた。	4.57	3.85	4.27
⑭ 現代的な教育の諸課題について、自ら追及・実践する能力を高めることができた。	4.57	4.31	4.33
⑮ 上記のすべての項目を総合的に判断して、ご自分の教職大学院での学びにどの程度満足されていますか？	4.57	4.38	4.53

※ 5段階評価による平均値。「思わない」を1点、「あまり思わない」を2点、「どちらでもない」を3点、「そう思う」を4点、「とてもそう思う」を5点とし、平均値を算出したものである。

⑮「上記のすべての項目を総合的に判断して、ご自分の教職大学院での学びにどの程度満足されていますか」



5段階評価による平均値。「思わない」を1点、「あまり思わない」を2点、「どちらでもない」を3点、「そう思う」を4点、「とてもそう思う」を5点とし、平均値を算出した。

## 法学研究科

\*\*\*\*\*

調査実施期間 令和2年3月24日

\*\*\*\*\*

### 2. 研究科に関する分析

#### (1) 分析結果

アンケートの調査対象者は、令和元年度（平成31年度）修了生7人であり、全ての修了生が回答した。

まず、法学研究科への進学に関する調査の結果である。「法学研究科への進学理由」（質問13）について、調査対象者の71.4%が職業や資格に必要な知識・能力の習得と回答した。「出身大学、出身学部」（質問14）について、本学出身者と本学以外の出身者の割合は後者がやや高く、出身学部についても法学部以外の学部の占める割合が高い傾向がみられた。

次に、法学研究科の教育・研究に関する制度や環境に対する修了生の評価である。「授業の数や種類は十分であったか」（質問15）、「授業の内容は満足できるものであったか」（質問16）、「少人数教育は、研究や学習を行う上で有益であったか」（質問19-1）、「社会人学生と一般学生が混在する環境は、研究や学習を行う上で有益であったか」（質問20-1）について、いずれも約90%の回答が肯定的なものであり、あまりそう思わないやそう思わないといった否定的な回答はなかった。また、教育・研究の有用性を尋ねる質問として、法学研究科での教育・研究が「その後の職業生活において求められる知識や能力を得る上で有益であったか」（質問27-1）、「その後の社会生活において有益であったか」（質問28-1）についても、両方でそう思うが約90%であった。長期履修制度を利用した修了生は1人だけであるが、同制度を利用してよかったか（質問24-1）についてはややそう思うと回答した。

最後に、設備や施設に対する評価である。「教室や教育のための設備は満足できるものか」（質問21）、「学内の施設で研究や学習に必要な文献・資料等の収集は十分できたか」（質問22）について、そう思うは前者で57.2% 後者では71.5%であった。

#### (2) 優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

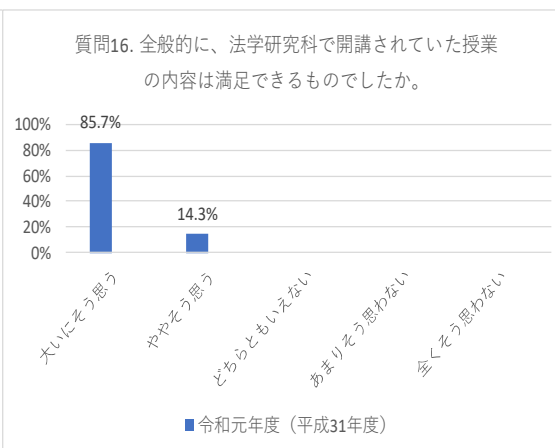
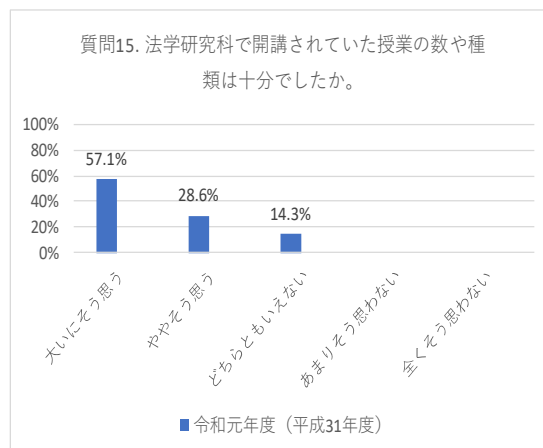
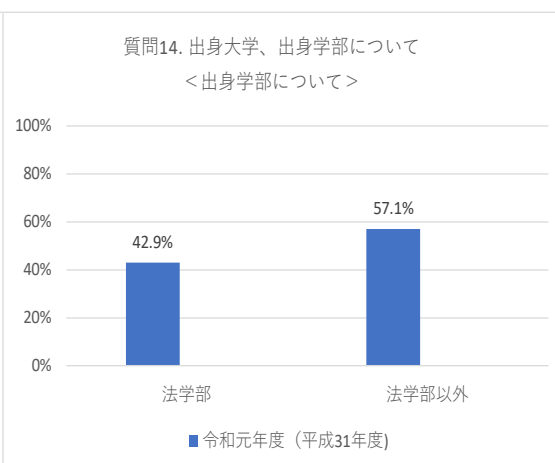
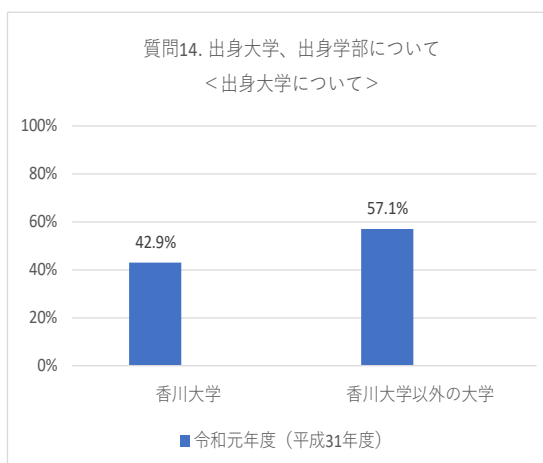
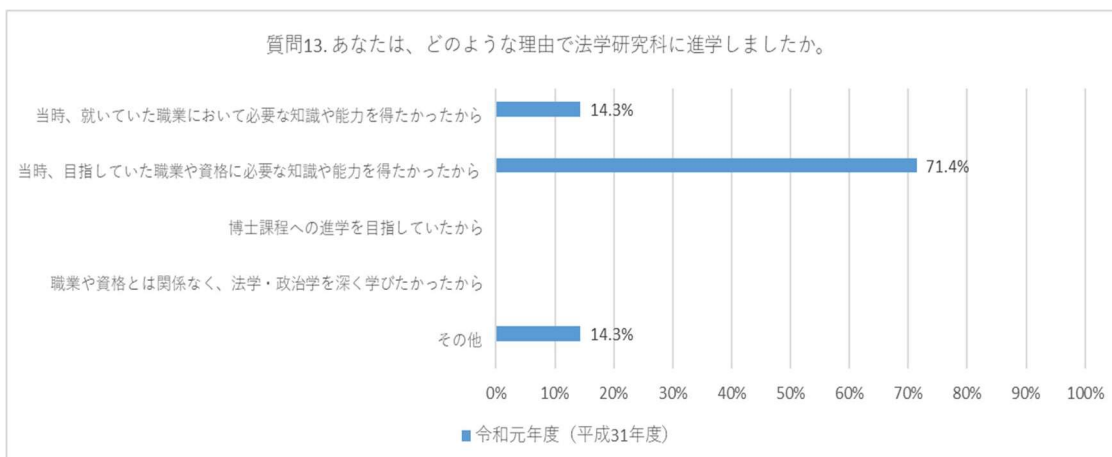
上記の分析結果（質問15・16・19-1・20-1・27-1・28-1）より、法学研究科における教育・研究の制度や環境に対する修了生の満足度は高く、十分な評価が得られているといえる。

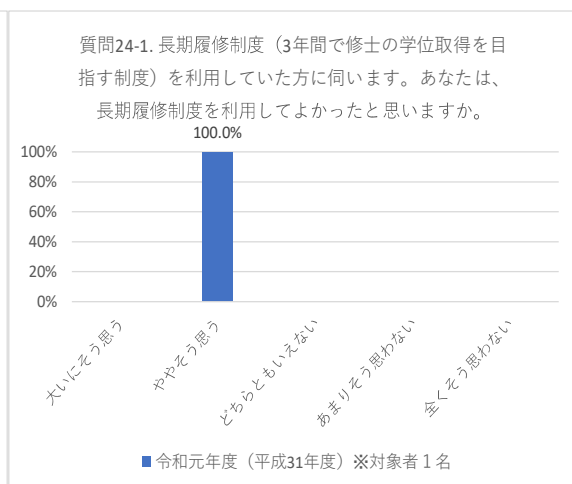
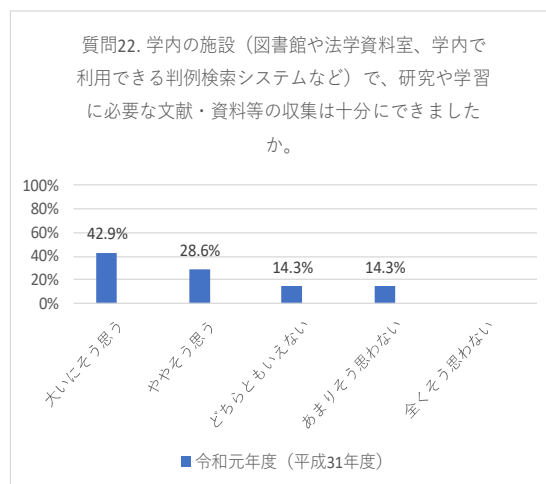
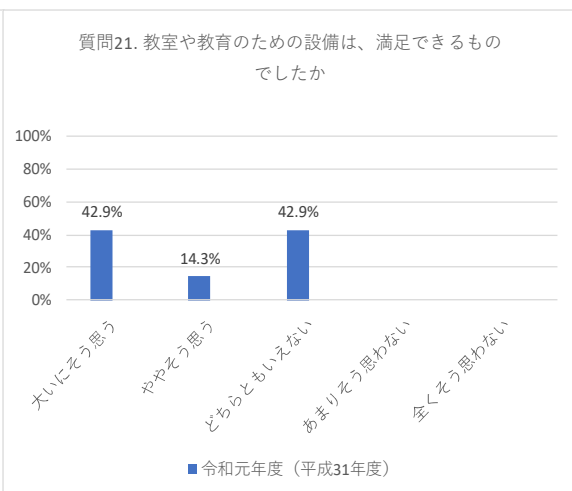
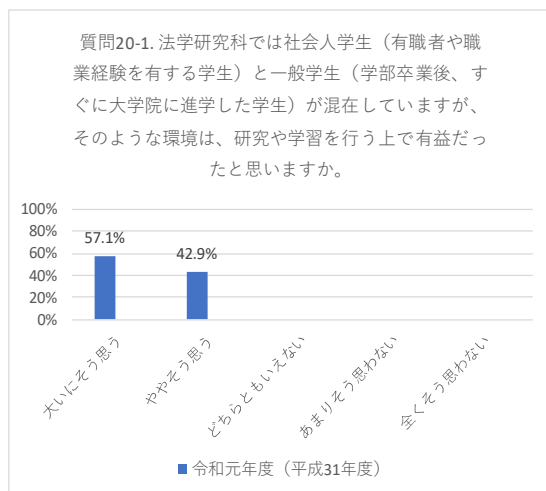
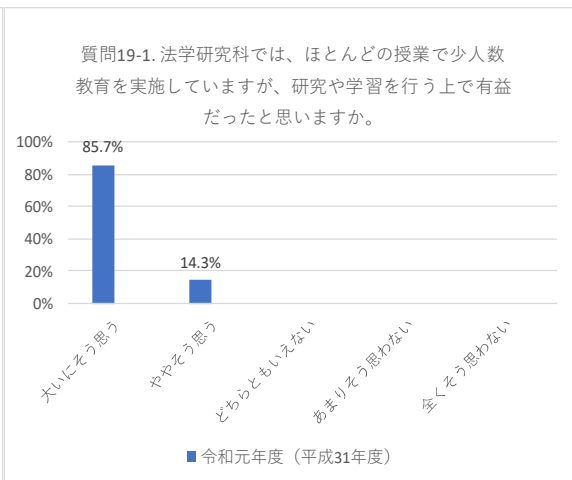
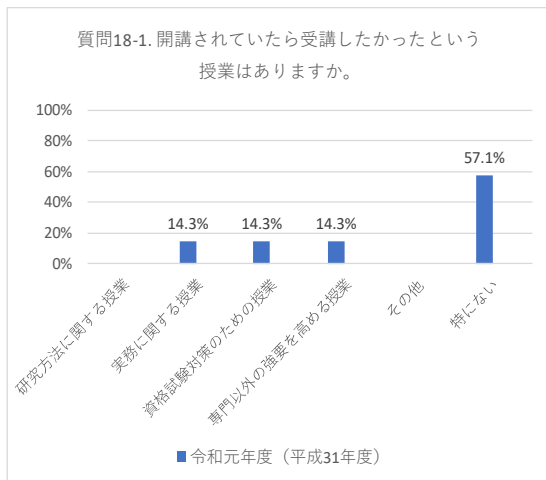
##### 【改善を要する点】

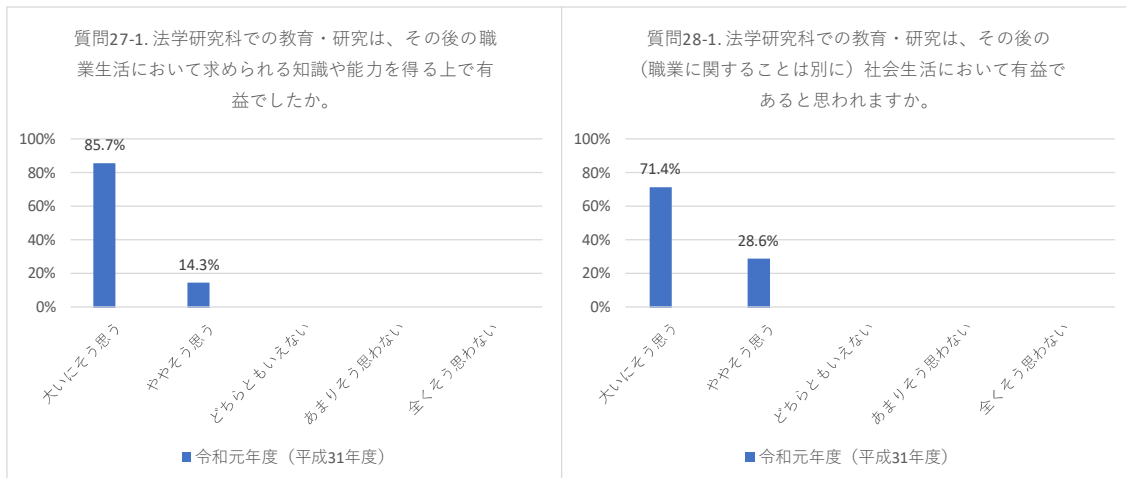
一方で、研究や教育のための設備や施設に対する評価はやや低いものとなった。第三期中期計画では、社会人学生数を第二期中期目標と比較して5%程度増加させるために、「大学院において、柔軟な期間の教育プログラムやICTを活用した授業等、地域で働く社会人が学びやすい環境を整備する。また、地域で働く社会人等に対するニーズ調査を定期的に行い、その結果を踏まえた教育課程の改善を行う」とある。多くの社会人学生が学ぶ法学研究科においてこれを達成するためには、教育・研究の内容や質の継続的な改善はもとより、設備等の

面でも十分な教育・研究の機会を提供できる環境の整備が必要であると考えられる。

【参考資料】







## 経済学研究科

\*\*\*\*\*

調査実施期間 令和2年3月24日

\*\*\*\*\*

### 2. 研究科に関する分析

#### (1) 分析結果

主指導教員の指導に対する満足度（研究科独自質問項目の質問 13）については、全ての学生が満足していると回答している。教育分野ごとの授業内容に関する評価（研究科独自質問項目の質問 12）については、ほぼ全ての学生がその水準（SQ1）、総合的な満足度（SQ4）について肯定的な回答をしているが、自身の積極的な参加（SQ2）と研究や実践的活動の手がかりを得られたか（SQ3）という問いにおいては少数ではあるが、「ややそう思う」の意見がみられる。

#### (2) 優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

修了生が身につける必要のある専門的な能力・態度に関する評価では、全ての項目について大学院の教育・研究は有用だといえる。このことから、大学院課程のディプロマ・ポリシーについては修了生から十分な評価が得られているといえる。つぎに、主指導教員と副指導教員による学生の指導についても、十分な評価が得られているといえる。そして、授業外学修には、比較的多くの時間を使うことができている。

##### 【改善を要する点】

まず、カリキュラムについては他の質問項目に比べると相対的に評価が低いので、改善の余地がある。また、授業内容が研究や実践的活動につながっているかという点に関しても、十分な評価を得られているとはいえない。



【参考資料】

質問 12：今年度、あなたはどの教育分野の授業科目を受講されましたか。受講した授業科目に該当する教育分野をすべて【】内に記号でご記入下さい。

A. 理論経済学	B. 経済史	C. 経済政策	D. 財政学	E. 社会政策	F. 金融論	G. 統計学
1	1		1			1
H. 経営学	I. 商学	J. 会計学	K. 社会文化論	L. 言語科学	M. その他(外国書購読)	
2	2	2				

	大いにそう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない
SQ1： 上の質問 12 で回答した各教育分野の授業の内容および水準は適切なものであったと思われませんか	10	0	0	0	0
SQ2： 上の質問 12 で回答した各教育分野の授業に、あなたご自身は積極的に参加したと思われませんか。	6	4	0	0	0
SQ3： 上の質問 12 で回答した各教育分野の授業を受けてみて、研究や実践的活動の手がかりを得ることができたと思われませんか。	7	3	0	0	0
SQ4： 上の質問 12 で回答した各教育分野の授業は、総合的に満足できるものでしたか。	10	0	0	0	0
	非常に満足している	やや満足している	どちらとも言えない	あまり満足していない	全く満足していない
質問 13： 演習指導教員の指導について、あなたはどのくらい満足されていますか。あなたのお気持ちに最も近い番号に○を一つお付け下さい。	3	0	0	0	0
	履修している		履修していない		
SQ1： 副演習を履修していますか。	1		2		

## 医学系研究科

\*\*\*\*\*

調査実施期間 令和元年6月30日 ～ 令和2年3月31日

\*\*\*\*\*

### 2. 研究科に関する分析

#### (1) 分析結果

研究科独自の質問項目を見ていく。

#### 修士課程（看護学専攻）

修士課程（看護学専攻）の5名から回答があった。「大学院入学の目的は達成できたか」（質問12）100%がそう思う（＝大いにそう思うとややそう思うの合計）と回答、「教育・研究において、就労への配慮は十分であったか」（質問13）80%がそう思うと回答、「大学院への進学について、積極的に勧めたいか」（質問14）60%がそう思うと回答、「大学院で身につけた考え方、知識が、今後の研究活動、実践に有用か」（質問16）80%がそう思うと回答した。

#### 博士課程

博士課程の23名から回答があった。「大学院入学の目的は達成できたか」（質問12）100%がそう思う（＝大いにそう思うとややそう思うの合計）と回答、「教育・研究において、就労への配慮は十分であったか」（質問13）81%がそう思うと回答、「大学院への進学について、積極的に勧めたいか」（質問14）70%がそう思うと回答、「大学院研究で身につけた考え方、知識、手技が今後の診療に有用か」（質問15）100%がそう思うと回答した。

#### (2) 優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

まず、「大学院入学の目的は達成できたか」、「教育・研究において、就労への配慮は十分であったか」、「大学院研究で身につけた考え方、知識、手技が今後の診療に有用か」、といったことに対して、大学院の教育・研究は有用だといえる。このことから、大学院医学系研究科のディプロマ・ポリシー、カリキュラムポリシーについては修了生から十分な評価が得られているといえる。また、博士課程において、「大学院への進学について、積極的に勧めたいか」についても、十分な評価が得られている。

##### 【改善を要する点】

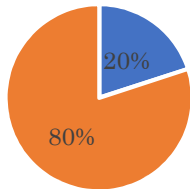
修士課程（看護学専攻）の「大学院への進学について、積極的に勧めたいか」という点については、十分な評価が得られなかったため、改善が必要である。

令和2年度から看護学専攻に新たに助産学コースを設置した。また、令和4年度の看護学専攻博士課程設置に向けて準備を進めているところである。

【参考資料】

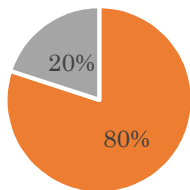
修士課程（看護学専攻）

問12全体として、大学院入学の目的は達成できましたか。



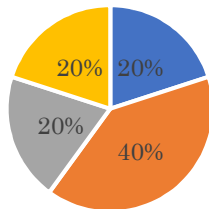
- 大いにそう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

問13大学院での教育・研究において、就労への配慮は十分でしたか。



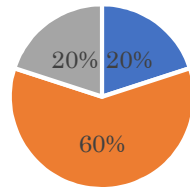
- 大いにそう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

問14大学院への進学について意見を求められた時、積極的に勧めたいですか。



- 大いにそう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

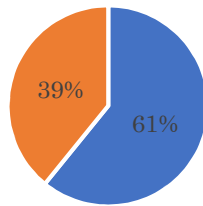
問16大学院（修士課程）で身につけた考え方、知識が、今後の研究活動、実践に有用ですか。



- 大いに思う
- やや思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

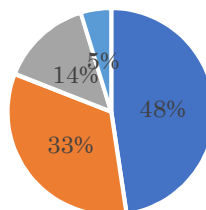
博士課程

問12全体として、大学院入学の目的は達成できましたか。



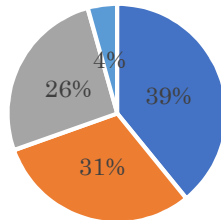
- 大いに思う
- やや思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

問13大学院での教育・研究において、就労への配慮は十分でしたか。



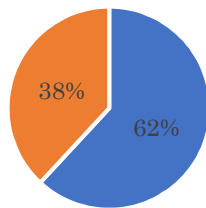
- 大いに思う
- やや思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

問14大学院への進学について意見を求められた時、積極的に勧めたいですか。



- 大いにそう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

問15大学院研究で身につけた考え方、知識、手技が今後の診療で有用ですか。



- 大いにそう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

## 工学研究科

\*\*\*\*\*

調査実施期間 令和2年2月5日 ～ 令和2年2月7日

\*\*\*\*\*

### 2. 研究科に関する分析

#### (1) 分析結果

2019年度末修了予定の工学研究科の学生（回答者：100名）を対象に、[Ⅰ. 研究について]（質問13から質問17）、[Ⅱ. 教育について]（質問18から質問23）、[Ⅲ. 授業における「成績評価」や「シラバスの利用」など]（質問24から質問26）、[Ⅳ. 進路について]（質問27から質問31）、[Ⅳ. 進路について]（質問32から質問35）について調査した。特に、ここでは、[Ⅰ. 研究について]と[Ⅱ. 教育について]の分析を概説する。

[Ⅰ. 研究について] 研究活動に充実感を感じている（質問13）、指導教員のサポートや研究設備が充実している（質問14、15）、TAは意義がある（質問16）、大学院での学習・生活習慣で日常的にインターネットを利用（質問17）などの特徴があった。

[Ⅱ. 教育について] 専門分野に関する知識・理解、問題解決・課題探求能力は大学院の学習、研究活動で修得できているが、社会問題への理解への展開がややできていない（質問18）、大学院での学習が将来の職業生活に役立つ（質問19）、将来の自身の進路を検討して講義を選択（質問20）、自学自習時間は短く、研究時間は長い（質問21、22）などの特徴があった。

#### (2) 優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

指導教員のサポート（質問14）について、「やや充実していた」を含め92%の学生が指導教員のサポートに充実感を感じており、指導教員の学生への研究指導がうまく行われていると判断できる。また、同様に成績評価（質問26）も高い信頼性で受け入れられていることが確認できた。大学院での学習の意味づけ（質問19）について、大学院での学習が将来の職業生活に役立つと考えている学生が86.8%、また、条件のよい職業に就くことができると考えている学生が88.9%であり、大学院での学習が高く評価されている。

##### 【改善を要する点】

研究設備（質問15）について、全体的に評価は高いが、昨年度では報告のなかった「まったく充実していなかった」が5%（最も高い安全システム建設工学専攻が18.2%）あり、どのような点で充実していなかったのか調査が必要と考える。大学院での能力の修得（質問18）について、「英語の力（DP：言語運用能力）」は前年度50.0%よりやや下がった45.4%であった。英語能力不足は昨年度も指摘された事項であり、この傾向を抑止し、さらに向上させるための教育指導に注力しなければならない。

【参考資料】

アンケート項目「質問 14. あなたが研究を進めるにあたり、指導教員のサポートは充分でしたか。」について

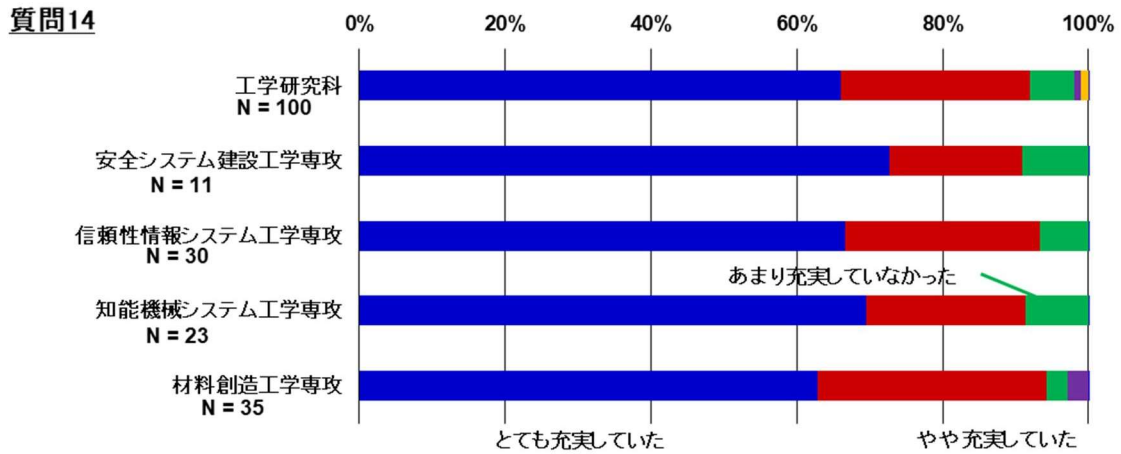


図1 アンケート項目「質問14」への回答の分布

アンケート項目「質問 15. あなたが研究を進めるにあたり、研究設備は充分でしたか。」について

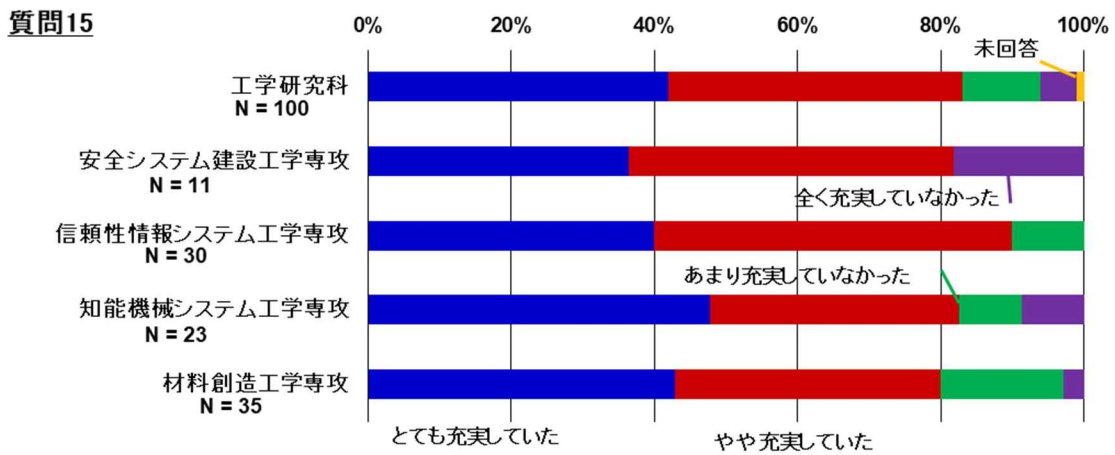


図2 アンケート項目「質問15」への回答の分布

アンケート項目「質問 18. あなたは、2年間大学院で学んで、以下に示す能力が身についたと思いますか。」について

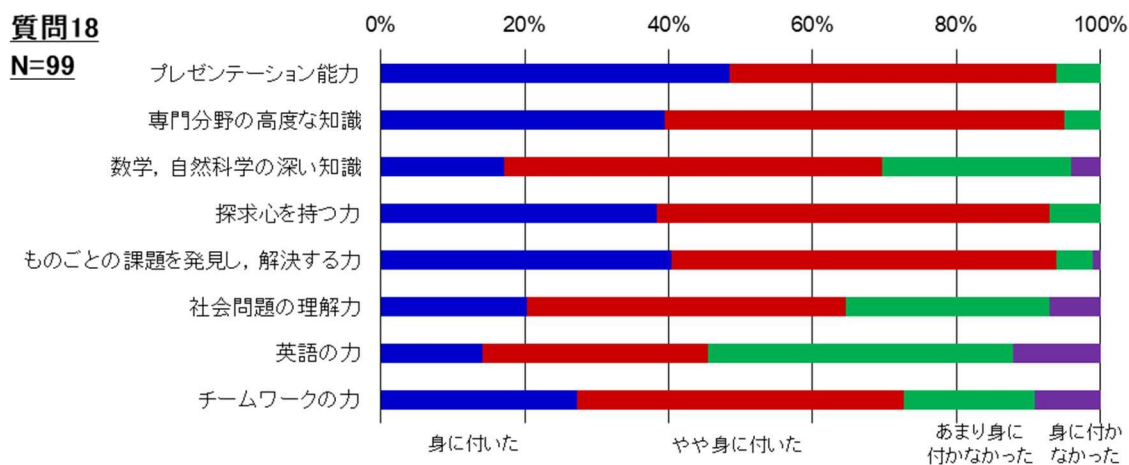


図 3 アンケート項目「質問 18」への回答の分布

アンケート項目「質問 19. あなたは、大学院での学習についてどのように考えてきましたか。」について

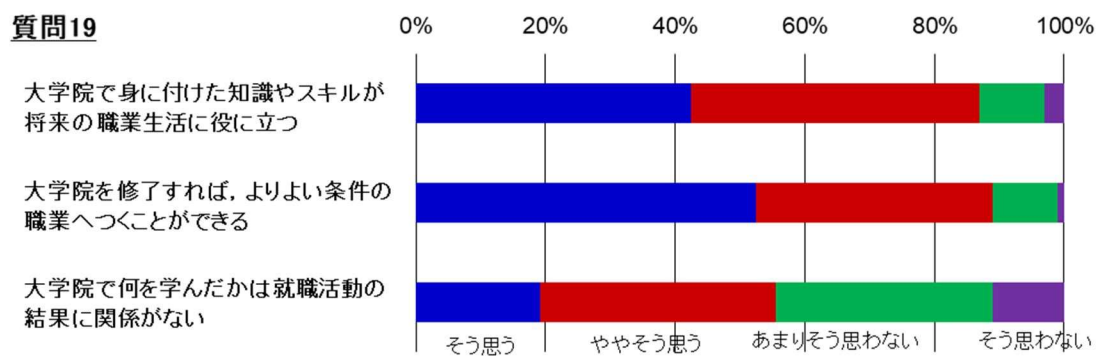


図 4 アンケート項目「質問 19」への回答の分布



アンケート項目「質問 26. 教員の単位認定（成績評価）の仕方は、信頼できましたか。」について

**質問26**

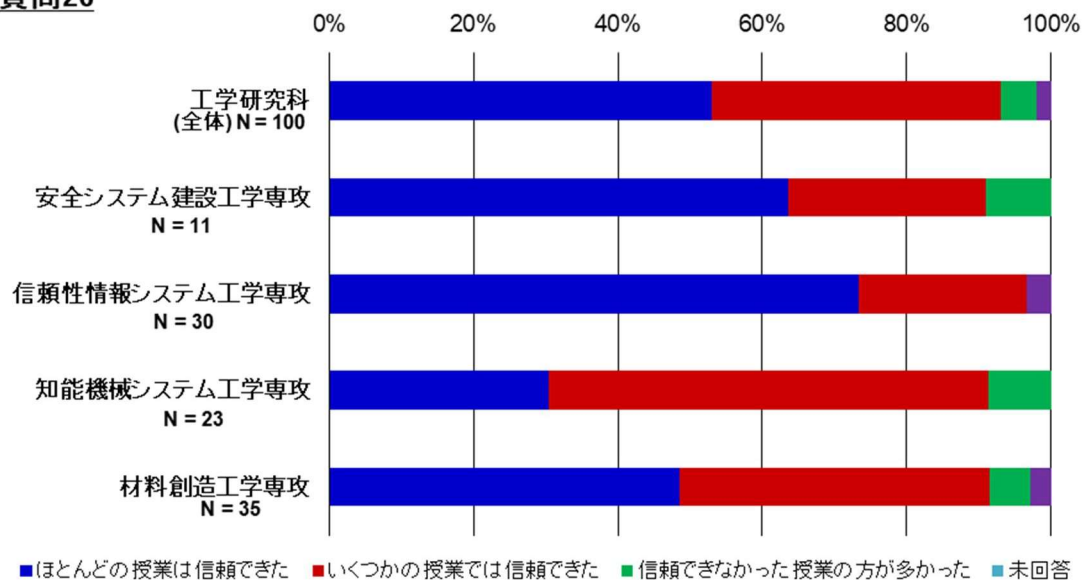


図 5 アンケート項目「質問 26」への回答の分布

## 農学研究科

\*\*\*\*\*

調査実施期間 令和2年1月6日 ～ 令和2年3月27日

\*\*\*\*\*

### 2. 研究科に関する分析

(調査対象者は、令和2年3月修了の51名、うち回答者数15名)

#### (1) 分析結果

全研究科共通の質問事項に対して、「高度な専門知識の理解・修得」(質問2)、「研究を計画・遂行する能力及び学んだ専門知識を応用して課題を解決する能力の向上」(質問3)は、昨年度と同様90%以上がそう思う(「大いにそう思う」+「そう思う」の合計)と回答し、「倫理観や社会的責任の修得」(質問4)も90%以上がそう思うと回答した(昨年度約80%)(図には示していない)。

農学研究科独自項目では、図1の1～12の項目についてその修得および能力の向上に研究科の教育・研究は有用だったかという質問に対し、「1:研究開発マインドの習得」、「5:課題を解決するための手法の探索と遂行能力」、「7:課題の全容を論理的に取りまとめる能力」は90%以上がそう思うと回答し、「2:高度専門職業人となるための幅広い知識の習得」、「3:自ら立案する課題設定能力」、「4:課題を解決するために必要な情報の収集能力」、「6:得られた結果に基づいた解析能力」、「8:日本語によるコミュニケーション能力」、「10:日本語によるプレゼンテーション能力」は80%以上がそう思うと回答した。また、平成29年度以前入学者は、図2の1～6の科目についてどの程度充実していたかという質問に対し、すべてにおいて80%以上が充実していた(「充実していた」+「ある程度充実していた」の合計)と回答した。改組後の平成30年度以降入学者は、図3の1～6の科目についてどの程度充実していたかという質問に対し、ほとんどの科目で充実度が高いと回答した。

#### (2) 優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

農学研究科独自項目では「研究を計画および遂行する能力」、「研究成果を発信し議論できる能力」の取得について評価が高い。また、全研究科共通の質問事項2～4について有用と回答しており、農学研究科ディプロマポリシーの「専門知識・理解」、「研究能力・応用力」、「倫理観・社会的責任」については修了生から十分な評価が得られていると言える。科目の評価については、ほとんどの科目で充実度が高く、十分な評価が得られていると言える。

##### 【改善を要する点】

「9:英語によるコミュニケーション能力」、「11:英語によるプレゼンテーション能力」については、両方とも昨年度より評価が高いが、「どちらともいえない」という回答も多い。研究室内セミナーで行われる英語論文の読解や国際会議に対する発表練習における英語の活用が進められたが、これを継続しさらに広く実施することが求められる。

【参考資料】

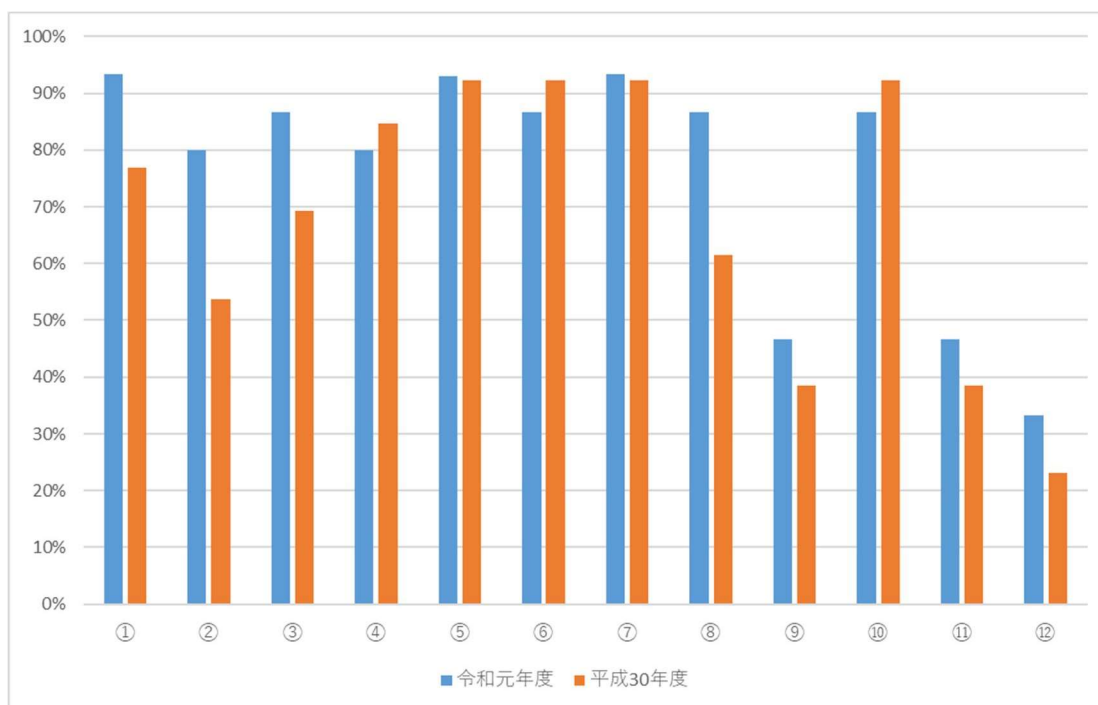


図1 農学研究科の教育・研究は、1～12に示す項目の習得および能力の向上に有用でしたか。

注1) 各番号の対応は以下のとおりである。

1：研究開発マインドの習得、2：高度専門職業人となるための幅広い知識の習得、3：自ら立案する課題設定能力、4：課題を解決するために必要な情報の収集能力、5：課題を解決するための手法の探索と遂行能力、6：得られた結果に基づいた解析能力、7：課題の全容を論理的に取りまとめる能力、8：日本語によるコミュニケーション能力、9：英語によるコミュニケーション能力、10：日本語によるプレゼンテーション能力、11：英語によるプレゼンテーション能力、12：グローバルマインドの習得。

注2) グラフは「大いにそう思う」＋「そう思う」の合計値を示している。

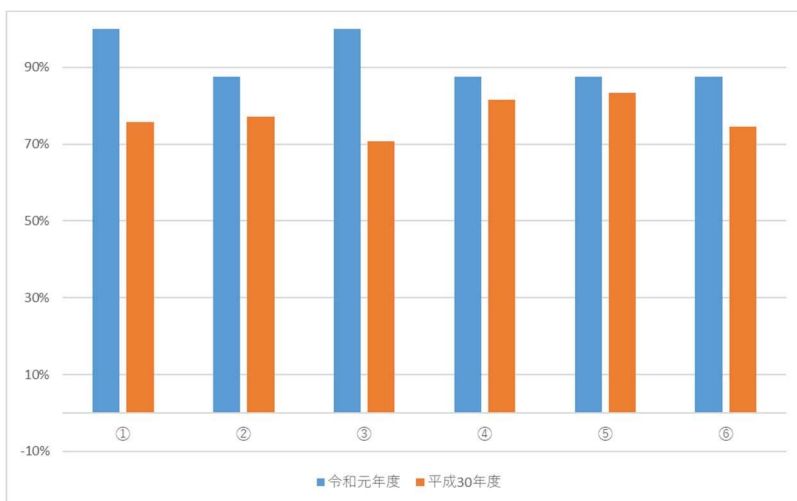


図2 農学研究科の専門教育について、どの程度充実していましたか？  
(平成29年度以前入学者)

注1) 各番号の対応は以下のとおりである。

1: 基礎科目 (科学研究キャリアリテラシー、国際研究コミュニケーション)、2: 展開科目 (先進科学特論、修士インターンシップ、国際研究発表技法)、3: 専門科目 (専攻セミナーI~IV)、4: 専門科目 (専攻科目)、5: 専門科目 (専攻以外の科目)、6: 研究科目 (修士研究I~IV、修士論文)。

注2) グラフは「充実していた」+「ある程度充実していた」の合計値を示している。

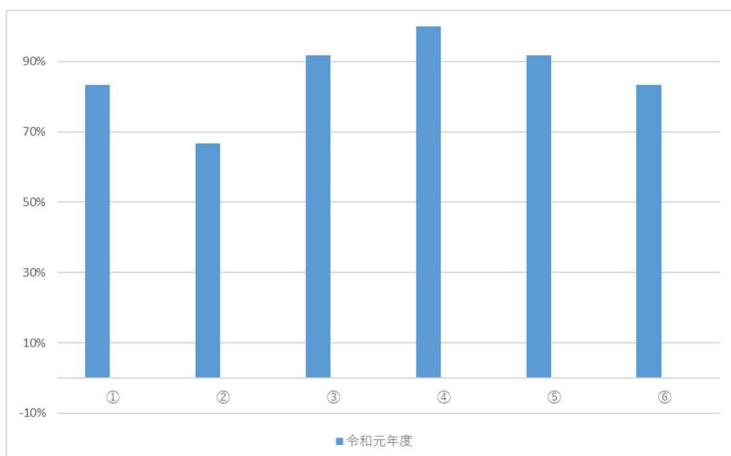


図3 農学研究科の専門教育について、どの程度充実していましたか？  
(平成30年度以降入学者)

注1) 各番号の対応は以下のとおりである。

1: 基礎科目 (科学研究キャリアリテラシー、国際研究コミュニケーション、応用生物科学クロストークセミナー)、2: 希少糖共通科目 (希少糖イノベーション、希少糖植物化学特論、希少糖応用生命科学特論、希少糖食品科学特論) 3: 展開科目 (応用生命科学先進科学セミナー、国際研究実践コミュニケーション、修士・修士国際インターンシップ、アドバンスド国際研究コミュニケーション)、4: 専門科目 (〇〇特論など)、5: 専門科目 (専攻セミナーI~III)、6: 研究科目 (修士研究I~IV、修士論文)。

注2) グラフは「充実していた」+「ある程度充実していた」の合計値を示している。

## 地域マネジメント研究科

\*\*\*\*\*

調査実施期間 令和2年3月24日 ～ 令和2年3月27日

以下は令和元年（平成31年）度修了生計18人中12人の回答（回答率は66.7%）についての分析である。回答者の入学時平均年齢は40歳（SD8.25）、就業状況（入学時及び現在）は「正規雇用100%」である。

\*\*\*\*\*

### 2. 研究科に関する分析

#### （1）分析結果

修了生の在籍時修学状況は概ね良いと言える。回答者の全員が就業している中、授業への出席率90%以上が7割以上（昨年度6割以上）を占め、週当たり授業時間外勉強時間は平均14.7時間（同13.9時間）である。学校の環境では「教室」「自習室」への満足度は概ね高いが、自習室については「どちらともいえない」が16.7%（同26%）となっている。土曜日開講については、「必要（「ある程度必要」を含む）」とする割合が9割以上を占めていることから、今後も継続が求められる。

本研究科に対する総合的な満足度は総じて高く、知識や能力の修得にとどまらず、「人的ネットワークの構築」という効果ももたらしている。

#### （2）優れた点及び改善を要する点

##### 【優れた点】

本研究科は、修了要件である2年次プロジェクト科目を複数指導体制（学生複数名を複数教員で指導）で実施しているが、25%の学生が担当の指導教員以外からも指導を受けており、幅広く柔軟な指導環境が確保されつつある。同科目の満足度は高く（「満足+ある程度満足」91.6%（昨年度78.6%））、「どちらともいえない」は8.3%にとどまり、その理由も「十分な時間が足らなかった」「能力不足で十分な仕上がりといえなかった」であった。

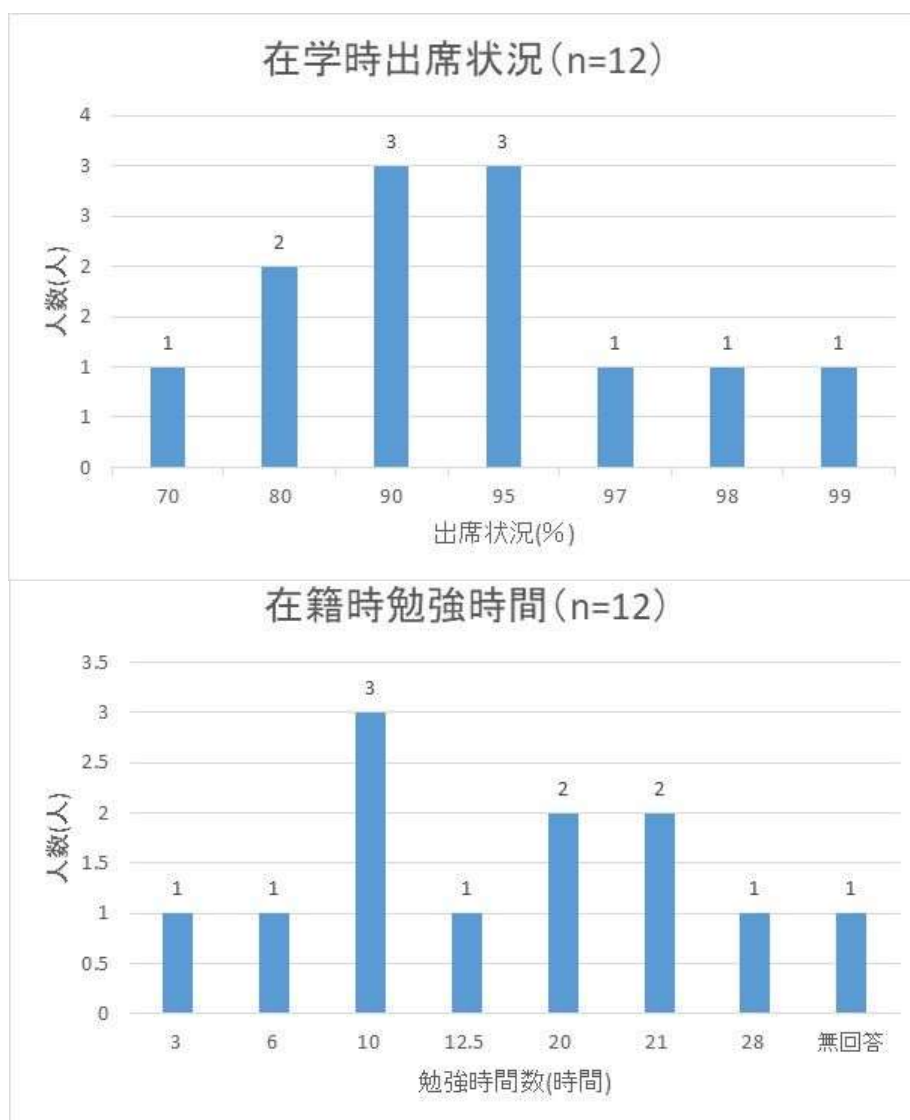
現在の仕事で必要とされており、大学院教育で身についた能力としては「自分と周囲との関係生を理解する力」「自分の意見を分かりやすく伝える力」「論理的に考え、物事を進める力」の他、「文書作成力」「分析力」「立場理解力」「プレゼン力」が挙げられる。

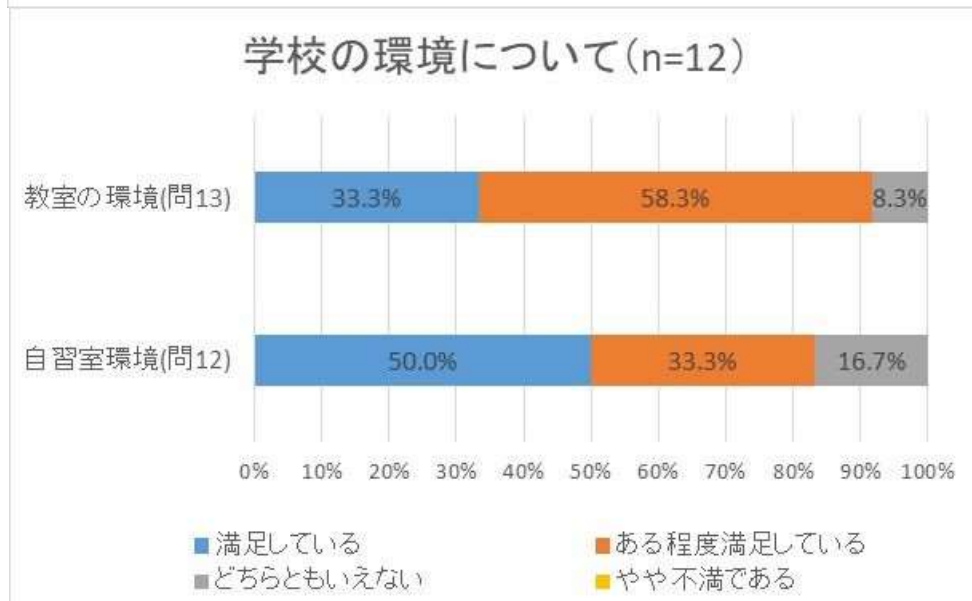
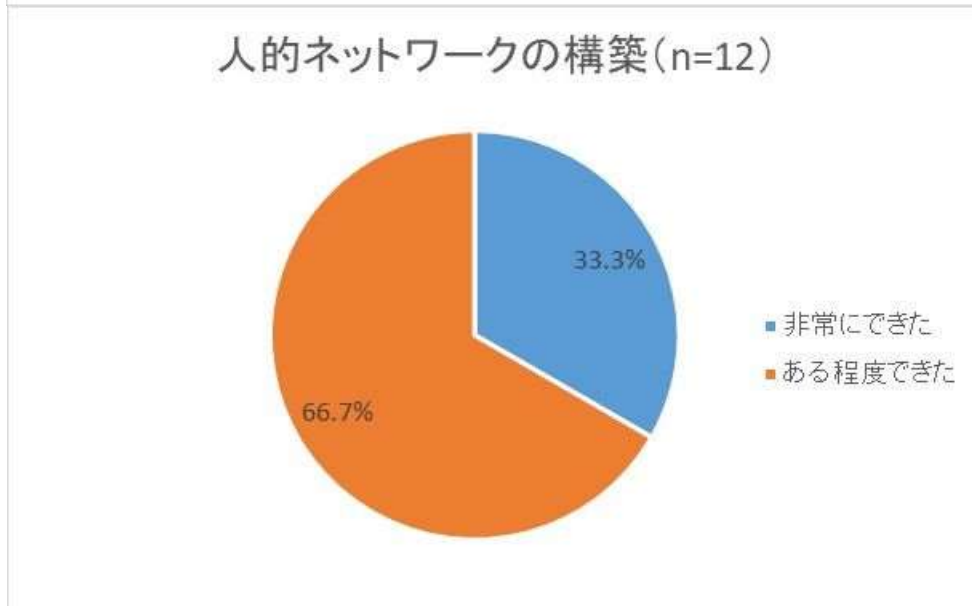
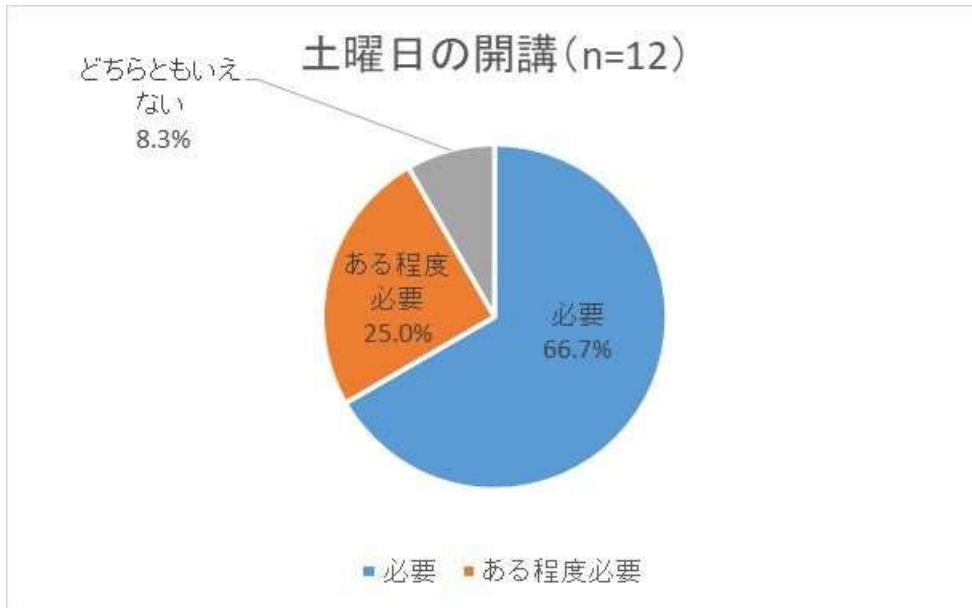
##### 【改善を要する点】

一方、現在の仕事で必要とされているが、大学院教育で身についた能力としての平均値が相対的にやや低いものとして「他人に働きかけ巻き込む力」「専門分野に関する知識や技能」「リーダーシップ」「ディスカッションする力」が挙げられる。講義科目だけでなく、一歩踏み込んだ行動力の養成につながる大学院プログラムの改善・工夫が必要といえる。

また、カリキュラムに関する自由記述では、「より多くの人とディスカッションを行いたかった」「1つ1つの教科をじっくり受けたかった」「サテライトやeラーニング、リモートでの授業参加も少しずつあるとよい」といった意見もあり、対応・改善の検討が望まれる。

【参考資料】

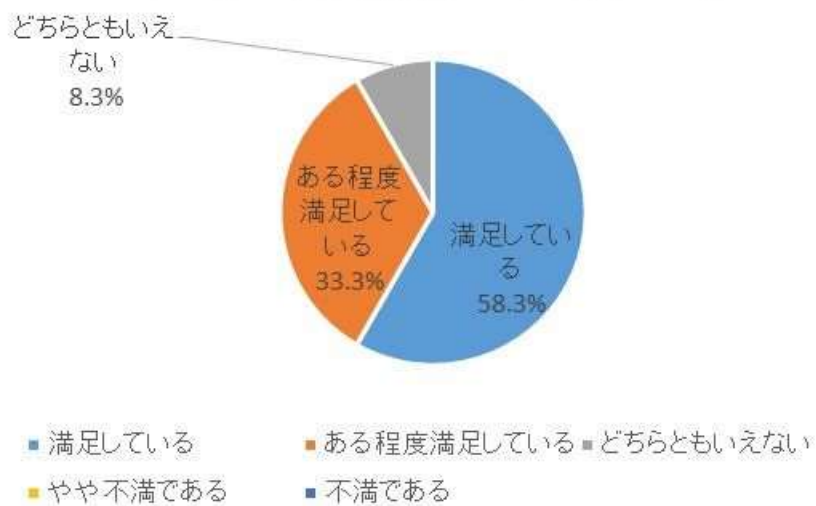




### プロ研における指導教員以外からの指導 (n=12)



### プロジェクト研究について(n=12)



### 学んだことに満足しているか(n=12)

